

秘

貴重書

法典  
調查會  
民法議事速記錄  
第參卷

日本學術振興會

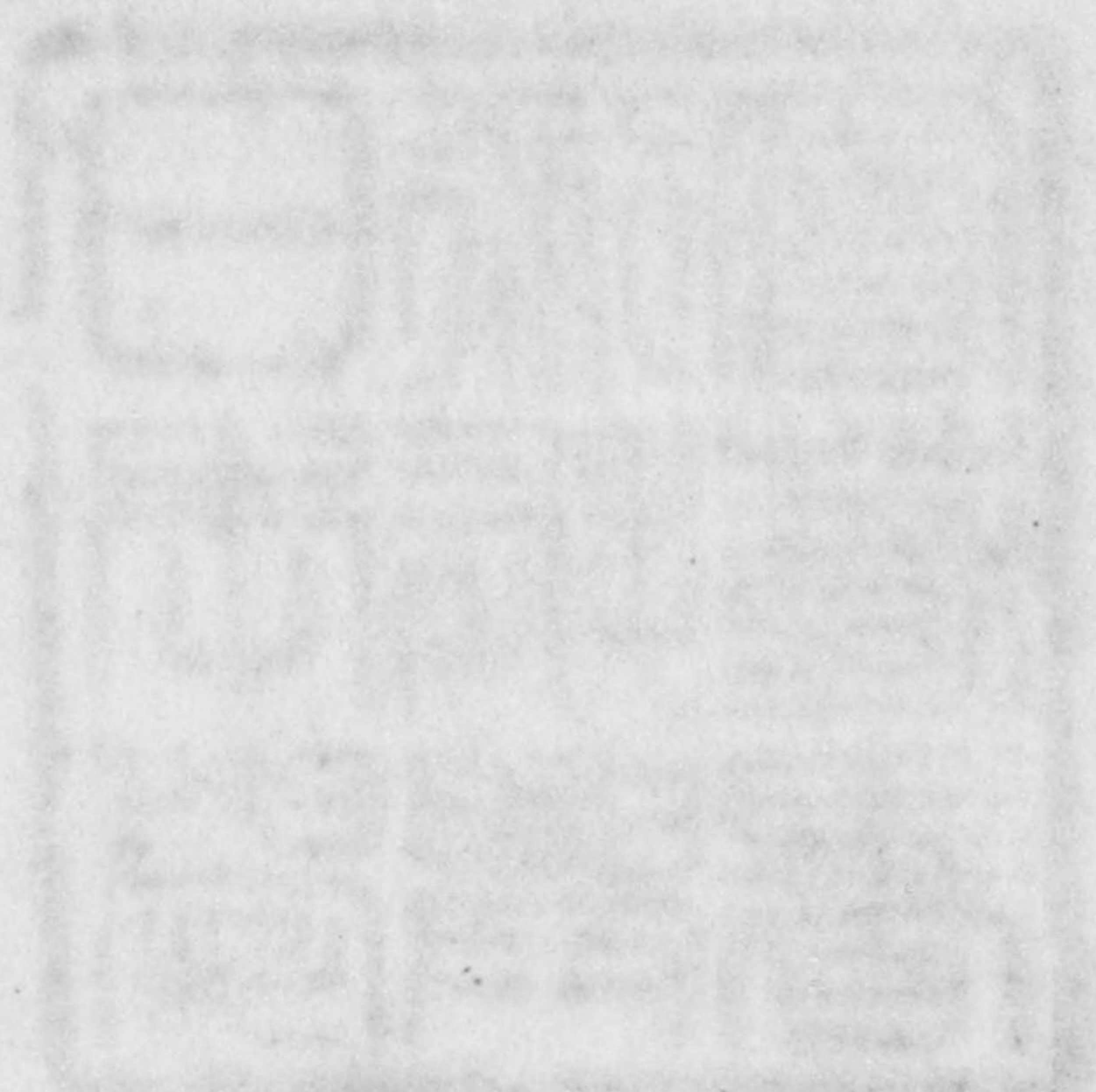
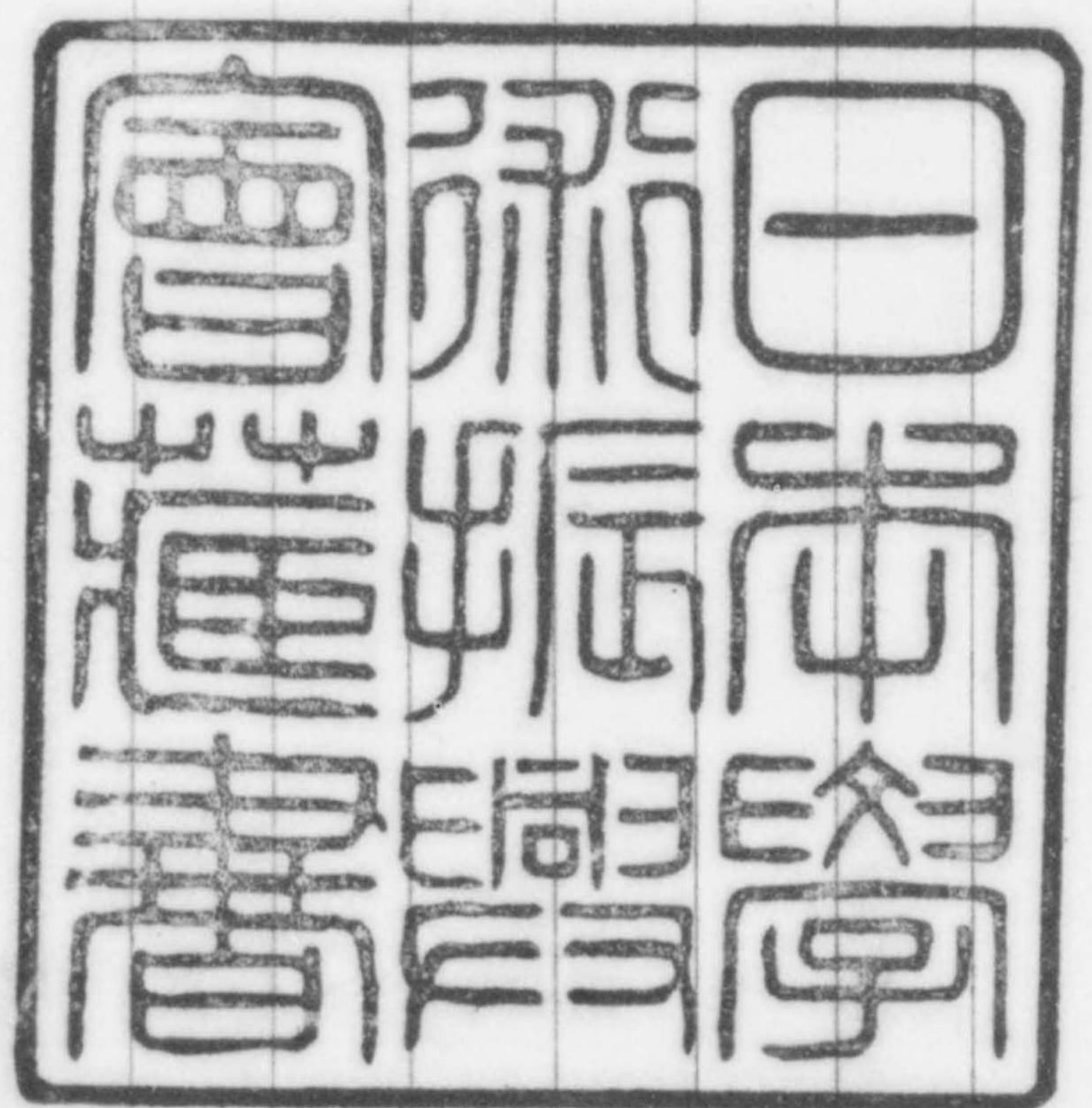
明治二十七年四月六日起

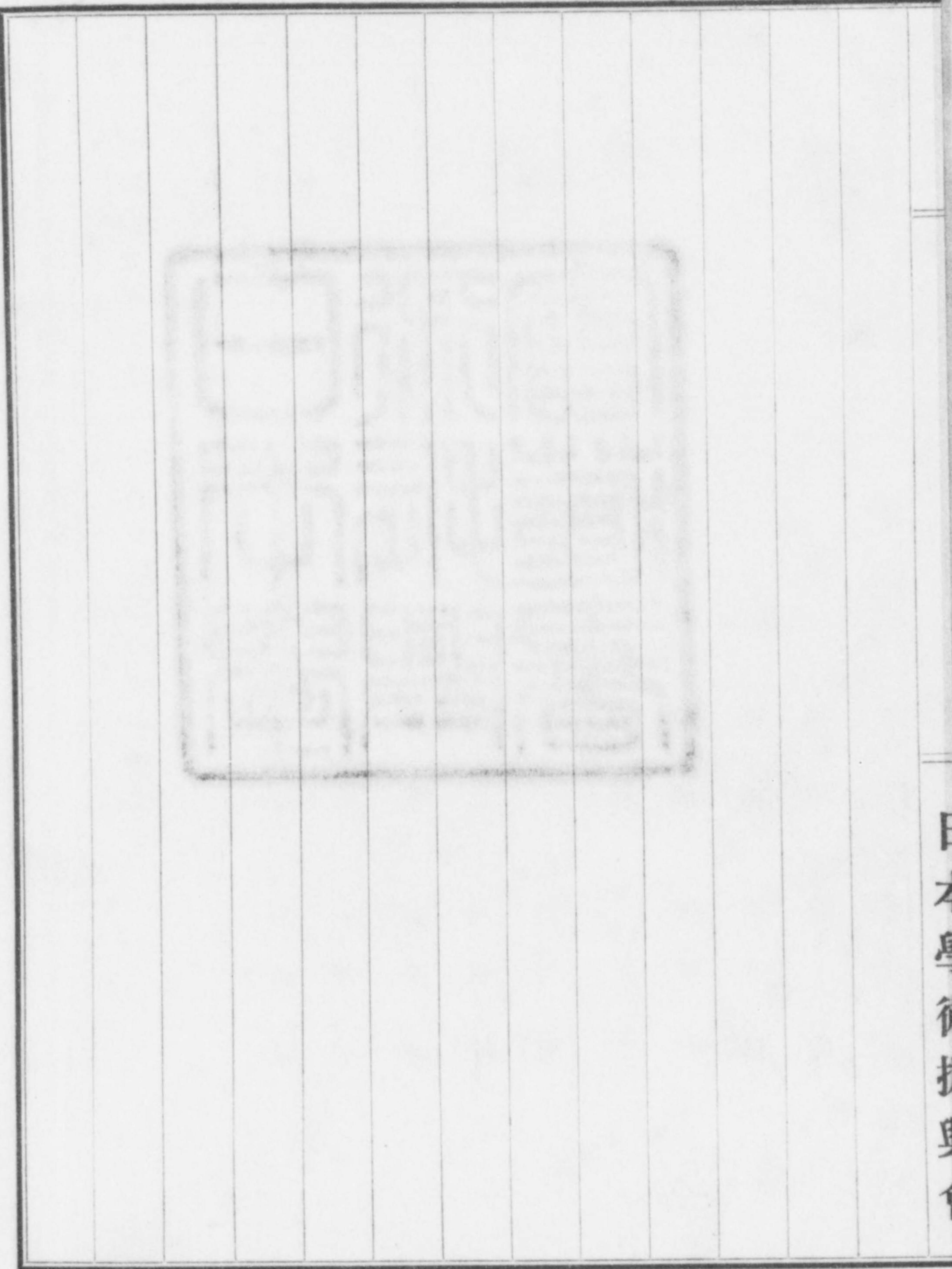
# 民法議事速記録

法典調査會

## 第三卷

(六十五卷ノ内)





秘

第六回法典調査會議事速記錄

明治廿七年四月廿四日午後四時四十分開會

出席員

- |    |     |    |   |
|----|-----|----|---|
| 侯爵 | 西園寺 | 公望 | 君 |
| 箕作 | 麟祥  | 君  |   |
| 南部 | 斐男  | 君  |   |
| 清浦 | 奎吾  | 君  |   |
| 末松 | 謙澄  | 君  |   |
| 三浦 | 安   | 君  |   |
| 穂積 | 陳重  | 君  |   |
| 横田 | 國臣  | 君  |   |
| 奥田 | 義人  | 君  |   |
| 都築 | 善六  | 君  |   |

XB300  
N 2

議長（西園寺侯） 夫レデハ前會ニ引續テ第百廿七條ノ議事ヲ始メ  
マス

（本條 ハ前會ニ於テ掲載シタレバ茲ニ省略ス）

尾崎三良君 前會ニ段々議論ガアリマシテ尙ホ考ヘテ見マシタガ段々此妻ガ夫ノ爲メニ取消ストカ追認スルトカ云フコトガアリマシガ一体是ハ何ウ云フモノテアリマスカ斯ウ云フコトハ人事編ニ廻シタナラ何ウデゴザイマセウカ總テ然ウ云フ事柄ハ人事編ニハ掲ゲナイ此處ヘ掲ゲル御積リデアリマスカ

梅謙次郎君 左様デゴザイマス親族編ニ廻ハサウカト云フ考ヘモ始メニハナキニシモ非ズデゴザイマシタガ能ク考ヘルト是ハ能力ニ關係スル事柄デアリマスカラ能力ノ所ニ掲ケテ此議場ヲ通過シタ

元田 肇 君  
中村 元嘉 君

長谷川 喬 君  
井上 正一 君  
高木 豐三 君  
富井 政章 君  
本野 一郎 君  
穂積 八束 君  
梅 謙次郎 君  
土方 寧 君  
田部 芳 君  
尾崎 三良 君  
村田 保 君  
岸本 辰雄 君  
星 亨 君

ノテアリマス能力ノ所ニ掲ゲルト勢ヒ取消ニ付テモ掲ゲナケレハ  
 ナラヌカラ夫レデ此處ニ掲ゲタノデアリマス  
 尾崎三良君 何ウモ本員ノ考ヘデハ今之ヲ此處テスツカリ此親族ニ  
 關係シタコトハ丸テ取ツテ仕舞ツテ削ル丈ケノ修正ヲ提出スル迄  
 ニ來タ充分ナル氣力モゴザイマセヌカラ夫レハ暫ク止メマシテ起  
 草委員ノ御説ニ從ヒマシタ所デ何ウモ先達モ起草委員カラ段々述  
 ベラレタコトモゴザイマシタガ此妻ノシタコトヲ夫ガ取消ス權ハ  
 離縁シテモ未タ五年ノ間夫ニ屬シテ居ルト云フコトハ何ウモ日本  
 邦ノ事情デハ決シテ合ハヌヤウニ思ヒマスガ是ハ婚姻ガ離レテ仕  
 舞ヘハ無論夫ノ取消權ト云フモノハ消滅シテ仕舞ウト云フコトニ  
 致シタイト思ヒマス既成法典バ然ウナツテ居ルヤウデアリマスガ  
 之ガ先ツ適當デアラウカト思ヒマス、ソコテ段々修正ヲ考ヘテ見  
 マシタガ別ニ宜イ修正モアリマセヌガ誠ニ修正説ヲ提出シテ置キ

マス何ウカ意味ニ於テ御贊成ナラバ文字ハ如何様トモ宜シイ御考  
 ヘ付キガアレバ夫レニ從ウ積リデアリマスガ併シ試ニ私ノ考ヘテ  
 一ツ申述べテ見マス此第一項ノ次ニ第二項ヲ入レマシテ第一項ハ  
 一般ノコトヲ規定シタノデアリマス此次ニ以テ來テ夫ノ取消權丈  
 ケハ此場合ニ於テハ消滅スルト云フコトヲ掲ゲタナラハ宜シイト  
 思ヒマス夫レデ其文字ハ第二項トシテ「夫ニ屬スル取消權ハ婚姻  
 ノ解消ニ因リ消滅ス」ト致シタイ夫レカラ第一項ノ所デ先達土方  
 君カラ御話モアリマシタガ五年ノ期限ハ些ツト永過ギルヤウデア  
 リマスカラ何ウカト土方君ニ御相談ヲ致シテ「五」ヲ「三」ニ直  
 スコトモ願ヒタイ、此邊ノ御協議ガ整ヘバ至極満足ニ存シマス  
 箕作麟祥君 一寸質問シタイガ既成法典ニハ五百四十五條ノ末項ニ  
 「此他免責時効ノ停止及ヒ中斷ノ通常ノ原因ニ關スル規定ハ右時  
 效ニ之ヲ適用ス」トアリマス此項ハ本案ニハゴザイマセヌガ然ウ

日本學術振興會  
スルト此五年ノ時効ト申スモノハ停止トカ中斷ト云フコトハシナ  
イ所謂訴訟法ノ期限ト期間トハ違ウヤウナモノデドノヤウナコト  
ガアツアモ停止中斷杯ハシナイ御積リデアリマスカ夫レトモ並ノ  
時効ニナルノダケレドモ夫レハ別ニ書カヌデモ宜イト云フコトデ  
御掲ゲニナラヌノデアリマスカ

梅謙次郎君 其事ハ此前説明チシタ積リテアリマシタガ若シヤ接カ  
シタカモ知レマセヌ恰モ原文ニハ始メ「時効」ト云フコトヲ書キ  
出サヌデアリマシタカラ夫レデ或ハ疑ヒガ起ツタカモ知レマセヌ  
ケレトモ今度ハ明ニ「時効」ト書イタノデアリマス時効ノ規則ニ  
從ハナケレバナラヌト云フコトニナラウト思ヒマス懸ニ停止中斷  
ノ事ヲ書イテ置キマスト外ノコトハ何ウデアラウガ總テノ時効ガ  
適用セラル、カ何ウカト云フ疑ヒモアリマス、ノミナラズ然ウ云  
フコトヲ書ク位ナラ默ツテ居レハ自ラ時効ノ規則ガ當嵌マルト云

フコトガ明瞭デアラウト云フ考ヘデ書キマセヌデアリマシタ懸々  
時効ノ規則ニ從フベキモノテアルト云フコトヲ明ニセンガ爲メニ  
此文字ヲ懸々書イタノデアリマス

土方寧君 私ハ前會ニ此五年ト云フノチ二年トシテ二項ヲ削ルト云  
フコトヲ申シマシタガ少シ誤解デゴザイマシタカラ二項ヲ削ルト  
云フコトハ止ノマス夫レデ此五年ヲ三年ニシタイト云フコトデア  
リマスガ私モ短クスル方ヲ希望スルノデアリマスカラ是レハ尾崎  
君ニ同意致シマス夫レデ之ハ二ツ別ニ分ケテ決テ採ツテ貰ヒタイ  
梅謙次郎君 此年數ノ五年ヲ三年ニスルト云フコトハドウヤラ成立

ツヤウデアリマスガ固ヨリ年數ノコトデアリマスカラ何チ以テ五  
年テナケレバナラヌカ何ラ以テ三年テナケレバナラヌカト云フ理  
由ハ御互ニ立ツマイト思フ外國ノ例デ見ルト佛蘭西ニハ十年夫レ  
カラ和蘭、伊太利、ペルじツク草案ハ我既成法典ト同ジク五年ニ

ナツテ居リマス之デモ宜イ佛蘭西ニ較ブレバ短クナツテ居ルノデアリマス此年數ニ付テハ各國ノ立法者ガ考ヘテ居ル位デアリマス尤モ西班牙ニハ四年ニナツテ居リマス夫レヨリ短イノハ印度ノ出訴期限法デ以テ三年ニナツテ居ルノト夫レカラ獨逸民法草案並ニ瑞西ノ法ノハ簡單デ一年ト云フ短イ時効ガアリマスガ其外ハ今申上ゲタ通りデアリマス、デ先ヅ外國ノ例ニ於テモ丁度五年位ガ中ノヤウニナツテ居ルヤウテアルシ五年ト申スト然ウ永イ期限トモ思ハレマセヌ後ニ孰レ時効ノ所デ極マルコトデゴザイマセウガ外ノ時効ノ期限ノ割合ヲ以テ考ヘテ見テモ五年ナラバソソナニ永過ギル方デハナカラウカト思フテ吾々ハ矢張既成法典ノ五年ト云フ期限ヲ保存シタノデアリマス

土方寧君 別ニ三年ニシナケレハナラヌト云フコトモアリマセヌガ私ノ考ヘデハ此前ノ百二十四條ノ但ニアルガ如キコトヲ百二十二

條ニ加ヘタイト思ヒマシタガ是ハ裁可ニナリマセヌデアリマシタガ「但善意ナル第三者ハ」ト云フヤウニ取消スト云フコトニ制限チシテ詰リ無効力者又ハ瑕疵アル者ヲ保護スルト同様ニ善意ノ第三者ヲ保護シヤウト思ヒマシタケレドモ夫レハ成立タヌデゴザイマシタガ然ウスルト追認トカ取消トカ第三者ニ色々ノ關係ガ生ズルガ如何ニモ權利ガ不確定デアルト云フコトハ不都合デアリマス夫レデ五年ガ三年デナケレバナラヌト云フ理由ハ梅君ノ謂ハレタ通り數ノコトデ何モ深イ理由ハアリマセヌガ成ル可ク短カクシタイト云フ考ヘデアリマス本案ニ於テハ強暴ガ止ンデ夫レヲ發見シタト云フヤウナ場合デアレバ自分ノ爲ニ特ニ保護ヲ主張スルコトハ成ル可ク速ニシタイ夫レニ對シテ取消スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ル夫レデ成ル可ク短クシタイト云フ考ヘカラ五年ヲ三年ニシヤウト云フノデアリマス



箕作麟祥君 尙ホ質問致シマスガ此前ニ第二項ヲ削ルト云フ御議論  
ガ出マシテ今日發議者ハ其説ヲ取消スト云フコトデアリマスガ孰  
レ此普通ノ時効ト云フノハ二十年トカ三十年トカ云フ永イ期間デ  
ゴザイマセウガ此取消權ノ方ハ五年ニナツテ居リマスガ夫レガ普通  
ノ時効ニ必要ナル期間ヲ經過スルトキハ消滅スルト云フコトハ何ウ  
モ矢張り要リサウモナイヤウニ思ヒマスガ何ウ云フ場合ニ斯ウ云フコト  
ガアルノデアリマスカ。尤モ追認スルト云フコトハ取消ノ情況ガ止  
ムカラヤルト云フノデアリマスカラ宜イデゴザイマセウガ何ウモ取  
消ニ得ヘキ行爲ヲ爲シタル日ヨリ普通ノ時効ニ必要ナル二十年ト  
カ三十年トカ經過スルト云フコトハ一寸考ヘルトアリサウモナイヤ  
ウニ思ヒマスガ何ウ云フ場合ナラバアル譯デアリマスカ何ウモ私ニハ解シ難イ  
梅謙次郎君 強暴ノ方ハ何ウカ知りマセヌガ詐欺ニ遇ツタト云フコ  
トヲバ知ラナイデ例ヘハ十六年ナリ十七年ナリ經過シテ其十六年

十七年ノ後ニナツテカラ始メテ詐欺デアルト云フコトヲ聞イテ時  
期失フベカラズト云フノデ以前ニ取結ンダ契約ヲ取消スト云フコ  
トハ随分アリ得ルト思ヒマス夫レガ十六年ヤ十七年ノ後デアレハ  
夫レカラ五年、、詐欺ニ隔ツタト云フコトヲ知ツテカラ五年ト  
云ヒマスルト二十年ニナツテ或ハ二十年經過シテ詐欺デアルト云  
フコトヲ知ツテ夫レカラ五年間ハ取消スコトガ出來ルト云フコト  
デハ際限ハアリマセヌ故ニ縱令此百二十七條ノ第一項ノ方ノ五年、  
其五年ハ追認ヲ爲スコトヲ得ル日ヨリ計算シテ五年ト云フ場合デ  
アツテモガ既ニ普通ノ時効ニ必要ナル期間ヲ經過シタ場合デアツ  
タナラバ取消權ヲ行フコトガ出來ヌト云フコトニシテ置カヌト大  
變水クナル五年ト云フノガ行爲ヲ爲シタ日カラ計算シテ見ルト二  
十年ニナルカ三十年ニナルカ四十年ニナルカ分ラヌヤウニナツテ  
先キノ世ニナルト云フヤウナ悉レガアリマスカラ夫レデ斯ウ云フ

風ニシタノデアリマス實際適用ハ少ナイト思ヒマスガ稀レニアツタ場合ニ此百二十七條デハ態々普通ノ時効ヨリ短クシタノハ實際ノ結果却テ夫レヨリ永クナツテハ不都合デアラウト思ヒマシテ夫レテ之ヲ置クコトニシタモノデアリマス

田部 芳君 私ハ此第百二十七條全体ニ付テハ別ニ異議モゴザイマセヌガ第二項ノ終ニ「前項ノ規定ニ拘ハラズト云フコトガアリマスガ此「前項ノ規定ニ拘ハラズト云フノ十字ヲ削除スルノ修正案ヲ提出シマス其譯ハ理由ヲ述ベルノ必要モナイ位デアリマスガ只今梅君ノ説明セラレタ通り此第二項ノアル譯ハ前ノ第一項ノ場合デハ時効ノ起算點ガ晚クナルコトガアリ得ル併ナガラ第二項ノ起算點ガ取消サルルト云フコトガアルカモ知レヌガ先ツ起算點ガ動カヌ其起算點ガ動カヌト云フ所カラ元ト切ツテ勘定ニテ或一定ノ時間即チ普通ノ永イ期間ヲ經過スレバモウ一切第一項ノ權利ハ與ヘテアツテ其權利ハ消滅スルト云フ主意デ

アリマスカラ縦令「前項ノ規定ニ拘ハラズ」ト云フコトハナクモ分ルノデアツテ却テ之ガアルノハ可笑クハナイカト思ヒマスゾコトデ極リ簡單ナル理由デハアリマスガ此「前項ノ規定ニ拘ハラズ」ト云フ文字ヲ削除スルト云フ説ヲ出シマス

尾崎三良君 一寸起草委員ニ質問致シタウゴザイマスガ私ハ前ニ「夫ニ屬スル取消權」云ト云フ説ヲ提出シマシタガマダごなたモ御費成ハナイヤウデアリマスガ定メテ私ノ説ガ悪ルイノデゴザイマセウガ一應御説明ヲ仰ギタイノデス外國デハ兎モ角モ日本デハ離縁シタ妻ノシタコトヲ五年ノ間ハ前ノ夫ガ取消スコトガ出來ルト云フヤウナ規定ハ何ウモ必要ハナイヤウニ何ウシテモ思ハレル其婦ノ方ハモウ出ルヤ否ヤ他ノ人ニ嫁入りチシテ子ガ二人リモ三人モ出來テ居ルカ七分ラヌ其妻ガ前ノ家ニ居ル時ニシタ事ヲ取消ス權利ヲ夫ニ與ヘテ置カヌト不都合デアルト云フコトハナイヤウニ思

ハレル夫レデ既成法典ニハ婚姻ノ解消ニ因リ消滅ス<sup>ト</sup>シテアリマ  
スガ其必要ガアルト認メラレタノハ何ウ云フ場合デアリマスカ其  
邊チ一應御説明チ仰ギタイ

梅謙次郎君 私ハ前會 説明チ致シマシテ恰モ其説明ニ對シテ尾崎  
君ガ然ウ云フコトハ日本ノ慣習ニ背クト言ハレタト覺エテ居リマ  
スガ尙ホ一 說明致シロト云フコトデアリマスカラ説明致シマス  
ガ此婚姻ノ解消スルト同時ニ夫ノ取消チ請求スル權利ガ消エルト  
云フコトニシテ置クト夫ガマダ夫デアル間ニ其夫ノ意ニ依ラズシ  
テ即チ法律上夫ノ命チ聽イテヤル可キデアルノニ夫ノ命チ聽カズ  
シテ恣ニ或行爲チ爲シタ恣ニ其行爲チ爲シテ夫レチ巧ニ匿シテ置  
イテ丁度離婚デモスルヤウナ場合デアルト詰リ離婚チスル前ニ或  
時期ノ間ト云フモノハ實際夫ノ權力ガ行ハレナイヤウナ結果ニナ  
ツテ仕舞ウ今日離婚チスルト其前數日乃至數月ノ間ニ爲シタル事

ト云フモノハ全ク巧ニ匿シサヘスレバ夫レデ皆有效ニナル夫レデ  
甚ダ夫ノ權利ト云フモノデハ重ンズルト云フ<sup>ル</sup>肯意ニ背クト思ヒマ  
ス

尾崎三良君 斯ウ云フ事柄ガアツタ時ニハト云フ何カ實例チ擧ゲテ  
賈ヒタイ

梅謙次郎君 斯ウ云フコトト言ツテモ皆同ジコトデアリマス尙モ妻  
ガ夫ノ承諾チ得テヤラナケレバ出來ヌコトチ妻ガヤル離婚チシテ  
仕舞ヘバ仕方ガナイト云フコトデアレバ妻ガ巧ニ夫ニ知レナイヤ  
ウニヤツテ居ル然ウシテモウ夫ノ云フコトハ聞カナイト云フヤウ  
ナ即チ夫ノ權利チ蔑ロニスルト云フコトガ出來ルト云フコトデア  
リマス

尾崎三良君 何ウモ夫レデハ分ラヌ幾ラざしざしヤツタ所ガ夫レハ  
夫ト添フテ居ルニ依テ夫レハ不都合デアルカラ取消權チ與ヘタト

云フノデアリマスケレドモモウ離レテ仕舞ツタ以上ハ甚必要ハナイヤウニ思ヒマスガ其事實ヲ舉ゲテ實ヒタイ私ガ試ニ一ツ事實ヲ舉ゲテ見マセウ例ヘハ妻ノ財産デモ夫ノ許可ヲ得ナケレバ他人ニ賣ツタリ他人ニ讓與シタリシテ夫レヲ處分スルコトハ出來ヌ夫レヲ賣ツタトカ或ハ他人ニヤツタトカ云フ場合、夫ニ添フテ居ル時即チ一緒ニ居レバ夫ニ相談ヲシテ處分スルコトガ必要デアルケレドモモウ離婚ヲシテ仕舞ツタ以上ハ其必要ハナイヤウデアル添フテ居ル間ナラバ然ウ云フ必要ガアルガ離婚シテ仕舞ツタ以上デモ尙ホ其取消權ヲ與ヘテ置カナケレハナラヌト云フ必要ハアルマイト思ヒマス離婚シテ仕舞ツタ夫ハ其財産ニ對シテハ夫レ等ノ權利ハナイ併シ何ソソソナコトデナイ斯ウ云フ事柄ニ離婚シテ仕舞ツテモ尙ホ取消權ヲ與ヘテ置カナケレバ不都合デアルト云フコトガアリマスカネ孰レ妻ノシタ事ハ契約スルトカ自分ノ持テ居ツタ

財産ヲ持テ往クトカ云フコトニ違ヒナイ妻ノ財産トカ妻ノ身ノ上トカ或ハ妻ニ付テ居ツタ物デナケレバ固ヨリ出來ナイ夫レテ妻ガ夫ニ添フテ居レバコソ夫ニ然ウ云フ取消權ガアルトカ追認スル權利ガアルトカ云フヤウナ必要ガゴザイマセウガモウ一旦離レテ仕舞ツタナラバ何モ必要ハナイダラウト私ハ思ヒマスガ何カ今私ガ並ベタ事由ノ外ニ何ソゾマダ斯ウ云フ差支ヘガアルト云フコトガゴザイマセウ

岸本辰雄君 本條ハ前會カラ引續テ隨分八釜敷イ箇條デゴザイマスガ八釜敷イカラ削ルト云フノデハ決シテアリマセヌガ私ハ此條ハ寧ロ此處デハ削ツテ仕舞ツテ然ウシテ時効法ニ讓ツタ方ガ宜カラウト思ヒマス併シ時効法ニ讓ツテハ不都合デアルト云フコトデアレバ改メマスルガ別ニ不都合ハナイヤウニ思ヒマス成程獨逸民法草案ニモ之ニ類似シタ箇條ハアリマスケレドモあれハ箇條ノ方

違ツテ居リマシテ詰リ取消權ノ結果ヲ付ケタノデアリマス取消權ハ何時迄ニ主張シナケレバナラヌトカ云フ結果ヲ付ケテアル、所ガ本條ハ夫レト異ツテ時効ノ規則ニナツテ居ル「取消權ハ追認ヲ爲スコトヲ得ル日ヨリ五年ヲ經過スルトキハ時効ニ罹ル但此時効ハ相續人ニ對シテハ相續ノ日ヨリ其進行ヲ始メ又ハ之ヲ繼續シスト云フヤウニ時効ノ規則迄ニ至ツテ居ルヤウニ見エルノデアリマス、スルカラ畢竟先刻箕作先生ノ質問モ出タヤウナコトデアラウト思ヒマス此處迄ニ定メルナラバモツト先キ迄定メネバ或ハ疑ヒモ起ラウト思ヒマスガ併シ先キノ方ハ時効法ヲ見ヨト云フコトカモ知レマセヌガ、シマスルカラシテ是ハ寧ろ純然タル時効デアリマスルカラ時効法ニ讓ツテ此處デハ除イテ仕舞ツタ方ガ都合ガ宜カラウト思ヒマスルカヲ試ニ此全部ノ削除説ヲ提出致シマス

高木豊三君 段々修正案が出マスルガ夫レニ付テ私ハ贊成不贊成ノ

決心ノ爲メニ一ツ起<sup>草</sup>者ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス此第二項ノ「普通ノ時効」ト云フ意味ハ能ク分リマセヌカラ確カニハ申シマセヌガ先刻ごなたカノ質問ニ對シテノ御考ヘニ依ルト先ツ五ヶ年ヨリ永イモノノ方ノ例が出マシタガ彼ノ即チ少時効デアリマスガ現行法デ言ヘバ即チ出訴期限斯ウ云フヤウニ期限ノ短イノモ孰レ出來ヤウト思ヒマス、シテ見レバ其中ニ六ヶ月、一年或ハ二年或ハ三年先ツ一番永イノハ五ヶ年位ニ止マルト思ヒマスガ然ウ云フ場合ニモ矢張り法律行爲ノ性質上最短期ヲ申セバ一年一年デ時効ヲ不法ニ拵ヘテ居ツタナラバ即チ前項ノ五年ニ拘ハラズ其行爲丈テハ矢張り一年デ取消權ヲ消滅スルト云フ意味デアリマセウカ詰リ前ノ例ハ永イ方丈ケデアリマスカラ一寸其質問ヲ致シテ置キマス

梅謙次郎君 私共ノ見マスル所デハ只今高木君ノ例ニ出サレタニケ

月トカ一年トカ二年トカ三年トカ五年トカ云フヤウナコトハ即チ  
皆特別時効デアリマス普通時効ト云フノハ必ズ一ツシカナカラウ  
ト思ヒマス今ノ民法デ普通ノ時効ハ三十年トナツテ居ル夫レデ今  
度ノ案テハ二十年ニナルカ三十年ニナルカ分リマセヌガ無論五年  
ヨリ永イト云フコトハ云ヘヤウト思ヒマス其短イ方ハ矢張りこゝ  
ラノ時効、普通ノ時効デナイカト云フ考ヘデアリマス然ウ云フコ  
トデナケレバ不都合デアラウト思ヒマス例ヘハ舊逸民法ノ如ク三  
十年トカ二十年トカ、三十年ト書ケバ宜イノデアリマスケレドモ  
其方ハ後トデ書ク、此處デ言ハヌデモ唯「普通ノ時効」ト書ケバ  
分ルト思ツテ斯様ニ「普通ノ時効」ト書イタノデアリマス

村田保君 私ハ只今ノ岸本君ノ百二十七條ヲ削ルト云フ説ニ賛成シ  
テ置キマス何ゼナレバ時効ト云フモノハ随分一ツノ大キナ事柄デ  
アリマスカラ時効ハ時効デ一ツ別ニ設ケテ置イテ其中ニ特別時効

モ普通時効モゴザイマセヌカラ時効ノコトハ特別ニシタラ宜カラ  
ウト思ヒマス此第三節ノ表題ヲ見マスト「無効及ヒ取消」トアリ  
マスカラ無効、取消ノコト丈ケ書イテ置タラ宜カラウト思ヒマ  
ス取消ノ所ニ時効ノコトガ一寸出ルノハ可笑イヤウデアリマスカ  
ラ是ハ削ツテ置イテ時効ノ一ツ別ニ設ケタラ宜カラウト云フ考ヘ  
デアリマスカラ岸本君ノ全部削除説ニ賛成シテ置キマス

梅謙次郎君 只今岸本君カラ全條削除ノ説ガ出マシタガ甚ダ私共ノ  
如キ臆ノ小サイ者ハ一驚ヲ喫シマシタ先ツ然ウ云フ例ハ私ノ見聞  
ノ狭イ故カ外ニ例ヲ見マセヌ、尤モ印度ノ出訴期限法ニハ總テノ  
期限ガ非常ニ何百ト云フ場合チ一緒ニ一ツノ法律ニ纏メテアリマ  
スルカラ然ウ云フ風ナ法律ノ規定ニ然ウ書イテアツタナラバ無論  
斯ウ云フコトハソコニ入レテモ宜イデアリマセウケレトモ民法ト  
云フ法律ガ出來テ夫レニ夫々事柄ノ種類ノ區別チ立テテ規定スル

ト云フコトデアレバ私ノ見ルトコロデハマダ其ヤウナ例ハ見マセ  
 又併ナガラ夫レカ理窟ノ充分アルコトデアレハ固ヨリ御同意チシ  
 テ宜シイガ何ウモ理窟ハ立タヌヤウニ思ヒマス若シ之ガ時効ニ關  
 シテ居ルカラ時効ノ所ニ入レルコトニナレバ之カラ時効ノ問題ハ  
 種々ノ事ニ付テ出テ來ル例ヘハ親族編ニ後見人ノ訴權ト云フコト  
 ガ今ノ法典ニアリマスガ或ハ權利義務ト云ツテモ宜シイ權利義務  
 ノ關係ハ何年デ以テ時効ニ罹ル或ハ矢張り後見ニ關係シタコトデ  
 アツテモ後見人ト未成年者ノ成年ニ達シタ者トノ間ニ於テマダ計  
 算ノ濟マヌ間ニ爲シタ契約ハ無効デアル或ハ何年間無効ヲ唱ヘル  
 コトガ出來ル夫レカラ又例ヘハ取得編ノ「工事請負」ト云フ所デ  
 以テ工事ヲ請負フタ者が爲シタル工事ヨリシテ若シ其工事ガ惡ル  
 カツタ爲メニ大ニ損害ガ生ジテ其損害ヲ賠償スルト云フコトハ必  
 ズ許サレルデゴザイマセウガ其權利ハ何年デ以テ時効ニ罹ル一寸

只今岸本君カラ説ガ出テ考ヘタ所デモソシナニアル位デ法典ノ中  
 デ探ツテ見タラ時効デ以テ種々ノ種類ノ時効ガ澤山アラウト思ヒ  
 マス夫レチ皆時効ノ所ニ入レルコトニナツタナラバ彼ノ總則ニア  
 ル時効ガ總則デナクナツテ仕舞ウ種々ナ場合ニ付テノ規定ニナツ  
 テ仕舞ウ私共ノ考ヘタニハ時効ノ方ハ一般ノ規定サヘシテ置ケバ  
 宜シイ尤モ一般ト申シテモ單純ニシテ申シマシタ二十年トカ三十  
 年トカ云フ永イ時効デアリマセヌケレドモ其永イ時効並ニ唯期  
 限サヘ定メレバ宜シイ特別ノ時効デ之々ノモノハ何年デアルト極  
 メルコトノ出來ルモノハ向フデ規定スルケレドモ此ノ場合ノ如キ  
 起算點モ自ラ異ツテ居ルト云フヤウナ性質ノ違ツテ居ルモノハ同  
 ジク其關係ノ所ニ持テ往ツテ規定スル方ガ便利デアラウト考ヘマ  
 シタ、デ他ノ法典ノ例ニ於テモ皆然ウ云フ風ニナツテ居ルノハ矢  
 張り同一ノ理由デアラウト私ハ考ヘル夫レデ是ハ矢張り此處ニ存

シ價カレンコトヲ希望致ス譯合デアリマス

岸本辰雄君 一寸質問致シタイ之ヲ時効ノ方ニ譲ルト云フト何ウ云  
フ不都合ガアルカ別ニ不都合ハナイダラウト思ヒマスルガ若シア  
ルナラバ切ニ承リマス夫レカラ但書以下デアリマスガ「但此時効  
ハ相續人ニ對シテハ相續ノ日ヨリ其進行ヲ始メ又ハ之ヲ繼續ス」  
斯ウ云フコトハ「時効」トアルカラ此五年ノ時効ニ限ツテ即チ此  
處ニ掲ゲテアル時効ニ限ツテ特別ノ規則デ他ノ普通ノ時効ナリ其  
他ノ時効ナリ斯ウ云フコトハ出來ヌ規則デアリマスルカト云フコ  
トヲ伺ヒマス

梅謙次郎君 之ヲ時効ノ所ニ送ル不都合ト云フノハ直接ノ理由ヨリ  
間接ノ理由ノ方ガ最モ大キイ之ヲ送ル位ナラ總テノモノヲ送ラナ  
ケレバナラヌト云フノガ多クノ理由デアリマスガ直接ノ理由モ隨  
分アラウト思ヒマス夫レハ通常ノ時効ト云フモノハ權利ガ生ズル

三三三

ト同時ニ起算セラレルト云フ期限トカ條件トカ付テ居ル場合ニハ  
其期限又ハ條件ガ到來シタ時カラ起算セラレル然ルニ此處ノ場合  
トハ普通ノ場合ハ違ツテ起算日ト云フノガ「追認ヲ爲スコトヲ得  
ル日ヨリ」ト書イタカラ短クテ濟ンデ居リマスケレドモ即チ百二  
十四條ニ書イタヤウナ起算點ガ隨分面倒デアリマス夫レカラ又但  
書ノ場合ニ付テ只今岸本君ノ御質問デアリマシタガ此但書ハ矢張  
リ一般ノ規則ト云フ譯デハナイ其譯ハ此取消權ト云フモノハ追認  
ヲ爲スコトヲ得ル日ヨリ時効ガ始マル其追認ヲ爲スト云フモノハ  
取消ノ原因タル情況ガ止ムトカ何ントカ云フコトニナツテ居ルノ  
デアリマス、所デ例ヘバ詐欺ニ關ツタト云フヤウナ事柄ハ本人ガ  
詐欺ニ關ツテ其詐欺ニ關ツタト云フコトヲ知ラナイデ矢張り欺マ  
サレテ居ル當リ前欺マサレテ居ル間ニ死ンデ仕舞ツタ其相續人モ  
矢張り同ジヤウニ黙ツテ居ルカモ知レヌガ然ウ人ノ違ツタモノヲ



前人ガ欺マサレテ居ツタノダカラ相續人モ欺マサレタモノト看做  
スト云フヤウナ意思ノ繼續迄サセルコトニナツテハ不都合デアリ  
マサルカラ夫レデ此處デハ「相續人ニ對シテハ相續ノ日ヨリ其進  
行ヲ始メ又ハ之ヲ繼續ス」デアツテ縱令相續人ハ知ラナイデモ矢  
張り其日カラ計算ヲシテ又ハ前人ガ死ンデ居レバ直グカラ繼續シ  
テ往クト云フヤウナ譯デアリマスカラ之モ一般ノ規則ト云フ譯デ  
ハナイノデアリマス

本野一郎君 此「時効ニ羅ル」ト云フコトハ之カラズツト用キルノ  
デアリマスカ

梅謙次郎君 他ニ何カ宜イ文字ガアレバ替ヘテモ宜イノデスケレド  
モ大變都合ノ宜イ文字ノヤウデアリマスカラ使ツテ居ルノデアリ  
マス

箕作麟祥君 此「時効ニ羅ル」ト云フコトハ誠ニ厭ヤナ字デアリ前カ

ラ氣ニ掛ツテ居ルノデアリマスガ何ウモ何ンダカ「時効ニ羅ル」  
ト云フト虎列刺病ニデモ權ルヤウナ譯デ可笑イ私共ハ始メノ既成  
法典ノ時効カラ「時効ニ羅ル」ト云フ文字ハ面白クナイヤウニ思  
ツテ居ツタノデアリマス何ウデゴザイマウカ是ハ一ツ思ヒ切ツテ

重寶ノ字デアリマスケレドモ餘リ妙ナ文字デアリマ  
スカラ一ツ避ケテ仕舞フコトハ出來マセヌカ此處ノ所ハ「取消權  
ハ云云五年ヲ經過スルトキハ時効ニ因リテ消滅ス」トスレバ此條  
丈ケハ直グニ分リマス尤モ何ウカスルト起草委員カラ言ハレハ此  
條ハ往ケルケレドモ雙方合併スルトキハ何ウスルト云フコトヲ言  
ハレマセウケレドモ然ウ云フ場合デモ夫レハ其時ニナツテ分ケル  
途ガ付カウト思ヒマス夫レデ之ヲ使ハヌト決心シタ以上隨分書ケ  
ルダラウト思ヒマス矢張り此處ハ字句斬新トカ言フ請リチ免レナ  
イト思ヒマスカラ「因リテ消滅ス」トシタ方ガ宜カラウト思ヒマ

ス

本野一郎君 私ハ箕作君ニ賛成シテ置キマス

議長(西園寺侯) 夫レデハ決テ採リマセウ全條ノ削除説ニ賛成ガ  
アリマシタカラ之カラ先キニ決テ採リマス削除説ニ賛成ノ方ノ起  
立テ請ヒマス

起立者 少数

議長(西園寺侯) 少数次ニ五年ヲ三年ニ改メルト云フコトデアツ  
テ是ハ提出者ハ二項ト別ニシテ宜シウゴザイマスカ

尾崎三良君 宜シウゴザイマス

議長(西園寺侯) 夫レデハ別ニ採リマス五年ヲ三年ニ改メル説ニ  
賛成ノ方ノ起立テ請ヒマス

起立者 少数

議長(西園寺侯) 少数次ニ「時効ニ權ル」ト云フノヲ「因リテ消

滅ス」ト云フコトニ改メル説ニ賛成ノ方ノ起立テ請ヒマス

起立者 少数

議長(西園寺侯) 少数デゴザイマス

長谷川喬君 尾崎君ノ説ニ賛成シテ置キマス

議長(西園寺侯) 尾崎君ニモウ一邊御朗讀ヲ願ヒマス

尾崎三良君 「夫ニ屬スル取消權ハ婚姻解消ニ因リ消滅ス」ト云フ  
ノデス

議長(西園寺侯) 只今ノ説ニ賛成ノ方ノ起立テ請ヒマス

起立者 少数

議長(西園寺侯) 少数、他ニ御發議ガナクバ次ノ條ニ移リマス  
(書記朗讀)

第四節 條件及ヒ期限

穂積陳重君 始メニ本案ヲ立案シマシタ大体ノ主意ヲ説明致シマス

此第四節ハ即チ既成法典財産編四百三條カラ四百二十六條迄ニ修正ヲ加ヘマシタモノデアリマス之ヲ既成法典デハ義務ノ部分ニ置イデゴザイマシタガ本案ニ於テ之ヲ總則中ニ置キマシタ理由ハ申迄モナイコトデアリマシテ條件及ビ期限ト云フモノハ共ニ總テノ法律行爲ニ之ヲ附加スルコトガ出來ルモノデアリマス固ヨリ法例ダトカ或ハ其法律行爲ノ性質ニ依テ婚姻等ノ如キ條件期限ヲ附スルコトノ出來ヌモノハ例外デアリマスルガ斯ノ如キモノヲ除キマシタル外ハ總テ法律行爲ニ及ブ規則ヲ適用スルコトガ出來ルモノデアリマス既成法典財産編四百八條ニモ此債權ニ關スル條件ノ期限ヲ物權ニモ及ボスコトガ出來ルト書イテアリマス諸國ノ法典ニ於テモ或ハ澳太利ノ如キ之ヲ遺贈ノ部分ニ規定シテ此遺贈ニ關スル規定ハ他ノ部分ニモ及ボスコトガ出來ルト云フコトニ書イテアリマス其他所有權ヲ連帶債權ニ及ボスコトガ出來ルト書イテアル箇

條モアリマス兎ニ角一般ニ渉ル規定デアリマスカラ之ヲ總則ニ置イタノデアリマス而シテ此條件及ビ期限ト云フモノヲ同ジ節ニ並ベ置キマシタノト理由ガ同ジテ條件ハ本節ノ規定ニ據レバ法律行爲ノ效力ノ始まり又ハ終ル時ヲ定メマスルシ期限ハ法律行爲ノ存在ノ始まり若クハ終ル時ヲ定メルノデアリマスカラ兎ニ角二ツナガラ法律行爲ノ附帶事項デアリマス夫故ニ之ヲ一緒ノ所ニ置イタノデゴザイマスル、又此條件ヲ期限ノ前ニ置クト云フコトニ付テ一言御斷リヲシテ置カナケレバナリマセヌガ前ニ議定ニナツタ目錄ニハ既成法典ノ順序ニ從ツテ期限及ヒ條件ト致シテ置キマシタノデアリマス併ナガラ之ヲ立案シマスル時ニ於テ條件ヲ前キニシテ期限ヲ後ニ致シマシタ是ハ別ニ深イ理由ハアリマセヌガ兎ニ角條件ノ方ガ法律ノ規定ヲ要スルコトガ多イ即チ法律行爲ニ付テ生ジマスル疑議ガ條件ニ關シテ多イモノデアリマスルカラ從テ其規

定ト云フモノモ甚ダ數モ多ク大切ニモナツテ來ルノデアリマス加  
 之ナラズ佛蘭西、西班牙、和蘭其他ノ諸國ニ於テモ必ズ條件ヲ前キ  
 ニシテ期限ヲ後ニ致シテ居ルノデアリマス夫レ等ノ例ニ倣ツテ立案ス  
 ル方ガ便利デアリマスルカラ夫故ニ之ヲ前キニ致シタノデアリマ  
 ス、デ獨逸杯ノ如キニ於テハ期限ニ關スル規定ト云フモノハ丸デ  
 條件ニ關スル規定ヲ直グ其儘ニ適用スルト云フノデアリマス其後トニ一箇  
 條カ二箇條シカ置カヌ瑞西杯デハ期限ノ方ハ丸デ省イテ仕舞ツタ  
 ト云フ位デアリマス兎ニ角重ナル方ヲ前キニシテ規定スルト云フ  
 旨意デ既ニ議定ニナリマシタ目錄ヲ前後反對ニシマシタ位デア  
 リマスカラ是ハ目錄ノ方ヲ改メルト云フコトヲ此處ノ議定ニ依テ  
 許サレタイト思フテ居ルノデアリマス固ヨリ此本節ノ條件及ヒ期  
 限ト云フ中ニハ法律上ノ條件ノコトガ遁入ツテ居ルト云フコトハ  
 法律行爲ノ一節デアリマスガラ明カデアラウト思ヒマス又本節

ノ大体ニ付テ既成法典ノ中ニアツテ之ヲ省キマシタモノ、最モ著  
 シイモノハ恩惠上ノ期限デゴザイマス此恩惠上ノ期限ハ色々考ヘ  
 テ見マシタケレドモ兎ニ角之ヲ置クノ必要ガナイ、置イテハ却テ  
 害ガアルト云フ考ヘデ削リマシタノデアリマス其理由ノ一二  
 チ申上マスレバ兎ニ角恩惠上ノ期限ト云フモノヲ定ムル時ニ於テ  
 テハ全ク自由契約ノ權ト云フモノハナクナツテ仕舞ウト同ジモノ  
 デアリマス當事者ト云フモノガ到底期限ヲ確定シテ法律行爲ヲ爲  
 スコトハ出來ヌト云フコトニナツテ來マス御承知ノ通り既成法典  
 ニ於テハ如何ナル所爲ヲ以テスルモ又ハ判決ガアリマシテ其判決  
 ニ依テ定マツタ期限デアリマシテモ若シ其當事者ガ善意ニシテ且  
 不幸デアツテ之ヲ辨濟スルコトガ出來ヌト裁判官が見込ミシマシ  
 タ時ニハ相當ノ恩惠ノ期限ヲ與ヘルコトガ出來ル此恩惠ノ期限ト  
 云フモノヲ決シテ受ケナイ然ウ云フコトヲ定メナイデト云フヤウ

ナ反對ノ要約ト云フモノハ總テ無効デアルスウ書イテアリマスル  
カラ當事者が自由ニ動カス可ラザル期限ヲ定メル如何ナル事情ガ  
アツテモ此取引ハ必ズ之ヲ履行スルト確定シタ期限ヲ定メルコト  
ハ既成法典デハ出來ヌノデアリマス加之ナラズ既成法典ニハ佛蘭  
西法典杯ヨリハ一層恩惠上ノ期限ノ範圍ヲ擴メマシテ判決ニ依テ  
定マリマシタ期限ニモ尙ホ恩惠ノ期限ヲ附スルコトガ出來ルト云  
フ位デアリマス裁判官ガ一度判決シテモ夫レデモ履行ノ期限ヲ定  
メルコトガ出來ヌト云フ位ニ廣ク及ンデ居リマス伊太利杯ハ佛蘭  
西法ニ據ツタニモ拘ラズ之ヲ廢シマシタノデゴザイマシテ其廢シ  
マシタ理由ト云フモノモ矢張りこゝらノコトガ一部分ヲ成シテ居  
ルダラウト思ヒマス又恩惠上ノ期限ト云フモノガアリマスル時ニ  
ハ此取引ノ信用ト云フモノガ丸デナクナツテ仕舞ウコトデアラウ  
判決ニハ斯ウ期限ヲ極メテ置ク必ズ其時ニハ辨濟ヲ受ケル必ズ其

時ハ法律行爲ノ履行ガアルト云フ斯ウ云フコトヲ確信スルト云フ  
コトハ出來ヌヤウニナル又此債權者ト云フモノガ確實ナル損害ヲ  
受ケナイ時ニハ恩惠上ノ期限ヲ與ヘルコトガ出來ルト書イテアリ  
マス此標準ト云フモノモ甚ダ曖昧デゴザイマシテ素ヨリ債權者ニ  
於テ其債務ノ辨濟ト云フモノヲ猶豫スルト云フコトヲ承諾シタ場  
合ニハ斯ノ如キ問題ハ起ラヌ一方デ承諾ヲシナイカラ始メテ之ヲ  
裁判所ニ請求スルト云フコトニナツテ來マス既ニ承諾セヌト云フ  
コトニナツタ以上ハ脇目カラ見タ時ニハ<sup>ヤリ</sup>少シモ損害ハナイト云フ  
場合ニ本人ノ身ニ取り本人ノ感覺ニ取ツテ見マシテ即チ本人ハ承  
諾ヲセヌコトヲ無理ニヤラセルト云フコトハ其本人ガ必ズ迷惑ヲ  
感ズルト云フコトハアルダラウト思ヒマス加之ナラズ此恩惠上ノ  
期限ト云フモノニ付テハ大變ニ債務者ニ幸不幸ガ出來テ來ルモノ  
デアラウト思ヒマス、デ裁判官ガ極メルノデゴザイマスルガラ一

定ノ標準ト云フモノガナイ即チ裁判官ガ事情ヲ斟酌シテ極メルノ  
 デアリマスルカラ或ハ裁判官其人ニ依テハ非常ニ債權者ノ方ノ權  
 利ヲ擴張スルト云フ方ノ考ヘチ持テ居ツテ即チ然ウ云フ精神  
 チ持ツテ居ル人モアル或ハ其裁判官ガ債務者ノ爲メニ苦シメラレ  
 ル即チ金ヲ貸シタリ何カスルト云フヤウナ人モアリマスマイケレ  
 ドモ併シナガラ兎ニ角其債權者ノ方ニ重モニ負擔ヲスルヤウナ性  
 質ヲ有スル者モアリマセウシ或ハ其人ノ身ニハ相當ノ過失デナク  
 テモ過失デアルト云フヤウニ債務者ノ方ノ肩ヲ持ツト云フヤウナ  
 人モアリマセウ其人ノ境遇位地性質等ニ依テ即チ之ヲ請求スル者  
 又ハ相手方ニ大變幸不幸ガ出來ルト云フモノデアラウト思フノデ  
 ゴザイマス又請求者ト云フ者、若クハ相手方ノ貧富、大變ニ富  
 ダ人ハ金ノ争ヒナレハ少シ持ツテヤツテモ迷惑デナイト思ハレマ  
 スル人ガアルカモ知レヌ又請求者ガ大變ニ貧窮者ナラハ法定ノ訴

訟ニ迄斟酌シテ債務者ニ恩惠上ノ期限ヲ與ヘナイト云フコトガア  
 ルカモ知レヌノデアリマス斯ノ如キコトヨリシテ裁判官ノ權力ノ  
 濫用ガ非常ニアリ得ルコトデアリマスルカラシテ此恩惠上ノ期限  
 チ設ケテ居ル時ニ於テハ必ズ其法文ニ於テ種々ナコトヲ書クヤウ  
 ニナル御承知ノ通り佛蘭西民法ノ千二百四十四條デアリマスルカ  
 ニハ實ニ法文ニハアリサウモナイ奇妙ナ文章ガ書イテアツテ非常  
 ナ大イナル權力ヲ持ツト云フヤウナ風ノコトガ書イテアリマス斯  
 ノ如キモノデアルカラシテ兎ニ角恩惠上ノ期限ト云フモノハ之ヲ  
 強制的ニ許スト云フコトハ止メル方ガ宜カラウ本人同志デ相談チ  
 シテ猶豫チシテ貰ラヘヌ位ナラハ始メカラ約束チシタナラハ其約  
 束ト云フモノヲ履行スルト云フヤウニ極メテ置イタ方ガ宜カラウ  
 、デ既成法典ハ固ヨリ此債務者ニ餘程負擔チシタ、致シマシタ規  
 定ニナツテ居リマス此本案ハ殊更ニ其債務者ニ酷ニシテ債務者ニ

便益ヲ與ヘルト云フヤウナ考ヘハ固ヨリナイノデアリマス債務者ニ最負ヲスル國ハ必ズ弱イ國トカ人心ガ振ハ又國トカ或ハ進取ノ氣象ニ乏シイ國トカ云フヤウナコトガアラウト云フ考ヘカラシテ債務者ニ酷ナラント欲シテ酷ニシタノダト云フヤウナ案ヲ立テタノデハゴザイマセヌ人民ハ各自ニ注意ヲシテ自分ニ取引ヲ爲サネバ往カヌ且其法律行爲ニ依テ期限ヲ定メテアル其期限ト云フモノヲ必ズ守ルベキモノデアルト云フコトヲ覺悟シナケレバナラヌモノデアアル即チ人民相互ヒノ業務ト云フモノハ各自ノ自治ニ任セテ仕舞ウト云フヤウナ風ノ考ヘデ債權者保護デモナシ又債務者保護デモナイ正當ノコト、自分ノ取引ヲ確實ニシナケレバナラヌト云フ考ヘカラス様ナ恩惠上ノ期限ト云フモノヲ本案ニハ入レナシトデアリマス夫レカラ此既成法典ノ四百二十一條以下ヲ此修正ノ中ニ加ヘマセヌ理由ハ是ハ契約ノ解除等ノ所ニ出テ參ルカラテア

ラウト思ヒマス

議長（西園寺侯） 總体ニ付テ別段御發議ガナクバ本條ニ掛リマス

（書記朗讀）

第二百二十七條 停止條件附法律行爲ハ條件成就ノ時ヨリ其效力ヲ生ス

解除條件附法律行爲ハ條件成就ノ時ヨリ其效力ヲ失フ

當事者カ條件成就ノ效果ヲ其成就以前ニ遡ラシムル意思ヲ有シタルトキハ其意思ニ從フ

- （參照）財四〇八、四〇九、四一八、商二八五、佛一一六八、一一七九、一一八一、一一八三、澳六九六、蘭一二八九、一二九七、一二九九、一三〇一、伊一一五七、一一五八、一一六四、一一七〇、瑞債務法一七一、一七四、モンテネグロ五六八、九三九、九四〇、西一一一四、一一二〇、白草一一

六二、一一七三、一項、一一七六、一一七九、獨一草一二九、一三〇、獨草一二九、普國法一部四章一〇〇、一〇一、一四乃至一一六、一四〇乃至一四四、索一〇八、一一二、八七二、八八一、八八三、紐草一九六、一九七、六〇七、六〇八、六一一、六七六、六七八、六八〇、カリフォルニア七〇七、七〇八、一三四五乃至一三四九、一四三四乃至一四三八  
 穂積陳重君 本條ハ條件成就ノ效果ヲ規定シタノテゴザイマシテ諸國ノ立法學說共ニまぢまぢニナツテ居リマシテ殊ニ八釜敷イ問題ヲ決シマシタモノデゴザイマス既成法典ニハ此條件ノ定義ヲ始メニ掲ゲテゴザイマシテ此條件附義務ト云フモノハ將來且不确定ナル事件ノ發生又ハ不發生ニ依テ義務ノ效力ヲ生ズルト云フ規定デアリマシタガ此條件ト云フコトハ大概庶人デモ其大体ノコトハ分ルヌデアラウト思ヒマスルコトト又殊ニ本節ノ規定ニ據リマシテ此

法律デハ條件附ト云フモノハ何ウ云フモノト見テ居ルト云フコトガ各條カラシテ分リマスル積リデ此處ニハ殊更ニ定義ヲ掲ゲタンダノデアリマス此停止條件解除條件ト云フモノノ法律行爲ノ效力ハ本案ニ於テハ其成就ニ依テ法律行爲ノ效力ヲ生シ若クハ失ウモノデアアル即チ效力ノ規定トシタノデゴザイマス或ハ條件成就ト云フモノノ效果ガ法律行爲ノ存在ニ關スルト規定シテアリマスル國モアリマスルシ又ハ法律關係ノ存在ニ關スルト致シ又ハ法律行爲ノ完成又ハ消滅スルノデアアル或ハ亞米利加諸國ノ法律杯ニハ權利ノ發生消滅ト云フヤウニ規定シテ居ルノモアリマルガ此條件ト云フモノハ法律行爲ニ附加シタモノデアツテ附加セラレテカラハ法律行爲ノ一部分其働キハ法律行爲ノ效力ヲ生ズル法律行爲ハ其行爲ヲ行フタ時カラ成立ツ、效力ト云フモノハ其條件成就ニ依テ生ズル若クハ條件成就ニ依テ消滅スルハ斯ウ云フ主義ヲ採ツタノデ



アリマスル既成法典ハ此條件ガ、成就致シマスル時ニハ其成就ノ結果ガ法律行爲ノ當時ニ遡ル、既往ニ遡ルト云フ主義ヲ採ツテ居リマシタガ本案ニ於テハ之レトハ全ク反對デゴザイマシテ條件ノ成就ト云フモノハ效力ヲ既往ニ及ボサスト云フ主義ヲ採ツタノデゴザイマスル當事者ノ意思ニ此規定ガ一番能ク適スルモノデアラウト云フ考ヘデアリマスデ當事者ノ意思ト云フモノニ一番合ウヤウニ通則ヲ採エテ置カナケレバ往カヌト云フモノハ既ニ法人解散ノ時ニ於テモ同シ旨意デアリマセウ先ツ其法人設立者ノ意思ガ斯ウデアルト云フコトニ依テ解散ノ時ニ其遺産ノ往キ途ノ順序ヲ定メタノデアリマス相續杯モ矢張り同ジヤウナ旨意ガ出テ來ルヌデアラウト思ヒマスル不確定ノ事柄ガ發生シタナラバ斯ノ如キコトヲシヤウト云フコトヲ定メマシタ場合ニ其當事者ノ心持ハ多クハ其時ヨリシテ效力ノ生ゼシメヤウト云フ考ヘデアラルダラウト思ヒ

マス尤モ昔シカラシテ或ハ羅馬法杯ヲ繼嗣致シマシタ國々デハ隨分法律上ノ慣習ト云フモノガアリマシテ條件附法律行爲ヲシタナラバ其條件ト云フモノガ成就スレバ效果ガ既往ニ遡ルト云フコトヲ既ニ永年ノ間承知シテ居リマスルカラ然ウ云フ國デハ或ハ遡ラスト云フコトガ宜イカモ知レヌ我國ニ於テハ條件附デ或取引ヲシマシタ以上ハ必ス其效果ト云フモノガ取引ノ當時マデ遡ルトハ人ガ考ヘテ居ラヌト思フノデゴザイマス、デ既ニ歐羅巴諸國杯ニ於テモ此效果ヲ既往ニ遡セル國ト遡ラセナイ國トハ殆ンド相央バシテ居ルノデアリマス近頃ノ立法例カラ云ヘバ遡ラセヌト云フ方カ段々殖エテ在キマス又學說ノ方カラ往キマシテモ羅馬法デモ遡ラセナカツタト云フ說ガ段々勢力ヲ持テ來マスル位デアリマス英吉利西亞米利加ハ勿論又印度契約法杯デモ矢張り效果ヲ既往ニ遡ラセヌト云フコトニ規定致シタノデアリマス其他瑞西債務法其他

獨逸杯ニ於テモ既往ニ遡ルト云フ規定ハ採用シテ居リマセヌ斯ノ如キ理由ニ依テ當事者ノ意思ト云フモノハ既往ニ遡ラヌト云フコトガ多數デアルジヤラウト云フコトカラシテ既往ニ遡ルト云フ原則ハ採用致サヌノデアリマス加之ナラズ純然タル理窟カラ申シテ見マシテモ一ツノ意思ガアツテ其效果ガ前ニ遡ルト云フノハ何カ習慣ガアルトカ例外ガアルトカシテ遡ルト云フコトガナケレバ效果カ生ジテ來マセヌ效果チ前ニ及ボスト云フコトハ何カ非常ノ必要ガナケレバ出來ヌノデアリマス極ク通常ノ有リ様ハ遡ラヌト云フノガ何事デモ順序ニ違ヒナイト思フノデアリマス併シナガラ今ノ如ク意思ト云フモノヲ元トシマシタカラシテ夫故ニ第三項ヲ設ケマシタ所謂其當事者ガ條件成就ノ效果チ既往ニ遡ラセルト云フ其意思ガアル其意思カ若クハ明言致シマシタトカ明カナル時ニハ既往ニ遡ルモノト規定シタノデアリマス併ナガラ此處ニ「其意思

ニ從フルト書キマシタ所以ハ必ズ法律行爲ノ當時ニ迄遡ルト云フコトヲ規定シテ置クニモ及バヌ當時マデ遡ルモノナラバ「當時」ト既成法典ノ如ク書キマスルシ或ハ當時迄ハ遡ラヌデモ期間迄遡ルト云フコトモアラウト思ヒマスカラ廣ク唯一意思ニ從フルト書イテ置イタノデアリマス

末松謙澄君 一寸質問致シマスガ此第二百二十七條ノ第一項ノ所ニ付テ條件ノコトニ付テハ必ズ起ル可キ條件ト起ルモノカ起ラナイモノカ分ラヌ條件即チ此者ガ死ンダ後ニハト云フヤウナ條件ト何ウ云フ者ガ何ウ云フコトヲシタト云フコトガアルカナイカ分ラヌト云フヤウナコト杯ハ無論どちらモ同ジモノトシテ然ウ云フ意味ヲ含ンデ居ルモノト推察シマシタガ分ツ必要ハナイコトデアツタラウト思ヒマスガ所デ此停止條件附ト云フコトハ此文章ガ一寸分リ悪クハアリハシナイカ起案者ノ意ハ斯ウ云フ譯デアラウカ即チ今

斯ウ云フ事ヲ怠ツタ時ニヤルト云フコトデナク今日カラ行ハナイ  
 事柄ノ條件附ニ違ヒナイ然ルニ事實停止ト云フヤウナコトヲ使ウ  
 ノハ何ウカト云フト或事柄ヲ續ケテヤツテ居ルノデアアル併シ何カ  
 怠ツタ時ニ止メル停止スル方ノコトヲヤルノチ重モニ使ツテ居ル  
 ヤウニ思ヒマス例ヘハ新聞ヲ停止スルト言ヘバ今日カラ停止スル  
 ノデナイ、ヤツテ居ツテ而テ何カ亂暴ナコトヲシタ時ニ停止スル  
 ト云フヤウナコトニナツテ居ル一寸讀ンデ見ルト前ニ約束ヲシテ  
 將來斯ウ云フコトヲ怠ツタ時ニハ暫時停止スルト云フヤウナ風ニ  
 聞ヘハシナイカ而シテ又事實ニ於テモ然ウ云フコトガアリハシナ  
 イカト云フコトヲ考ヘルノハ何カ事が起ツタトカ條件ガ起ツタト  
 カ云フヤウナ時ニ其條件附ノ成就デびつたり止メテ仕舞ウノデア  
 ル併シナガラ或種類ノ約束ニ於テハ斯ウ云フコトヲシヤウ併ナガ  
 ラ斯様々々ノコトヲ怠ツタ時ニハ其間ハ停止ヲスル例ヘハ吾輩ノ

小供ニ幾ラ金ヲ手當トシテ遣ル併ナガラ貴様ガ東京ニデモ出テぶ  
 ら付テ居ル間ハ遣ラヌ往ツテ居ル間ハ遣ラヌ販ツタ時ハ遣ルト云  
 フヤウナ條件附モアラウト思ヒマス又ガ其條件ハ無用ノコトデア  
 ルト云フ御考ヘデアリマスカ第一項ハ夫レニ適シタ條項デハナイ  
 カト云フコトヲ甚ダ恐レル勿論法律家カラ云フタ時ニハ夫レハ讀  
 メルデゴザイマセウ併ナガラ夫レハ何ウモ日本ノ文章デハ聞エナ  
 イコトニナリハシナイカト云フコトヲ恐レルノデアアル其邊ノ所ヲ  
 一應承リタイ

出席員 伯爵 伊藤 博文君

穂積陳重君 只今ノ御質問ノ場合ハ此條件ト云フモノノ中ニ必ズ來  
 ル可キ將來ノ事件又ハ來ルカ來タラヌカ分ラヌ將來ノ事件兩方共  
 含マセタ積リデアラウト云フコトデアリマシタガ夫レハ然ウ云フ  
 意味デハナイ積リデアリマス即チ起ルカ起ラヌカ儘カデナイ或ハ

殊ニ依ツタラハ其事柄ガ發生スルトカ又殊ニ依ツタラハ發生シ  
 ナイカスウ云フ即チ純然タル不確定ノ事件ト云フモノチ法律行爲  
 ノ效力ヲ生ズル一ツノ原因ト爲シタ場合、人ガ死ヌルト云フコトハ  
 必ズ來ルベキ事件デアリマスルカラ是ハ期限ノ方ニ孰レノ國デモ  
 規定シテアリマシテ條件附ト云フト發生不發生ト云フコトノ全ク  
 未確定ノモノチ指シタノデゴザイマス第二ニ此停止條件ト云フ辭  
 ガ甚タ不穩當ノ辭デハナイカ停止ト申スト新聞杯テ停止スルガ如  
 ク是迄續ケテ居ツタコトヲ止メル斯ウ云フヤウニ聞エハシナイカ  
 ト云フコトデアリマシタガ是ハ至ツテ御尤モナ御考ヘデゴザイマ  
 シテ吾々ニ於テモ此停止條件ト云フコトハ甚ダ人ガ讀ンダ時ニ分  
 リ悪クテ面白クアルマイト思ヒマシタ夫レ故ニ或ハ發生條件トカ  
 消滅條件トカ解止條件トカ阻絶條件トカ種々様々ノ字チ考ヘテ見マシタガ併  
 ナガラ何ウモ穩當ノ字句ハ考ヘ當リマセヌト云フノガーツノ理

由又一ツハ停止條件ト云フモノハ效力ヲ夫レ迄停止シテ居ルノデ  
 法律行爲ハ存在シテ效力ヲ夫レ迄止メテ居ルト云フコトデアルカ  
 ラ別ニ中ラヌ文字デモナイト云フコトガーツ夫レカラ此停止條件  
 ト云フ字ハ我國ニ於テモ既ニ用キテ居ルノデ人ノ粗ボ分ツテ居ル  
 コトデアラウト云フコトガーツノ理由デアリマス若シ穩當ノ文字  
 ガアリマスレバ吾々モ悅ンデ贊成スル積リデアリマス  
 土方寧君 此條件ニ關スル理論ハ大變ニ六ヶ敷イコトト思ヒマスル  
 ガ併シ條件ノ規定ヲ設ケテ夫レヲ適用スル上ニ於テ實際ノ不便サ  
 ヘナケレバ理論ノ方丈ケハ何ウナツテモ差支ヘアルマイト思ヒマ  
 スガ自分ニモ充分ニ研究モ行届イテ居リマセヌ然ウシテ又起草委  
 員諸君モ此條件ニ關スル規定ハ大變ニ前後ニ引合ヒテ持テ居ル箇  
 條デ骨ヲ折ツテ起草ヲサレタ譯デアレバ私ハ今日ハ言ヒマセヌガ  
 併シ大体ノ事ヲ伺ツテ置キマセヌト誠ニ困リマスル此百二十七條

ノ一項デアリマスルガ只今御説明ノ通りニ停止條件法律行爲ト云  
フモノガ色々ノ所カラ効力ヲ生スルノデアツテ前カラ法律ガ成立  
ツテ居ルト云フコトデアリマス併ナガラ條件ガ効力ヲ生ジナイノ  
デ全ク無効ノ法律行爲ガ成立ツテ居ルヤウナモノ、條件ガ發生シ  
テ始メテ効力ヲ生ズル、夫レ迄ハ法律ハ成立ツテ居ルガ効力ハ生  
ゼヌト云フコトハ如何ニモ可笑イ現ニ此次ノ百二十八條ヲ以テ見  
テモ幾ラカノ効力ハアル夫レハ次ノ法文デ以テ殊更ニ性質ノナイ  
モノヲ與ヘルノデアアルマイガ唯ソコノ點ハ何ウデゴザイマセウ  
法律行爲ノ成立チニ關スルモノデナクシテ其効力ニ關スルモノデ  
アルト云フケレドモ法律行爲ガ成立ツテ居ルト言ヘバ幾ラカ効力  
ガナケレバナラヌ無効ノ法律行爲ガ成立ツテ居ルト云フノハ如何  
ニモ可笑イト思フ

退席員伯爵 伊藤博文君

穂積陳重君 私ノ考ヘテハ無効ノ法律行爲ガ成立ツテ居ルトハ申シ  
マセヌ法律行爲ハ立派ニ存在シテ居ル積リデゴザイマシテ此法律  
行爲ト云フモノガ將來ノ事柄ニ依テ効力ヲ生ズルカ若クハ其儘ニ  
消シテ仕舞ウカト云フコトデアリマス無効ノ法律行爲デアレバ決  
シテ如何ナル効力ヲモ生ジ得ナイ是ハ有效ノ法律行爲併ナガラ其  
目的タル所ノ効力賣買ト云フ法律行爲デアレバ其賣買ノ効力ト云  
フモノハ條件成就ニ依テ成立ツ其間ハ丸デ殻ノヤウナモノデ甚ダ  
可笑イト云フヤウナ御考ヘモアリマセウガ併ナガラ是ハ遺言デア  
リマスルト云フヤウナ場合モ同ジコトデアリマス矢張り或期限ノ  
來ル迄ト云フモノハ丸デ其法律行爲ハアツテモ夫レガ働カナイ其  
目的タル効力ヲ生ゼナイト云フコトハ獨リ此法律行爲ノ條件ノ場  
合許リデハアリマセヌ法律自身ガ規定シテ置クコトモアルノデア  
リマスカラ決シテ可笑イコトハナイト私共ハ心得マス夫レカラ此

法律行爲ト云フモノヲ爲シタラバ條件ガ未ダ成就セザル前ニ於テモ既ニ幾分カ效力ハアリハシナイカト云フ御話デアリマシタガ夫レハ學者ニ依テハ充分ニアルト云フ人モゴザイマス本案ノ立テ方ニ據ルト法律行爲ハ立派ニ成立ツテ居ル而シテ其法律行爲ノ直接ノ目的ハ條件成就ニ依テ生ズル併ナガラ其條件成就ニ依テ生ゼシナル效力ヲ妨グテ他ノ權利ヲ害シテハナラヌ夫レハ次ノ條ニ於テ新ニ規定ヲスル斯ウ云フ風ノ組合立テニシタノデ尙ホ其事ハ次ノ條ニ於テ説明致シマス

末松謙澄君 只今起草委員ノ御説明デアリマシタガ成程死ヌルトカ何ントカ云フコトハ必ズ來ルベキ事件デアリマセウガ此期限ト條件ト云フモノハ夫レハ或事柄ニ付テハ必ズごつちニ屬スルモノカ分ラヌヤウナコトガ随分アルデゴザイマセウガ必ズ起ル方ノコトハ條件トハ言ヘヌト云フコトガ出來ルモノデアラウカ出來ヌモノ

デアラウカ甚タ疑ハシイ如何トナレバ今日デモ生ズルヤウナコトハ條件主義ヲ唱ヘテ居ルヤウナコトデアアル而シテ期限ノ方ニシマスレハ純粹ノ期限ト云フモノハ一定ノ時ガ極メテノガ純粹ノ期限ニ屬スルノデアアル或事柄ガ起ツタラウト云フヤウナコトハ或解釋ノ仕方デ期限ト云フヤウニ見エルコトモアリマセウケレドモ随分無理ナコトガ起ツテ來ハシナイカ船ノ着イタ時ト云フヤウナコトモ期限ト云フコトモ出來ルノデアアル併ナガラ船ガ着イタカ着カナイカ分ラヌヤウナコトモ、、、甚ダ不確定ノモノデアアル、ケレドモ其間ノ區別ヲスルコトハ甚ダ困マルヤウナコトガ起リハシナイカト思ヒマス、時ニ關スルモノハ全ク停止條件ノ中ニ含まナイト云フコトハ少シ了解仕兼ルノデアアル夫レカラモウ一ツ御問ヒテシタノニ御答ヘニナラヌヤウテアリマシタガ或事柄ヲ約束ヲシテ斯ウ云フコトガ起ツタ時ニハ中止ヲスル又其事ガ止ンダ時ハ

舊トニ復活スルト云フヤウナ條件ガアルニ相違ナイ夫レ等ハ此二箇所ニ嵌マラナイヤウデアル如何トナレバ條件成就ノ時ヨリ效力ヲ生ズルト云フノデナイ條件消滅ノ時ヨリト云フコトニ嵌マルノデアアル其次ノ條ニモ嵌ラナイノデアアル併シ然ウ云フ條件ハ見ルノ必要ガナイト云フコトデアレバ兎モ角モデアリマスルカ見ルノ必要ガアルト云フコトデアレバ之デハ不充分デアラウト思ヒマスガ如何デスカ

穂積陳重君 一ツノ法律行為ヲ爲シテ或事が起レバ其行為ヲ中止スル、又其事ガ止ンダラ復活スルスノ如キコトハ往々アルコトデアリマセウ是ハ矢張り本條ノ規定ニ於テ少シモ差支ヘハ生ジマセヌスノ如キ行為ガ一ツノ法律行為デアレバ固ヨリ唯一ツノ停止ノ條件附法律行為デハナイ如何トナレバ始メカラ法律行為ヲ生ズルト云フコトハ別ノコトデアリマス其行為ハ法律行為ヲ生ズル後ノコ

トニ限ツテ居リマス夫故ニ解除條件ノ一種之ガ或場合ニ於テ夫レ丈ケノ事柄ガ起ツタ時ニハ一部分ノ效力ヲ失ウモノデアアル斯ウ云フ工合ニ通常説明ヲ致シテ居ルヤウデアリマス途中ニ法律行為ヲ或事柄ニ依テ中斷スル時杯ト云フモノハ言ハヌデモ充分此二ツノ條件ノ規定ニ依テ夫レヲ捌イテ往クコトガ出來ルモノデアルト云フコトノ爲メニ何處迄モ效力中斷ニ關スル條件ト云フモノヲ特ニ規定シテ居ル所ハマダーツモ見ナイ併ナガラ若シモ此中斷ガ一旦法律行為ヲ丸デ取消シテ仕舞ツテ又新タナル行為ヲ成立セル斯ウ云フ場合デアリマスレバ第一項第二項共ニ當ル初メハ解除條件後ハ停止條件ト云フ場合ニ當ル

土方寧君 此第一項ノ「停止條件附法律行為」ト云フノト次ノ百二十九條ノ「條件附權利義務」ト云フノトハ大變ニ違ヒガアリマスカ夫レトモ格別違ヒアリマセヌカ第百二十七條ノ一項ハ成立タヌ

ヤウニ見エル、ソコラハ區別ガアリマスカ何ウデゴザイマセウカ  
 序ニモウ一ツ條件デアリマスガ此條件ハ今ノ法律行爲、ニクツ付  
 クト云フコトハナイ法律行爲ニクツ付クノト權利義務ノ關係ニク  
 ツ付クノト二ツノ關係ガアル權利義務ノ關係ニクツ付クナラバ物  
 權ニモクツ付クカ何ウカト云フコトヲ伺ヒタイ

穂積陳重君 第二百二十九條ニ「條件附權利義務」トアリマスルノハ  
 即チ第二百二十八條カラ出テ來ル條件附法律行爲ノ當事者ト云フ者  
 ガ有スル權利及ヒ義務スウ云フ積リナノデアリマス夫レカラ本案  
 ハ其條件ト云フモノハ權利ニ互ニ付テ居ルモノデモナイ義務ト云  
 フモノニ直ニ付テ居ルモノデモナイ權利義務ヲ生ゼシムル所若ク  
 ハ生ゼシムル所ノ法律行爲ノ方ノ附帶ノ方デアルスウ云フ主義ヲ  
 採ツタノデアリマス夫レガ宜イ惡ルイト云フコトハ學說ニ涉ルノ  
 デアリマスルカラ夫レハ如何ヤウニ御考ヘニナツテモ宜シイガ本

案ノ採リマシタ主義ハ只今申シタ様ナ譯デアリマス

田部芳君 此百二十七條ノ第三項ニ「當事者カ條件成就ノ效果ヲ其  
 成就以前ニ遡ラシムル意思ヲ有シタルトキハ其意思ニ從フ」斯ウ  
 アルコトデアリマスルガ私ハ之ヲ「其成就以前ニ遡ラシムル意思  
 ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ」トシタ方ガ辭ノ上ニ於テ正シ  
 クハナイカト思ヒマス「有シタルトキハ」ト云フヨリモ矢張り表  
 ハスト云フコトヲ直接ニ云フタ方ガ言葉上正シクハナイカト思ヒ  
 マスルカチ只今ノヤウニ改メルト云フノ修正案ヲ提出致シマス

井上正一君 贊成

高木豐三君 私ハ只今ノ修正案ニ付テ質問シタイ私ハ殊ニ依ルト贊  
 成シタイノデアリマスルガ「表示」ト云フコトニナルト例ヘハ解  
 釋デアリマスガ解釋デハ少シモ此條件ノ成就以前ニ遡ラシムルト  
 云フ意思ガ現ハレテ居ラヌ其場合ニ裁判所デ雙方ノ本人ヲ呼ンデ



意思ヲ聽キ成程當事者ガ然ウ云フ意思デアツタデアラウト云フ所  
謂解釋若クハ認定ニ由テ矢張り之ヲ許ス御積リデアリマスカ何ウ  
云フ御積リデアリマスルカ夫レチ一ツ伺ヒタイ

穂積陳重君 固ヨリ此第三項ハ其取引ノ性質慣習當事者ノ有様等ヨ  
リシテ意思ヲ確定スル場合ニ勿論嵌マツテ居ル積リデアリマス意  
思ヲ有スルト云フコトガ法律上謂ヘル場合ナラト云フノデアリマ  
スルカラ詰リ田部君ノ言ハレル所モ同ジヤウニ歸スルカモ知レマ  
セヌガ他ノ場合ニ於テ意思ヲ有スルトカ云フコトハ既ニ規定チシ  
マシタ所ニモアルノデアリマス百十七條デアリマシタカ「追認ハ  
反對ノ意思ナキトキハ」云云トアリマスガ此「意思ナキトキハ」  
ト云フコトハ意思ガナイト云フコトガ證明セラレルト云フコトデ  
アリマセウカラ願クハ「意思ヲ有シタル」ト云フコトニ間違ヒガ  
ナイト云フコトデアリマスレバ之デ置カシタイト思ヒマス又高木

君ノヤウニ意思ヲ表明スルト云フコトニナルト當人ノ方ノ意思ノ  
表明アルニ由テデナケレバ往カヌト云フヤウニ狭ク見ルト云フ氣  
遣ヒモアラウト思ヒマス

末松謙澄君 私ハ甚タ苦説イヤウデアリマスルガモウ一應起草者ニ  
質問致シタイ何ウモ此停止條件ト云フノハ穩カデナイヤウニ考ヘ  
マス今ノ御説明ニ據ルト中止スルヤウナ場合ハ言ハヌデモ之デ自  
ラ捌キガ付クト云フコトデアリマスガ成程付キモシマセウガ此中  
止ノ場合ハ此處ニ掲ゲテアリマハシナイノデアアル夫レガ故ニ斯ウ  
云フコトヲ書クコトハ出來ハシナイカト云フコトヲ御尋ネチシタ  
イノデアアル夫レハ必ズ御不同意デハゴザイマウガ私ハ此處ニ一項  
中止ノコトヲ入レタナラバ何ウデアラウカト思フノデアアル夫レハ  
第一項ト第二項トノ間ニ「中止條件附法律行為ハ其條件成就ノ發  
生ノ時ヨリ消滅ノ時ニ至ル迄其效力ヲ中止ス」ト云フ一項デアリ

マス即チ其間ハ效力ヲ中止シテ置クト云フノデアアル其條件ガ消滅シタ時ニハ舊トノ通りニナルト云フコトガ明カデアリマス此二項ガアレバ第一項モ夫レト對照シテ自ラ明カニナル夫レカラ其組立テガ私ハ其方ガ適當デアリハシナイカト思フ成程外ノ國杯デハ書イテナイカモ知レヌガ併ナガラ其思想ハ完全デハナイ寧ロ不完全デアラウト思フ當リ前ニ之ヲ讀ンデ見タ時ニハ夫レ等ノコトハ何ウモナイヤウニ思ハレルノデアアル夫レガ故ニ然ウ云フヤウナコトハ外ノ國ニハナカラウガこちラデ改良シテヤルコトハ出來ヌノデゴザイマセウカ

穂積陳重君 夫レハモウ出來ルノナンノデハゴザイマセヌ併ナガラ是ハ議論デアリマシテ法律行爲ニ斯ノ如キ一ツノ別種ノ條件ヲ附ケル或事柄ガアツタナラバ其事柄ノ存在シテ居ル中ハ其效力ヲ中止スルト云フ法律行爲ヲ爲シタ然ウシタナラバ人ガ必ズ其意思ヲ

其解釋ニ依テ其通りニ行フデアラウ故ニ法律ノ規定ヲ要スマイ契約ノ自由ニ由テ契約ハ意思ニ依テ解釋スト云フコトナレバ其契約ハ其意思ニ依テ行ハレルデアラウ、只今ノ末松君ノ言ハレルヤウニ出來ルコトハ出來マスガ此處ハ斯ノ如キ一機軸ヲ出シテ斯ノ如キコトヲ入レテ人ヲ驚カセルヤウナ必要ハナイヤウニ思ヒマス

田部芳君 只今修正案ヲ出シマシタケレドモ別ニ贊成者モナイヤウデアリマスルカラ一言辯ジテ置キマス先程穂積君カラ百十七條ノ例ヲ引カシテ「反對ノ意思ナキトキハ」ト云フ規定モアルカラ別ニ差支ヘナカラウト云フコトデアリマスルガ「意思ナキトキハ」ト云フト、、、ノ區別ハ少シ言ハレヌコトガアラウト思ヒマス當事者ニ然ウ云フ意思ガアルトキハト云フト其コトヲ表ハスコトガアルトキハト云フノデアリマセウカラ「有スルトキハ」ト云フト何カ内部ニ有ツテ居ルトキハト云フヤウニモ見エマスルカ

ラドウカ私ノ修正説ガ通ルヤウニ願ヒタイ

箕作麟祥君 一寸質問致シマスガ本條ノ第三項ト夫レカラマダ朗讀ニハナラヌガ百二十九條ト牽連シテ居リマスガ此第三項デ見ルト云フト甲乙ト云フ兩方ノ當事者ガ斯ウ云フ次第デ即チ其法律行爲ヲシタ其時ニ遡ツテ效力チ及ボサシメルト云フ意思ガアツタトキト云フコトデアリマスカラ即チ原則ハ一項二項デ例外ハ三項ニナル、所デ百二十九條ニ據レバ條件附權利義務ハ之ヲ處分スルコトガ出來ルト云フコトガアリマスルガ之ガ矢張り只今ノ百二十七條ノ第三項ノ當事者ガ一ツ特別ノ約束チシタ時ニ無條件ノ權利義務ニ關スル規定ニ從ヒ云云ト云フコトガ適用ガ出來マスカ百二十九條ハ一般ノ原則、百二十七條ノ一項二項ノ例外ノ場合ヲ言フノデナク當事者ガ特別ノ約束チシタ時分ニハ無條件ノ權利義務ニ關スル規定ニ從ヒ云云ト云フ規定ハ適用ガ出來ヌト云フ御積リデアリ

マスカー一寸伺ヒタイ

穂積陳重君 此百二十九條ノ規定ト云フモノト百二十七條第三項ノ

規定ト云フモノハ矢張り双方衝突セズシテ行ハレル積リデアリマス即チ百二十九條ハ條件成就ト云フモノト若クハ不成就ト云フモノガ確定スルマデニ必要ガアルモノデアリマス條件成就ト云フコトガ儘ニ分レハ其時カラ百二十九條ノ適用ガナクナツテ來ル、分ツテ來ナケレバ遡ルコトガ出來マセヌ分ル迄ハ百二十九條ノ規定ニ從テ處分チシテ來ル是ハ決シテ本案ノ主義ノミデハアリマセヌ總テ既往遡ルト云フ主義ヲ採ツテ居ル所デモ同ジコトデアアル法律行爲ノ效力チ生ズルノハ條件成就ノトキ夫レカラ成就シタナラバ其效力ガ既往ニ遡ル斯ウ一方ニ規定シテアツテ既成法典デモ佛蘭西伊太利其他ノ民法デモ矢張り其間ハ之ヲ相繼スルコトガ出來ル保存行爲チスルコトガ出來ルト規定シテアリマス要スルニ之ヲ實

行スル行ウ時ガ違ウ丈ケデアリマシテ既成法典杯トハ行爲ノ働キ  
ハ少シモ違ハヌ積リデアリマス

箕作麟祥君 少シ先キニ行過ギルカモ知レマセヌガ詰リ百二十九條  
ノ解釋ハ悪ルイカ知リマセヌガ既往ニ遡ルト云フコトニナルト甲  
乙ト云フ二人ガ當事者デアツテ之カ今ノ既往ニ遡ルト云フコトノ  
契約ヲシテ居ル即チ意思ヲ有シテ居ル、所デ甲ト云フ者ガ例ヘバ  
賣主デアルト夫レガ丙ト云フ者ニ矢張り甲ト乙トノ間ニ約束ヲシ  
タ同一ノ目的物ヲ賣ル丙ト云フ者ハ夫レヲ知ツテ居ル甲ト乙トノ  
間ニ行爲ガアツテ條件附ノ賣買ヲシテ居ルト云フコトヲ知リナガ  
ラ丙ト云フ者ガ條件成就ノ前ニ甲カラ買フ然ウ云フ時ニ無條件ノ  
權利義務ニ關スル規定ニ從ツテ處分ヲスルト云フコトデアルトド  
ウデゴザイマセウカ或ハ誤解カモ知レヌガ既往ニ遡ルト云フコト  
即チ丙ト云フ人ガ買ヒマシテモ其條件成就ノ前デアルフレガ條件

成就ノ後ニナツテ既往ニ遡ルト云フ丙ト云フ人ニ條件附デアリマ  
スカラ條件ガ成就スレバ丙ノ權利ハ消エテ仕舞ツテ乙ニ移ル譯ニ  
ナラウト思ヒマスガ夫レガ無條件ノ權利義務ニ關スル規定ニ從テ  
適用スルト云フト縱令遡ルコトニナツテモ然ウ云フ意思ヲ有シテ  
居ツテモ其丙ト云フ人ノ權利ハ確定シテ仕舞ツテト云フヤウナコ  
トニナリハシマセヌカ誤解カモ知レマセヌガ

穂積陳重君 能ク分リマシタ百二十九條ノ規定ノ無條件ノ權利義  
務ニ關スル規定ニ從ヒ處分スルト云フコトデアリマスルガ是ハ條  
件附權利ト云フモノ、處分法、相續法、然ウ云フヤウナモノハ別  
ニ定メテアリマセヌカラシテ無條件ノ權利義務ニ關スル規定ニ從  
ツテ之ヲ處分スルトカ若クハ之ヲ相續スルトカ云フコトヲ此處テ  
指示シテ居ルノデアリマス夫故ニ條件未定ノ間ニ於テ第三者ガ其  
目的物ヲ買取ツタ然ウ云フヤウナ風ノ場合ニ於テハ其間ニ或ハ之

ヲ登記ノ出來ルモノナラハ登記ヲスルトカ又ハ其取引ノ性質カラ  
善意ノ第三者ニ對シテハ效ノナイモノダトカ云フヤウナ風ノモノ  
デアレバ仕方ガナイ然ウデナケレバ取返ヘスコトガ出來ルことら  
ノコトモ條件附行爲ト云フモノニ關シテ同ジモノガ嵌マツテ來ル  
コトデアラウト思ヒマス之等第三者ノ權利等ノコトヲ此處ニ規定  
シマセヌ理由ハ夫レハ他ノ分<sup>部</sup>段々斯ノ如キ權利ト云フモノノ斯  
ウ云フ場合ニ於テ之ヲ保存スルコトガ出來ルト云フコトガ出テ來  
ヤウト思ヒマス既成法典ニモ既ニ其事ガ明ニ書イテアツタト思ヒ  
マシタガ

箕作麟祥君 既成法典ノ四百十條ニ「停止又ハ解除ノ條件ガ成就セ  
ザル間ハ當事者ノ各自ハ條件ヲ帶ビタル權利ヲ其儘ニ第三者ニ授  
與スルコトヲ得」ト云フコトガアリマスガ夫レト大變違ツテ居ル  
カラ伺ツタノデアリマス

三ノ四

穂積陳重君 矢張り夫レト違ハヌ積リデアリマス夫レト矢張り四百  
十條ノ二項ニ「然レトモ其條件ヲ第三百四十七條以下ニ定メタル  
方法ニ從ヒテ公示シタルニ非サレハ當事者ノ一方又ハ其承繼人ハ  
之ヲ以テ他ノ一方ノ承繼人ニ對抗スルコトヲ得ス」トアリマス之  
等ノ規定ト云フモノハ矢張り決シテ此處デ省ク積リデハナカツタ  
後トデ三百四十七條杯ニ相當スル丈ケニ往ケル丈ケノモノハ出來  
テ來ルデアラウト云フ考ヘデアリマス

箕作麟祥君 然ウスルト此無條件ノ權利義務ニ關スル規定ニ從ヒト  
云フコトハ第三者ニ對スルコトデナイノデアリマスカ  
穂積陳重君 固ヨリ然ウデス無條件權利ト云フモノヲ保存スル規則

ガアル其規則ヲ條件附權利ニ當ル規定ヲ規定シタ箇條デアリマス  
何故ニ規定ニ據ツテ處分スルカナラバ此條件附權利ノ處分法ト云  
フモノハ何處ニモ外ニ規定ハナイ夫故ニ此處ニ送ツタノデアリマ

ス

井上正一君 私ハ前ニ田部君ノ「有シタル」ト云フノヲ「表示シタル」ト改メルト云フ修正案ニ同意ヲ致シマシタノデ全ク本案ニ同意ヲセヌト云フ譯デハナイ私モ一体此條件附法律行爲ニ付テハ大層大切ナ問題デアツテ甚ダ利害得失ニ疑ヒヲ存シテ居ルノデアリマス實ハ止メテ置カウカトモ思ヒマシタケレドモ一應私ノ考ヘノ所ヲ申シテ置キマス私ハ原案ノ如ク既往ニ遡ラヌト規定シタ方ガ宜イカ或ハ既成法典ノ通りニ法律行爲ノ當時ニ遡ツテ效力ヲ生ズルトシタ方ガ宜イカト云フコトニ付テ甚ダ疑ヒガアル成程本條ノ第三項ニハ「當事者カ云云ノ意思ヲ有シタルトキハ」ト云フコトガアリマスルカラ要スルニ意思ノ解釋ニ歸スルコトデアラウト思ヒマス夫レデ既成法典ノ如ク此條件ト云フモノハ既往ニ遡ツテ效力ヲ生ズルト云フコトニ規定シタノモ矢張り是ハ當事者ノ

意思ト云フモノガ若シ之々ノコトガ生ジタナラバ賣買ナラ賣買ノ契約ヲスル即チ其契約ヲ停止シマスレバ其當事者ノ意思ト云フモノガ矢張り既往ニ遡ツテ效力ヲ生ゼシメルト云フコトデ既往ニ遡ルトシタトアリマス本案ノ如ク當リ前デアレバ效力ハ既往ニ遡ラヌ併シナガラ當事者ノ意思ガアツタ時ニハ矢張り其意思ニ從ツテ既往ニ遡ラセルト云フコトデアリマスルカラ体裁ハ成程原案ノ方ガ宜シイカトモ思ヒマスケレドモ又一方カラ見マスルト云フト此意思ニ從ツテ既往ニ效力ガ條件成就ノ效果ヲ持ト云フコトニナリマスルト矢張り意思ノ有無ト云フモノハ固ヨリ裁判官ガ之ヲ認定スルノデアリマスルカラ是ハ多クノ場合デハ仕方ガナイ、ケレドモ既成法典ノ如ク何時モ其法律行爲ノ當時ニ其效力ヲ遡ラセルトスウ極メテアルト云フト當事者ガ明ニ其效力ハ既往ニ遡ラヌト云フコトヲ示シテ置カヌト何時モ既往ニ遡ルト云フコトデアリマス

カラ裁判官ガ其當事者ノ意思ヲ誤解シテ其意思ヲ認定スルト云フ  
 コトハ決シテアルマイト思フ夫レノミナラズ第二百二十九條ノ條件  
 ノ未ダ到達セヌ成就ヲセヌ間デモ處分ヲスルトカ何ントカ云フヤ  
 ウナ規定モ要スルニ是ハ效果ガ既往ニ遡ルト云フ規定デアレバ尙  
 ホ之デモ處分ハ固ヨリ出來マスケレドモ尙ホ意思ナラ意思カラ見  
 ルト云フト即チ效力ガ既往ニ遡ルカト云フ當事者ノ意思ガアルカ  
 ラコソ矢張り條件ノ成就シナイ前デモ處分スルトカ或ハ相續スル  
 トカ或ハ保存スルトカ云フコトガ出來ルト云フヤウナ考ヘガ餘程  
 能ク附合スルデアラウト思ヒマス要スルニ原案ノ通りデアツタ所  
 ガ私ハ強テ云フノデアリマセヌガ何ウモ私モごちらガ宜カラウト  
 思フノデ双方ニ利害ガアルノデ充分ニ定マリマセヌケレドモ此第  
 百二十七條ノ通りデアツタ所ガ例ヘハ法律行爲ノ性質等ニ依テ矢  
 張り意思ヲ推測スルト云フコトデアリマスルカラ賣買ナラ賣買即

チ其性質上無論此意思ト云フモノハ推定ニナルコトデアラウト思  
 ヒマス故ニ例ヘバ當事者ガ代金ヲ返ヘシタナラバ其不動産ハ返ヘ  
 スト云フコトヲ約束チスル然ウシテ其不動産ヲ乙者ナラ乙者ニ賣  
 ツタ、所ガ例ヘハ乙者ガ其不動産ヲ假リニ第三者ニ賣ツタ、所デ  
 若シ其條件ガ代金ヲ拂ツタナラバ取消スト云フコトハ其行爲ノ性  
 質上第三項ノ規定ニ嵌マルモノデアルト云フコトハ無論ノコトデ  
 アラウト思ヒマス然ウシテマヌルト差支ナイカモ知レマセヌガ矢  
 張り是ハ既往ニ遡ツテ其效力生スルト云フヤウニ即チ「條件ノ成  
 就ハ法律行爲ノ當時ニ遡リテ其效果ヲ生ス」ト云フ方ガ宜カラウ  
 ト思ヒマス

御

議長（西園寺侯） 然ウスルト井上さんノ説ハ田部君ニ御賛成ナン  
 デスカ餘程初メカラ注意シテ伺ヒマシタガ何ウモ意味ガ通ジ兼ネ  
 マシタガ此條ニ付テ今ノ御發言ト云フモノハ詰リ何ウシヤウト云

フノデアリマスカ

井上正一君 「條件ノ成就ハ法律行爲ノ當時ニ遡リテ其效果ヲ生ス

ト云フヤウニシタイト云フノデアリマス

議長（西園寺侯） 修正案デアリマスカ

井上正一君 修正案デアリマス

穂積陳重君 只今ノ修正案ノ中ニ御質問ノヤウナ部分モ一寸アツタ

ヤウニ思ヒマスガ取戻シ杯ニ付依テ處分ヲシタノハ矢張り本條ノ

例外デナイ積リデアリマス夫レハ斯ノ如キコトガアツタラ取戻ス

ト云フコトデアツテ取戻スト云フ斯ウ云フノデアリマスカラ立派

ナ解除條件デアツテ是ハ同ジコトニ歸スルヤウデアリマスルケレ

ドモ果實杯ニ付テハ結果ガ違ウモノデアリマス本條ノ規定ハ斯ノ

如キコトガアリマスレバ宜イケレドモ斯ノ如キコトガアツタラ戻

ス、斯ウ云フノデアリマシテ若シ果實ヤ何カデアツタナラバ既往

ニ遡ラナケレバ往カヌ既往ニ遡レバ論理上果實杯ヲ戻スコトニナ

ル既往ニ遡ラヌデハ果實ヲ戻スコトガ出來ヌヤウニナツテ來マス

カラ夫故ニ斯ノ如キコトハ矢張り效力ヲ失フテ然ウシテ解除條件

ハ一方カラ見レハ一方ノ人ニ對シテハ解除條件ニナリマスカラ其

方ガ適當デアラウト思ヒマス

井上正一君 然ウスルト第三項ニ道入ラヌノデアリマスカ

穂積陳重君 私ハ當然第三項ニ道入ルモノデナイト思ヒマス即チ果

實杯ノ如キ當然ノ結果、、、

井上正一君 果實杯ノコトニ付テハ既往ニ遡ルト云フコトハ私ハ矛

盾シテ居ルカモ知レヌガ既往ニ遡ルコトガ出來ルト云フ法律ノア

ル國デモ果實ノコトニ付テハ殆ンド讓ツテ果實丈ケハ矢張り既往

ニ遡ラヌト云フヤウナコトモアリマスノデ果實ノコトニ付テハ既

往ニ遡ラヌト云フ説ヲ採ツタ人デモ、、、



議長（西園寺侯） 然ウスルト矢張り田部君ニ賛成ナンデアリマス  
カ

井上正一君 私ノ説ガ立タナケレバ賛成シマス

議長（西園寺侯） 然ウスルトあなたノ説ガ立タナイト田部君ニ賛

成デ他ノ説ニ賛成ガアツタラあなたノ方カラ先キニ採ツテ貰ヒタ

イト云フノデアリマスカ

井上正一君 左様デアリマス

議長（西園寺侯） 宜シイ

岸本辰雄君 井上君ノハ主義ヲ改メタイト云フ御説デアリマスガ私

ハ井上君ノ説ヲ賛成致シマス私ハ敢テ既成法典ニ偏スルノデモナ

イ矢張り先入主トナル勢ヒカ何ウモ廻ルト云フ方ニシタ方ガ宜イ

ヤウニ考ヘマス併ナガラ其主意モ獨逸民法ハ然ウナツテ居ル併シ

夫レハ決シナイノデアリマスカラ利害ハ何ウ云フモノガ分ラヌ英

吉利ノハ然ウナツテ居ルト云フコトデアリマスガ果シテ然ウデア

リマスルカ中途ノ説明デアリマシタカラ後トデ承ルトシテ縦令ヒ

英吉利ノハ然ウナツテ居ルニモセヨ既ニ既成法典モ然ウナツテ居

リマスルシ夫レカラ日本ノ慣例ハ何ウナツテ居ルカト云ツタナラ

バ私モ充分ニハ存ジマセヌガ裁判所ノ慣例ハ裁判官モ澤山居ラレ

マシテ御承知デゴザイマセウガ矢張り日本デハ既往ニ廻ルト云フ

方ガ一定ト云フ譯ニハ往キマスマイガ充分慣例ヲ成シテ居ルダラ

ウト思ヒマス、シテ見レバ我國ノ慣例ハ既往ニ廻ルコトニナツテ

居ルト斷言シテモ宜カラウト思ヒマス然ルチ今改メテ反對ニセネ

バナラヌト云フ餘程ノエライ理窟ハナイヤウニ思ヒマスルガ詰リ

其理窟ニ至ツテハ學説ノ争ヒニナリマスルカラ深く申サヌデモ唯

意見ガ異ルト云フコトニ過ギヌト思ヒマス、依テ私モ矢張り既往

ニ廻ルト云フ方ノ主義ヲ百二十七條以下ニ付テ主張シタイト云フ

考ヘデアリマスカラ即チ井上君ヲ贊成スルノデアリマス

議長（西園寺侯）文章ハ何ウナツテ居リマスカ

岸本辰雄君 主義ノコトデアリマスカ

議長（西園寺侯） 主義ノ論デハ何モナラヌ文章ガ出ナケレハ往ケ

又

井上正一君 文章ハ一條件ノ成就ハ法律行爲ノ當時ニ遡リテ其效果

ヲ生スルト云フ第三項デアリマス

梅謙次郎君 前ノ二項ハ殘シテ置クノデアリマスカ夫レデハ何ウモ

一箇條デ前後矛盾シテ居ル

穂積陳重君 一寸只今御質問ガアリマシタカラ御質問ノ部分丈ケ御

答ヘシテ置キマス岸本君カラ大層疑ハシイヤウナコトヲ申サレテ

英吉利デモ果シテ然ウナツテ居ルカ如何ニモ世界一般遡ル例ガ穩

當ダト云フヤウナ句調デアリマシタガ固ヨリ英吉利ハ然ウナツテ

居リマスル亞米利加モ然ウナツテ居リマスル夫レカラ英吉利法ニ

重モニ據リマシタ印度法典其箇條モ此處ニ引イテアリマス印度相

續法百七條百八條百九條印度契約法三十二條カラ三十五條夫レカ

ラ亞米利加ノかりふをるにヤノ法典ニモ紐育ノ草案モ然ウナツテ

居リマス牽遜法典此處ニ引イテアルノガ澳太利モ瑞西債務法モも

んてねぐろモ遡ラヌトナツテ居リマス、我國ノ慣習ハ裁判例ハ如

何デゴザイマスカ併ナガラ其重モニ裁判ノ例デナイ人民ガ普通取

引チスルニ付テ遡ラヌ方ガ多カラウト思ヒマス慣習トシテ既往ニ

遡ツテヤルト云フヤウニ出來テ居ルヤウナコトモナカラウ其時カ

ラ效力ヲ生ゼシメルト云フ方ガ多カラウト云フ唯私ガ推定チシタ

ノデアリマス

井上正一君 私ハ既成法典ノ四百九條ニ斯ウ書イテアリマスルガ其

方ガ宜カラウト思ヒマス「停止ノ條件ノ成就スルトキハ合意ノ日

ニ遡リテ其效ヲ生ス」一解除ノ條件ノ成就スルトキハ當事者ヲシテ合意前ノ各自ノ地位ニ復セシム」トアリマスカラ私ハ斯ウシタイト思ヒマス

岸本辰雄君 主義ノ論ハ出來マセヌカ

議長（西園寺侯） 主義ノ論モ其方ガ實際多ケレバ夫レモ出來ヌコトモナイ夫レデ起草委員ニ其主義デモウ一邊御再考ヲ御願ヒ申スト云フコトニ皆さん御同意デアルナラバ然ウ云フコトニシテ再議ラシテモ宜シイ

岸本辰雄君 然ウ云フコトニ願ツタラ如何デス

末松謙澄君 一寸諸君ヲ煩シマスガ起草委員ニモ一ツ總キタイ異ニ井上君ノ質問ノ取戻スコトニ付テ御答ヘガアリマシタガ事實問題ニ付テ斯ウ云フヤウナ話ガアル實ハ私ニ是ハ少シ關係スル所デアリマスカラ御尋ネテシタイガ私ノ隣村ニ神社ガアル其隣村ト云フ

モノガ臨時祭禮ヲ行ヒマス夫レヲ行ウニ付テ宜イ加減ノ場所ガナイ爲メニ私ノ家ノ田地ガ其近所ニ在ツタ之ヲ巡幸ノ爲メニ何ウカ使ツテ呉レト云フテ其目的ノ爲メニ寄附シテ遣ツタノデアアル然ルニ近來ニ至ツテ巡幸ト云フモノハ止メテ仕舞ツタ、依テ其場所ト云フモノハ其目的ニハ使ハヌデ畑ニシテ仕舞ツタテ其村ノ奴ガ外ノ事ニ使ウト云フヤウナルコトガアルノデアアル其時分ニ明ニ其事ガ止メタ時ニハ返却スルト云フ條件ノ方ガ書イテアレハ明カデゴザイマセウガ其事ガ書イテナイこちラデハ斯ウ云フ目的ニ使ウト云フコトニシカ約束ハ成ツテ居ナイノデアアル夫レデ夫レガ御仕舞ヒニナレバ夫レヲ返ヘスヤウニ思ヒマスガ之モ矢張り條件ノ中ニ含ムヤウナ事柄ノヤウニ思フガ之モ多少疑ヒガアル勿論裁判所ニ訴ヘルト云フ程ノコトデモアリマセヌガ然ウ云フヤウナコトハ今ノ一件デナイ私杯ハ色々ナコトヲ取扱ツテ居ルデ然ウ云フヤウナ

日本學術振興會  
場合ハ始終起ルコトデアアルガ學校ノコトニ付テナンダトカ其目的  
ガ止ンダ時ハ戻ストカナントカ云フ場合ガ起リマスガ然ウ云フヤ  
ウナ事ハ矢張り民法問題デアツテ今ノ返ヘスト云フヤウナ譯ニナ  
ルデアリマセウカ何ウデゴザイマセウカ随分是ハ實際ニ起ル問題  
デアラウト思ヒマス

穂積陳重君 只今ノ御質問ハ判事諸君ヤ代言人諸君ガ澤山居ラレマ  
スカラ其方カラ御答ヘテ願ヒタイノデ起草委員ニ御問ヒニナツテ  
ハ誠ニ困リマスガ私一個ノ考ヘデハ或巡幸ノ爲ニ例ヘハ其土地ヲ  
寄附スル而シテ其巡幸ノ爲メデナケレバ己レニ戻ルト云フ一ノ意  
思ガナケレバ解釋上條件附トハナルマイト私ハ思フノデアリマス  
ガ如何ナモノデゴザイマセウカ

元田肇君 私ハ主義ヲ替ヘルト云フヤウナ六ヶ敷イコトデハナイノ  
デアリマスガ先刻箕作さんカラ御質問ニナツタコトニ付テ始メカ

ラ疑ヒテ懐イテ居リマシタガ此「意思ヲ有シタルトキハ其意思ニ  
從フレ」ト云フ此效力ノ結果ト云フモノガ第三者ニ對シテノ取引上  
ニ及ボス影況ハ他ノ場所デモ随分御取調べニナルト云フコトニ承  
ツテ居リマシタガ果シテ夫レガ總則トシテ此處ニ擧ゲラレズシテ  
各場所ニ擧ゲルト云フコトハ大變煩雜ナモノデアリマセヌカ矢  
張り此處ニ「第三者ニ對シ」云云ト云フ文字ヲ加ヘタナラバ之ヲ  
總則トシテ反對ノ特別ノ場合ハ特別ノ場所デ僅ニ規定スル方ガ便  
利デナイカト思フノガーツ、夫レカラ「意思ヲ有シタルトキ」ト  
云フ事柄ハ裁判官ノ解釋ニ任セルト云フコトデアリマスガ然ウ云  
フコトデアルト云フト賢明ナル裁判官デアリマスルカラ間違ヒハ  
アリマスマイガ場合ニ依テハ随分酷ニナルト思ヒマス其酷ニナツ  
タ結果如何ニ依テ第三者ニ對シテハ大變ナ影響ヲ及ボスヤウナコ  
トガアリハシマスマイカ法律上極マツテ居リマスレバ第三者ニ於

テモ諦メルコトモ出来ヤウト思ヒマスガ何ウモ裁判官ノ見方次第  
ト云フコトデアルト其見方ニ依テ第三者ガ利害ヲ異ニスルト云フ  
ヤウナコトガ起リハシマスマイカ賢明ナル裁判官ニ任セルノデア  
ルカラ差支ヘナイト言ヘバ表面上差支ヘハアリマスマイガ實際ハ  
裁判官ノ認定ニ任スト云フコトデスルト或ハ廻ルモノト廻ラヌモ  
ノトガ出テ來テ非常ニ利害ヲ感ズルヤウナコトガ斯ウ云フ規定ノ  
爲メニ起リハシマスマイカ若シ裁判官ノ解釋ニ任セルト云フ位ノ  
コトデアレバ即チ既往ニ遡ツテ效力ヲ及ボスト云フ位ノモノデア  
ルナラバ實際上大變ナ利害ノ關係カ岐レルコトデアリマスルカラ  
此「意思ヲ有シタルトキ」ト云フノハ唯推測デ以テ斯ウデアツタ  
ラウト云フヨリハモウ少シ明ニスルト云フ位ニ之ヲ強メテ置イタ  
方ガ實際ニ於テ無理ガ出来ルヤウナコトハナカラウト思ヒマス  
議長（西園寺侯）「表示」デモ往カヌノデスカ

元田肇君 質問デアリマス第三者ニ對シテノ答辯ハアリマシタケレ  
ドモ外ノ場所デ極メルト云フ御答ヘデアリマシタガ此處ニ入レル  
コトハ出来ヌモノデアラウカト思ツタノデアリマスガ如何デゴザ  
イマセウカ

穂積陳重君 私ハ御質問デナイ積リデアリマシタガ外ノ場所デ極メ  
ルト云フノハ法律行爲ノ效力ト云フモノハ一体第三者ニ何ウ云フ  
影響ヲ及ボスモノデアルカト云フコトハ却テ斯ノ如キ條件ノ所ヨ  
リハ外ノ所デ極マツテ其規定ニ從フ方ガ穩當デアツテ其點ニ於テ  
矢張り既成法典杯ノ組立ニ倣ウト云フ斯ウ云フ考ヘデアツタノデ  
アリマスカラ充分吾々ノ間ニ於テ第三者トノ關係ハ考ヘテ相談ヲ  
シテ見タノデアリマス既成法典ニ於テハ三百四十五條以下ニ規定  
シテアリマス必ズ之ニ對向スル所ノ規則ガ出来ヤウト思ヒマス、  
ソコニ讓ラナケレバナラヌ條件ノ所丈ケニ書イテ置イテモ亦外ノ

所デ出テ來ル夫故ニ第三者ニ及ボス所ノ效力ハ別ニ定マル所ノ規定ニ據ル方ガ宜イト云フノデ此處ニハ極メナカツタノデアリマス夫レカラ意思ト云フモノ、解釋ヲ裁判官ニ任セルコトハ決シテ條件ノミデナクシテ總テノ法律皆同ジコトデアル「反對ノ意思アルトキハ」又「ナキトキハ」ト云フヤウナモノハ詰リ裁判官ノ認定ニ據ルト云フヤウナコトニナツテ來ルダラウト思ヒマス若シ裁判官ガ其當チ得ナケレバ非常ニ影響チ及ボシテ危イト云フコトナラバ此處丈ケデナク外ノ處モ危イト云ハナケレバナラヌ故ニ此處丈ケガ危イト云フコトハアリマセヌ既往ニ遡ルト云フコトガアリマスルガ併シナガラ既往ニ遡ラヌ場合デモアル意思カアルト認メラレタノト認メラレヌ場合トデハ當事者ノ方ニ大變關係チスル是ハ何ウシテモ法律デハ免レマセヌコトデ裁判官ノ解釋ニ任ゼルヨリ仕方ガナイト思ヒマス

土方寧君 色々質問デ伺ヒマシタガモウ一邊伺ヒマス此條件カ成就シテ後ニ始メテ此效力ガ生スルト云フ一項ノ場合デアリマスガ成就スル前カラ條件附ノ權利義務チ生ジナイノデアリマスルカ夫レチ伺ヒマスルノハ法律行爲ノ成立シタルコトガ一つ條件ガ成就シタ後ニ權利義務ガ確定スルト云フ斯ウ云フコトニナツテ來ヤウト思ヒマスガ條件ト云フモノガ消滅スル前カラ權利義務チ發生セシムルノデアリマスカ效力ガ確定シタ時カラデゴザイマセウ何ウデゴザイマセウカ

穂積陳重君 夫レモ大變ニ六ケ數イ問題デ答ヘヤウニ依テハ又學理論ニナルカモ知レマセヌガ固ヨリ或人ハ法律行爲ガアレバ直チニ權利義務ガ生ズル斯ウ説ク人モアリマスガ併シナガラ此次ノ箇條ト照ラシ合セテ御覽ニナリマスルト云フト法律行爲ト云フモノガ存スル併ナガラ其法律行爲ノ效力ト云フモノガ生ゼナケレバ當事

者ハ法律行爲カラシテ生スル權利行爲ハ得ナイコトニナル夫レ迄ハ丸デからつぼデアル其からつぼノ間ハ何ウ云フ有様デアルカト云フコトヲ次ノ箇條デ規定スル次ノ箇條デ法律上ノ一ツノ權、其目的タル權利ヲ得ルト云フコトノ障害ヲ受ケザル一種ノ條件附權利ノコトヲ規定スル是ハ學理上ノ争ヒハ學者ニ任セル要スルニ百二十七條丈ケテ特別ニ解スルト「法律行爲ハ其當時ニ成立ツ未タ權利義務ヲ存セス」斯ウ云フコトニナルデアラウト思ヒマス

本野一郎君 「存セス」ト云フコトハ何處デ分リマスカ

梅謙次郎君 夫レハ百二十七條丈ケテ見ルト分ルト云フノデス

議長（西園寺侯） 随分議論ハ盡キタト思ヒマス一寸井上さんニ伺ヒマスガ如何デゴザイマセウカ先ヅ主義丈ケテ採リマシテ文章ハ起草委員ニ委托スルト云フコトニシテ採ツテ見マセウカ

井上正一君 宜シウゴザイマス

議長（西園寺侯） 夫レデハ井上さんノ説ガ一番原案ニ遠イカラ之カラ先キニ採ツテ見マセウ即チ此主義ヲ改メテ其文章ハ起草委員ニ頼ムト云フ説ニ賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少数

議長（西園寺侯） 少数デゴザイマス次ハ「有シタル」ト云フノヲ「表示シタル」ト云フコトニ改メルト云フ田部さんノ説ニ御賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少数

議長（西園寺侯） 少数、別段ニ御發議ガナクバ本條ハ確定ト致シマシテ暫時休憩致シマス

午後六時五十分休憩

休憩後午後七時二十分開議

議長（西園寺侯）是ヨリ開會致シマス

（書記朗讀）

第二百二十八條 條件附法律行為ノ當事者ハ條件未定ノ間ニ於テ條件ノ成就ニ因リ其行為ヨリ生ズベキ相手方ノ利益ヲ害スルコトヲ得ス

（參照）瑞債務法一七二、獨一草一三四、獨草一三〇、普國法一部四章一〇三

穂積陳重君 本條ハ條件未定ノ間ニ於ケル當事者ノ權利ヲ定メタ簡條デゴザイマス條件ノ成就セザル間當事者ノ權利ハ何ウ云フモノデアルカト云フコトハ實ニ是迄諸國ノ定<sup>規</sup>又諸國ノ學者ガ其性質ニ付テ爭フテ居ル所デアリマシテ既ニ前條ノ議事ノ時ニモ條件附法律行為ト云フモノハ法律行為ヲ爲シタ時ニ權利ヲ生スルヤ否ヤ抔



ト云フコトノ質問モアリマシタ位デアリマス固ヨリ此學理上ノ争  
ノコトハ是ハ學者ニ任セテ置イテ宜シウゴザイマスガ併シナガラ  
此條件附未定ノ間ニ於ケル當事者ノ權利ハ法律デ確定致シテ置キ  
マセヌトどれ位ノ保護ガアルカ又裁判所ニ出テどれ位ノ事ガ主張  
スルコトガ出來ルト云フコトガ分リマセヌコトデアリマスカラ夫  
故ニ本條ヲ置クノ必要ガ生ジテ來タノアリマス夫レデ條件附法律  
行爲ト云フモノガアルト其當事者ハ何ウ云フ位地ニ居ルカ或ハ確  
カニ權利ヲ生ジテ居ルカ條件附テ所有權ヲ讓渡ス斯ウ云フ時ニハ  
一方ハ條件附所有者デアルシ一方ハ條件附義務者デアルスウ云フ  
様ニ權利ガ確カニ生ジテ居ルト云フ立テ方ニシテアル或ハ權利ノ  
希望丈ケデアツテ恰モ推定相續人ノ權利ノヤウナモノデアル或ハ  
當事者ノ權利ト云フモノハナイケレドモ其普通條件ガアル其目的  
物以内ノモノガアツテ他カラ之ヲ動カスコトガ出來ヌ其他種々ノ

主義ニ依テ規則ガ極メテアル所モアリマス、デ此本案ハ條件附法  
律行爲ト云フモノヲ爲シマシタ時ニハ其法律行爲ノ目的タル效力  
例ヘハ賣買ノ場合デアレバ賣買ト云フ效力ハ全ク條件成就ノ時カ  
ラ發生シマスルカラシテ夫レ迄ノ間ハ前條ノ規定丈ケデハ當事者  
ニ其行爲ヨリシテ權利義務ト云フモノハ生ゼナイ本條ニ依テ初メ  
テ條件未定ノ間ノ權利義務ト云フモノガ定マルノデアル、デ其權  
利義務ハ何ウ云フモノデアルカト云フト若シ條件ガ成就チシタナ  
ラバ其目的タル結果ヲ得ルト云フコトヲ妨ゲラレヌ所ノ權利デア  
ル所有權ヲ移スト云フコトデアラナラバ其所有權ヲ條件成就ニ依  
テ得ルト云フコトガ單ニ希望許リデナクシテ法律ニ依テ保護サレ  
テ居ル所ノ一ツノ有様ニナルノデアル若シ本條ノ如キモノガアリ  
マセヌ時ニ於テハ未タ條件ノ成就致シマセヌ前ニ其義務者ノ方カ  
ラ目的物ヲ他ニ妄ニ讓渡ストカ或ハ其目的タル效力ヲ生セシムル

ト云フコトヲ妨ケル又ハ故ラニ遅引セシムルトカ云フヤウナコト  
ヲ爲シマシテモ其相手方ト云フ者ハ未ダ權利ハナイモノデアリマ  
スカラシテ法律ノ保護ニ依テ其救済ヲ需メルト云フコトハ當然ハ  
出來マセヌ茲ニ於テ學者裁判官杯ガ種々ノ理窟ヲ付ケテ是迄ハ其  
利益ヲ保護シテ來テ居ルノデアリマス夫故ニ本條ハ明ニ其目的タ  
ル效力ヲ生ズルト云フコトヲ害シテハナラヌト云フコトヲ極メタ  
ノデアリマス其目的タル效力ニ依テ受クベキ利益ト云フモノヲ妨  
ゲラレヌ權利ヲ當然ニ條件附權利義務ト言ヘル積リデアリマス是  
迄條件附權利若クハ條件附義務ト云フモノハ諸國ノ法典杯ニモ往  
々使フテアリマス併シナガラ夫レヲ解釋スル者又ハ其理由書等ヲ  
見ルト是ハ便宜ノ爲メニスノ如キ辭ヲ使ウノデアツテ必ズ中ツタ  
モノデハナイ斯ウ云フテ居リマス本條ガアリマスルト云フト便宜  
ノ爲メデナク條件附權利義務ト云フモノガ一般ノ法律ノ規定カラ

生ズルコトニナルデアラウト思ヒマス

出席員 三浦安君

土方寧君 此本節ノ始メニ停止條件解除條件トアリマスガ然ウシマ  
スルト例ヘバ買戻ヲシマスル賣買ノ時約款ニ基ク權利ト云フモノ  
ハ、、、、債務附約款ノ賣買ニ於テ買主ト云フ者ハ買フ  
コトハ出來ヌ買戻約款ノ權利ト云フモノハ當事者内ニモ對抗ガ出  
來ルト云フコトニスレバ宜シイ例ヘハ甲ナラ甲ナル者ガ財産ヲ有  
ツテ居ツテ乙ニ賣ル時分ニ御前ニ幾ラデ賣ル併シ其財産ノ幾ラヲ  
、、、、ト云フ約束デ賣ツテ若シ一年デモ怠ツタナラ  
バ賣買ヲ取消スト云フヤウナ約束ヲスル然ウ云フ約束ハ無論物權  
トハ見ナイト思ヒマスガ若シ然ウ見ルナラバ買ツタ人ハ他ニ賣ル  
コトハ出來ヌコトニナル何ウ云フモノテゴザイマセウカ

穂積陳重君 買戻約款附ニ因ツテ所有權ヲ得マシタモノニモ本條ガ

矢張り當ル積リデアリマス其所有權ト云フモノガ御質問ノ中ニア  
リマシタ通りニ物權トシテ他ニ對抗ガ出來ルト云フ場合ニ於テハ  
即チ他ニ再ビ讓渡スト云フコトハ相手方ノ利益ヲ害スルコトニハ  
ナラヌ夫レカラ若シ第三者ノ手ニ轉々致シマシタナラバ再ビ取戻  
スコトガ出來ヌヤウナ風ノ約束又ハ其他ノ法律行爲デ移リマシタ  
ノデアリマスレバ其始メ移シマシタ人ニ對シテ此人ハ特別ノ關係  
ヲ有シテ居リマスカラシテ自ラ其買戻約款ハ出來ヌヤウニナルト  
云フコトハ本條ノ明文上まつすぐニ之ヲ禁ジテアルコト、思フノ  
デアリマス、デ若シ之ニ拘ハラズ之ヲヤリマスレバ即チ權利ヲ侵  
害スルモノデアラウ

土方寧君　モウ一邊伺ヒタウゴザイマスガ本條ノ「利益」ト云フ字  
デアリマスガ此「利益」ト云フ字ハ「權利」トハ字ガ違ヒマスケ  
レドモ此法文ガアルガ爲メニ法文ノ效力ニ依テ法律上カラ言フト

是ハ即チ權利ト云フコトニナル前ノ百二十七條ニ於テハ法律行爲  
ハ成立シテモ未ダ權利義務ノ關係ハ生ジテ居ナイト云フコトノ法  
文ガアルガ爲メニ特ニ此規定ヲ以テ然ウ云フ權利ヲ法律ガ生ゼシ  
メル前ノ條ニ謂フ所ニ於テハ性質上ハ權利ガ生スルモノデナイト  
云フ御考ヘカラシテ此所デ新シク權利ヲ組成シテ其條ガ行ハレル  
ヤウニナツタ後チニハ權利ト云フコトニ見ルト云フノデアリマス  
穂積陳重君　其通りデアリマス夫レガ爲メニ先キニ權利ト云フコト  
ガアル本條デ保護サレテ居ルカラ權利ト云ヘルヤウニナル

本野一郎君　然ウシマスルト此百二十八條カラ生シマスル所ノ權利  
ト云フモノハ一ノ對人權ごろあり、べるそんねーるトデモ云フベ  
キモノデアラウト思ヒマスガ左様心得テ宜シウゴザイマスカ

穂積陳重君　固ヨリ相手方ノ間ニ成立ツ權利デアリマスカラ御見解  
ノ通りト思ヒマス

岸本辰雄君 今ノ御質問デ少シ疑ヒチ起シマシタガ其例デ言ヘバ甲ト乙トノ間ニ賣買契約チシテ家チ賣ラウ買ハウ併ナガラ解除條件附デアル、所デ乙ハ夫レチ買ツテ居ルカラ所有者デアル、依テ夫レチ復タ丙ニ賣ツテ仕舞ツタ其後ニナツテ解除條件ガ成就シタ然ウスルト甲ガ乙ニ向ツテハ固ヨリ取戻スコトガ出來ルガ如何セン其物件チ丙ニ賣ツテ仕舞ツタ其時ニハ損害賠償デ往ツテ宜ササウニ思ハレマスルガ然ウ云フコトハ出來マセヌカ矢張り取戻スコトガ出來ルノデアリマスカ

穂積陳重君 其權利ハ登記モ何モシテナイ場合デアリマスカ

岸本辰雄君 解除條件附デ登記シテアル場合

穂積陳重君 登記シテ居ルナレバ固ヨリ解除條件ニ因ツテ何處マデモ戻ルモノデアラウト思ヒマス甲カラ乙、乙カラ丙ニ轉々シテモ己レノ持ツテ居ル權利ヨリモ多ク移ルト云フコトモアルマイト思

ヒマスカラ其場合ニ於テハ矢張り解除條件附所有權ト云フモノガ轉々シタモノト看テ宜カラウト思ヒマス

岸本辰雄君 此百二十七條ノ第二項ト抵觸シハセナイカト云フ疑ヒガ生ジマシタガ此二項ニ據ルト「解除條件附法律行為ハ條件成就ノ時ヨリ其效力チ失フ」夫レ迄ハ其效力ガアル——效力デアルト云ヒマスルカラ所有者ハ其所有物チ賣ル權利チ行フコトガ出來ル其後ニ至ツテ其效力チ失ツテ仕舞ウ夫レカラ先キハ出來ヌト云フヤウナ意味ニ此第二項チ解シテ居ツタノデアリマスガ夫レ迄ハ有效デアル其時ニナツテ效力チ失フ然ウスルト丁度今ノ例デハ乙ガ丙ニ賣ツタノハ未ダ條件成就ノ前デアルカラシテ矢張り效力チ有シテ居ルニ依テ其賣買ト云フモノハ有效デアル、スルカラ第三者ニ向ツテハ——善意ノ轉得者ニ向ツテハ、ト云フヤウニ前條ノ二項ノ方デハ見エルノデアリマスガ撞着ハシマセヌカ

穂積陳重君 少シモ撞着ハシナイ積リデアリマス百二十七條ノ第二  
 項ハ「解除條件附法律行為ハ條件成就ノ時ヨリ其効力ヲ失フ」例  
 ヘバ私ガ甲ナル者ニ土地ヲ讓渡ス若シ其后ニ私ニ兒カ出來タラ夫  
 レハ返ヘシテ吳レ斯ウ云フ法律行為ヲ爲シタナラバ其兒ノ出來ル  
 迄ハ讓渡スト云フ法律行為ガ効力ヲ生ズル轉々シテ後ニ兒ガ出來  
 ル夫レ迄ハ所有權ト云フモノハ即チ初メノ法律行為ノ結果トシテ  
 他人ニ移ツテ居ルノデアリマスカラシテ少シモ、、、、、、、  
 岸本辰雄君 然ウスルト條件ガ遡ルヤウナコトニナリハシマセヌカ  
 佛蘭西杯ノ結果ト同ジヤウニナル

穂積陳重君 遡ルト云フコトニナリマスルト云フト間ノ甲乙丙ト云  
 フ者ノ所有權ハナクナツテ來ル本案ニ於テハ所有權ガアル其所有  
 權ヲ私ニ兒ガ出來タト云フノデ失ツテ仕舞ウ遡ルノナラバずつこ  
 前チ、、、、、、、夫故ニ大變違ウ夫故ニ此處デハ果實ノ規定杯

ハ唄ツテナイ果實杯ハ書イテナクモ當然所有者ガ取ルノデアリマ  
 ス

箕作麟祥君 此「利益」ト云フ字ニ付テ土方君カラ御質問ガアツテ  
 夫レニ對スル御答ヘガアリマシタガ尙ホ伺ヒマス此「利益」ト云  
 フコトハ「權利」ト同ジヤウニ見ル此次ノ百二十九條ニモ「條件  
 附權利義務」トアリマスガ是ハ此條デ「利益」トアツテ夫レカラ  
 法律デ極メルカラ權利ト云フコトニナルト云フコトニナルト云フ  
 大層六ヶ敷イ話シデアリマスガ是ハいきなり「權利」トシテ仕舞  
 ツテ、往ケヌノデアリマスカ

穂積陳重君 夫レハ何ウシテモ出來ヌト思フ或特別ナル理論ヲ採ラ  
 ナケレバ、學者ノ中ニモ條件附法律行為ヲ爲スト云フト直ニ當事  
 者雙方ノ間ニ權利ヲ生ズルト云フ斯ウ云フ者モアリマスル此處ニ  
 名モ書イテアリマスルカ極メテ少數デアリマス夫レデ固ヨリアル

ノナラバ「相手方ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス」ト書イテモ宜シイ  
ノデアリマスガ併シ固カラアルノナラバ此百二十八條ハ要ラヌ「  
權利ヲ害スルコトヲ得ス」ト云フコトヲ故ラニ書クニハ及バヌ相  
手方ハ未ダ權利ハナイ若シ其條件ガ成就致セバ斯ノ如キ利益ヲ受  
ケルノデアアルカラ其相手方ハ本條デ其利益ヲ害スルコトハ出來ヌ  
ゾト云フノデ本條ノ結果デ始メテ「權利」トナルノデアリマスカ  
ラ此處ヲ「權利」ト直スト云フコトハ本案ノ立テ方デハ何ウモ六  
ケ敷イト思ヒマス

箕作麟祥君 次ノ條ノ「條件附權利義務」ト云フノハ百二十八條テ  
謂フ「利益」ト云フノト同ジモノデアリマスカ或ハ違ヒマスカ

穂積陳重君 同ジモノデアリマス

箕作麟祥君 あそこデハ權利ト云フテ宜シイノデスカ

穂積陳重君 然ウデス既ニ法律上デ其利益ヲ保護シテ居ルカラ

議長（西園寺侯） 御發議ガナクバ確定ハ認メマスガ如何デアリマ  
スカ

尾崎三良君 異議ナシ

土方寧君 モウ一ツ此「利益」ト云フ字ニ付テ伺ヒマスガ先刻伺ヒ  
マシテ能ク分ツタノデアリマスガ少シ疑ヒチ生ジマシタ「利益」  
ヲ害スルコトヲ得ス」此本文ガアルガ爲メニ此「利益」ト云フモノ  
ガ此法文ガ行レタ後ニハ「權利」トナル夫レハ伺ツタノデアリマ  
スルガ然ウスルト此「利益」即チ本條ノ爲メニ保護セラレテ「權  
利」トナル利益ト云フモノガ法律行爲ノ目的トスル權利ノ性質ト  
同一ノモノニナルカ何ウカ若シ同ジモノニナラヌノナラバ利益其  
者ハ權利ニナルノデナイ其區別ガアラウト思ヒマスガ  
穂積陳重君 其通りデアリマス勿論其利益ヲ害セラレナイ權利ト云  
フノデアリマス

土方寧君 利益其者ハ權利ニハナラナイノデアリマスカ

穂積陳重君 勿論然ウデス夫故ニ何ウ云フ權利デアルカ目的トスル

權利ト同ジモノデアルカト云フ御問ヒデアリマシタガ目的トスル

所ノ權利トハ違ウノデ理窟カラ言ヘバ即チ所有權讓渡ノ場合デア

レバ條件成就ノ場合ニ少シモ支障ヲ受ケナイト云フ權利デアリマ

ス

土方寧君 夫レハ人權デアリマスカ

穂積陳重君 勿論本條ノ規定丈ケハ人權デアリマス

岸本辰雄君 尙ホ苦説イヤウデアリマスガ止ムヲ得ズ伺ヒマスガ是

ハ斯ウ云フコトニ解シテ宜イノデスカ解除條件附ノ場合デアツタ

ナラバ此解除條件附デア買ツタ者ハ其物チ人ニ賣ルコトガ出來ヌ自

分ガ持ツテ居ルナラバ賣ルコトハ出來ル賣ツタナラバ夫レハ條件

ガ成就シタ時ニハ段々取戻サレルト云フ結果ニナル斯ウ云フ意味

ニ解シテ宜シウゴザイマスカ

穂積陳重君 賣ツテモ利益ヲ害スルヤウニ賣ルコトハ出來ヌ利益ヲ

害シサヘシナケレバ賣ツテモ構ハヌノデス

岸本辰雄君 動産デアツタナラバ何ウデゴザイマセウカ

穂積陳重君 動産デアツタナラバ動産丈ケノ規定ニ從フノデアリマ

ス轉々シテ第三者ノ手ニ移ツタナラバ夫レ迄取戻スコトハ出來ヌ

ト思ヒマス

議長（西園寺侯） 本條可決ト認メテ次ニ移リマス

（書記朗讀）

第二百二十九條 條件附權利義務ハ無條件ノ權利義務ニ關スル規定

ニ從ヒ之ヲ處分、相續、保存又ハ擔保スルコトヲ得

（参照）財四一〇、四一七、四二五、佛一一七九、一一八〇

、澳九〇〇、蘭一二九七、一二九八、伊一一七〇、一一七一

、瑞債務法一七二、二項、一七五、西一一二一、白草一一七  
 三、二項、一一七四、一一七五、獨一草一三二、一三三、普  
 國法一部四章一二一乃至一二五、一六一、一六二、索八五二  
 、八八九、

穂積陳重君 本條ハ矢張り條件未定ノ間ニ於ケル當事者ノ權利義務  
 ナ定メタ<sup>モ</sup>デアリマス本條ノ規定ハ諸國ノ法典ニモ存シテ居リマ  
 スルシ又既成法典ニモ存シテ居ルノデアリマシテ唯財產編第四百  
 十四條四百十七條四百二十五條等ニ散在シテ居ルノチ一所ニ纏メ  
 テ之ヲ掲ゲタト云フニ過ギマセヌ前條ノ規定ニ依テ一ツ立派ニ條  
 件附權利條件附義務ト云フモノガ出來タ併ナガラ前條ノ規定ハ唯  
 其利益ヲ害セラレヌト云フ權利丈ケチ生シタ其利益ヲ害セラレヌ  
 ト云フ權利即チ所有權ヲ讓ルノナラバ其所有權ヲ讓ル條件ガ成就  
 シタナラバ其所有權ヲ得ベキ權利ト云フモノハ何ウシテ宜イカト

云フコトハ未ダ分ツテ居ナイ夫故ニ本條ハ其前條ニ依テ得タ權利  
 ト云フモノハドレ丈ケノコトカ出來ルノデアルカト云フト之ヲ處  
 分スルコトモ出來ルシ相續スルコトモ出來ル保存スルコトモ出來  
 ル又ハ擔保スルコトモ出來ル併シ處分、相續保存、擔保等ハ並ノ  
 無條件ノ權利ニ關スル規定ハ存シテ居リマスケレドモ斯ノ如キ條  
 件附權利ニ關スル規定ハ存シテ居リマセヌガ其規定ニ據レハ處分  
 、相續、保存又ハ擔保モ出來ルゾト云フコトニナツテ居リマス夫  
 故ニ若シ其權利ト云フモノガ不動産ニ關スルモノデアツテ其不動  
 產ハ登記ヲ受ケルコトガ出來ルモノデアル登記シテ處分スベキ性  
 質ノモノデアアル斯ウ云ヒマスルト云フト其不動産ヲ受クベキ條件  
 附權利ト云フモノハ矢張り登記規則ニ迄及ンデ其條件附デ登記ス  
 ルコト迄モ出來ル相續、保存、擔保デモ同ジテ其目的物又ハ其行  
 爲ノ性質等ニ依テ相續ノ仕方保存ノ仕方擔保ノ仕方等ガ各々違ツ



テ往クト思フ是ハ何處ニモアル規定デアリマシテ本案ニ於テ殊更ニ書イタノデハアリマセヌ

本野一郎君 只今ノ御説明ニ據リマシテ此百二十九條ヲ起草セラレタ起草者ノ御考ヘハ分ツタ積リデアリマスルガ私ノ考ヘデハ此文章ノ書キ方デハ只今述ベラレタ意思ガ通ズルヤ否ヤト云フコトニ付テ大ニ疑ヒチ生ズルデアラウト信ズルノデアリマスル只今御述ベニナリマシタ所ニ據リマスルト此條件附權利義務ト云フコトハ即チ百二十八條ニ規定シテアル所ノ權利即チ條件附行爲ヲ爲シタ相手方ト云フ者ガ己レノ利益ヲ害サレナイト云フ一ツノ人權、人權ヲ指シタモノデアアル夫レヲ此條件附權利義務ト指シテアルト云フヤウニ謂ハレタト思フノデアリマス然ルニ此本條ノ目的トシテ居リマスル所ノモノハ先程穂積委員ヨリモ申サレタ通りニ例ヘハ不動産ノ授受不動産ノ賣買杯ヲ致シマスル時ニハ登記ト云フ手續

ガアル然ウスルト不動産ヲ無條件デ賣ル無條件デ賣買スル時ニハ登記ノ必要ガアル即チ其場合ニハ此條件ノ附テ居ナイ所有權ノ授受デアルカラシテ之ニハ登記ト云フ手續ヲ要ス斯カル場合ニハ例ヘバ不動産ヲ賣買スルト云フ法律行爲ヲ條件附デヤツタ場合ニモ尙ホ同ジ手續ニ據ラナケレバナラヌト云フノガ此百二十九條ノ目的トスル所ノヤウニ見エルノデアリマス然ルニ斯ノ如ク書イテアツテ只今ノ意味ガ見エルデアリマセウカ條件附權利義務ト夫レカラ無條件附權利義務ト斯ウ對シテアリマシテハ同ジ種類ノ權利デアツテ條件附ノモノト無條件附ノモノトアルヤウニ見エルデアラウト思ヒマス例ヘバ所有權ニ付テ申シマスルト無條件附ノ權利ト言ヘハ即チ<sup>無</sup>條件附ノ所有權ト云フモノデアツテ又條件附ノ權利ト云ヘバ條件附ノ所有權ト云フコトヲ意味スルヤウニ思ハレマスガ此百二十九條ノ意味ト云フモノハ然ウ云フノデハナイト只今言ハ

レタト思フノデアリマス此條件附權利義務ト云フコトハ單ニ百二十八條ノ權利ヲ指スト云フコトデアリマスレバ私ハ是ハ條件附ノ權利デナイト思ヒマス、ト云フノハ此條件附行爲ヲ爲スト相手方ガ利益ヲ害セラレナイト云フ一ノ特別ナル人權ト云フモノガ生ズル其害サレナイ權利ト云フモノハ條件附デモナシデモナイ即チ無條件附ノ一ノ人權デアラウト思ヒマス併ナガラ斯ウ云フ種類ノ人權ニハ條件附ノ權利ト云フ名ヲ立法者ガ付ケルト云フコトデアレバ夫レハ別ナ話デアリマスルガ此百二十九條ニアリマスル條件附權利義務ト云フ文字丈ケデハ然ウ云フ意味ニハ取レナイヤウニ思ハレマス夫故ニ私ハ之ヲ斯様ニ修正サレタウ存ジマスルノデアリマス「條件附法律行爲ヨリ生ズル權利義務ハ無條件附法律行爲ヨリ生ズル權利義務ニ關スル規定ニ從ヒ」云云、然ウ致シマスルト法律行爲ガ條件附デアツテ夫レカラ出ル所ノ權利義務ト云フモノ

ハ即チ何ウ云フ風ニ解釋ヲ致シマシテモ第百二十八條ニ書イテアル權利ト解釋致シマシテモ亦タ私共ガ解シマスルヤウニ所有權ナラ所有權ガ條件附ノモノデアルト解シマシテモ如何様ニ解シマシテモ是ハ宜カラウト思ヒマス併シ之丈ケノ書キ方デハ何ウモ今起草委員カラ述ベラレタヤウニハ見エマイト信シマスルカラ只今ノヤウニ御修正アランコトヲ希望致シマス

末松謙澄君 段々御論モアリマシタガ至極御尤モト思ヒマス是ハ中々分ラヌノデアリマス、分ラヌト言ヘバ法律家ハ分ルト言ハレルカモ知レマセヌガ併ナガラ法律家ニモ普通ノ人ニモ分リ得ル丈ケノ文章ニシテ置キタイト思ヒマス此講釋ハ中々長クアリマシタカ能ク分ラヌ是ハ先刻カラ承ルト斯ウ云フ理窟カト思ツテ居リマシガ百二十九條ノ所ノ條件附權利義務ト云フコトハ寧ロ前條ノ保護ヲ受ケルガ爲メニ生ズル權利義務斯ウ云フ理窟ノコトデハナイカ

即チ前條ノ利益ヲ害セラレナイ裏カラ言ヘバ保護サレル其保護ト云フモノノ權利義務ト云フコト、然ウスルト下ノ方ノ「無條件ノ權利義務」ト云フ「無條件」ト云フヤウナコトハ言ハヌデモ宜イコトデハナイカ是ハ普通ノ權利義務ト云フコトニ解釋シタナラ宜イデアラウ、依テ極ク普通ノ素人ニ分リノ宜イノハ「前條ノ保護ヲ受ケルガ爲メ生スル權利義務ハ通常ノ權利義務ニ關スル規定ニ從ヒ」云云ト云フ方ガ即チ當リ前ノ意味ヲ説キ明シテ居ル事柄デハナイカト思フ然ウスレバ本野委員ガ言ハレタヤウニ後トノ方ニ持テ往ツテ「無條件」ト云フコトヲ入レタノハ分ラヌト云フコトモナクナルダラウ「無條件附權利」ト云フヤウナコトハ何モ必要ガナイト云フコトハ本野委員ガ説キ明サレタ事柄デアラウト思ヒマス

マス寧ロサウ云フヤウナ風ノ書キ方ニスルコトハ出來ヌモノデアラウカ一應承リタイ<sup>モ</sup>デアリマス

穂積陳重君 「無條件ノ」ト云フノチ「普通ノ」トヤルノデアリマス  
スカ

末松謙澄君 マア一寸然ウ云フヤウナ風ニシテハ何ウデアラウカ

穂積陳重君 本野君杯ノ分ラヌト言ハレルノハ其處デハアルマイト  
思ヒマス「無條件ノ權利」ト云フコトハ強チ法律家ヲ俟タナイデ  
モ分リ易イコトデ唯ノ權利義務ト云フコトハ分ルダラウト思ヒマ  
ス却テ本野君ノ分ラヌト言ハレルノハ條件附ノ權利義務ト云フコ  
トガ分ラヌト云フノデアラウト思ヒマス  
本野一郎君 同ジ權利ニ條件ガ附テ居ルノト居ラヌノトアルト云フ  
意味デハナイノデスナ

穂積陳重君 然ウデハナイノデス

土方寧君 今末松君ノ御説ガアリマシタガ先刻本野君ガ言ハレタ通  
リニ本條ノ初メニアル「條件附權利義務」ト云フノハ固ヨリ前條

ノ權利義務ト云フコトニ相違ナイ然ウスルト是ハ無條件デハナイ  
ト云フ考ヘチ持テ居リマス何故ナレバ條件ガ將來發生スルコトガ  
不確定ナモノデアル發生スルカシナイカゴつちカニ極マルト云フ  
コトハ分ツテ居ル例ヘバ「死ンダ時ニハ」ト云フノハ條件附デナ  
イト云フコトハずつと始メニ穂積君ガ答ヘラレタコトガアル然ウ  
スルト百二十八條ニ依テ條件附法律行爲ヲ爲シテ其條件未定ノ間  
ニ有シテ居ル當事者ノ權利ト云フモノハ自ラ條件ノ發生シタシナ  
イト云フコトニ依テ此權利ハナクナル前條ニ依テ當事者ノ得タル  
權利ト云フモノハ條件カ成就スルトカ成就シナイトカゴちカカ効  
力ノ重ナルモノガ生ズルカ全クナクナルカゴつちカニナル極マリ  
切ツタ話デアル條件トハ言ヘナイ夫レデ「條件附權利義務」ト云  
フコトハ誠ニ通ジナイト思ヒマスカラ本野君ノ言ハレタ「條件附  
法律行爲ヨリ生ズル權利義務」云云ト云フコトニ賛成シマス

穂積陳重君 賛成ガゴザイマシタカラ一應辯ジテ置キマスガ本野君  
ノ御説ハ條件附ノ權利義務ハ其性質ヲ獨立シテ見タ時ニハ固ヨリ  
條件附ノ權利デハナイ條件附ノ義務デハナイ是ハ固ヨリ全然私モ  
御同意致ス夫レハ必ス之チ一ツデ見タ時ニハ固ヨリ然ウ云フモノ  
デアリマセウ併ナガラ條件附法律行爲カラ出ターツノ權利義務ニ  
ハ違ヒナイト思フノデアリマス夫レデ今ノ理論ニ付テハ私モ反對  
ハシマセヌ夫レモ隨分立ツ議論ダト思ヒマス併シ其御修~~ス~~正ニ何  
ウシテモ反對ヲシナケレバナラヌノハ「條件附法律行爲ヨリ生ス  
ル權利義務」ト云フト此百二十七條ノ效力ヲ生ジタ時ニ出ル所ノ  
權利義務夫レコソ純然タル無條件ノ權利義務ニナル斯ウ云フコト  
ヲ言ハヌデモ宜イ蓋シ然ウ云フ意味デ御修正ヲ御提出ニナツタノ  
デモアルマイト思ヒマス條件附法律行爲ト云フモノガアルト云フ  
ト未ダ其目的タル權利義務ノ生ゼヌ中ニ或權利義務ガアル其權利

義務ハト云フ御話デアラウト思ヒマス夫レナラバ矢張り其文字デ  
ハ面白クナイ「條件附法律行為ヨリ生スル權利義務」ト云フコト  
デアリマスレバ百二十七條カラ生ズルコトニナリマスカラ文字ハ  
何ウシテモ穩カデナイト思ヒマス

元田肇君 私モ贊成アル前ニ一ツ出シテ置キタイト思ヒマス何ウモ  
此「條件附權利義務」ト云フノハ文章デモ組立ツタ時分ニハ、實  
ニ漢文杯デアツタナラバ餘程名文デアリマセウガ色々前ノ所カラ  
取ツテ來タ文字デアリマスルガ普通分ルヤウニスルニハ第二百十  
九條ノ所チ「條件附法律行為ノ當事者」トフコトチモウ一ツ繰返  
スカ但シハ「前條ノ當事者ハ無條件ノ權利義務ニ關スル規定ニ從  
ヒ其權利義務ヲ處分、相續、保存又ハ擔保スルコトヲ得」斯ウ云  
フコトニシタナラバ分リ易イト思ヒマス  
土方寧君 然ウスルト意味ハ能ク分ルヤウデアアル

富井政章君 私モ此「條件附權利義務」ト云フ字ヲ取ツテ仕舞ウコ  
トニハ極ク反對デアリマス其理由ハ今穂積君カラモ言ハレマシタ  
通り此字ガナクナルト云フト條件附權利ト云フ字ガ解釋者間ニ行  
ハレルヤウニナツテ杜夫レガ其條件附所有權ト云フヤウナコトニ  
解スルヤウニナルデアラウト思ヒマス然ウスルト云フト此百二十  
七條第一項ノ原則ト何ウシテモ衝突スルト思フ條件附所有權ト云  
フコトハ何ウシテモ言ヘナイ主義ヲ採ツタノデアリマス「停止條  
件附法律行為ハ條件成就ノ時ヨリ其效力ヲ生ス」ト云ヘハ賣買デ  
アレハ賣買ハ條件成就ノ時ヨリ成立ツ其效力ヲ生ズルト云ヘハ賣  
買ハ條件成就ノ時ヨリ成立スル斯ウ云フコトニナル夫レガ條件附  
法律行為ノ重モナ目的デアル、デ停止條件附權利義務ト云ヘハ百  
二十八條ニ云フテアル權利義務シカナイト云フコトガ分ル夫レチ  
法律ガ其辭ヲ用キテ居ナケレバドウシテモ解釋者間ニハ條件附權

利ト云フコトガ行ハレルヤウニナツテソウシテ夫レガ條件附所有  
 權ト云フヤウナ風ニ解スルヤウニナラウト思ヒマス然ウスルト何  
 ウシテモ此案ノ主義ト衝突スルヤウニナル夫レデ此文字ハ極ク便  
 利デアツテ條件附權利義務ノ性質ヲ分ラセルヤウニナルト思フノ  
 デ何處マデモ此字ヲ存スルコトニ贊成ヲ致シテ置キマス

奥田義人君 私モ本條ノ「條件附權利義務ハ無條件ノ權利義務ニ關  
 スル規定ニ從ヒ」云云ト云フコトハ諸君ノ御述ベニナツタ如ク百  
 二十八條ヨリ出テ來タ權利義務トハ思ハレマセヌ此法文デハ何ウ  
 シテモ然ウハ解釋ハ出來ヌト思フ左ラバト云ツテ是迄出タ所ノ修  
 正案ニモ贊成シ難イ、依テ更ニ修正案ヲ提出致シタイ即チ此百二  
 十九條ヲ斯ノ如ク修正致シタイト思ヒマス「前條ノ規定ニ依リテ  
 生スル權利義務ハ一般ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分、相續、保存又ハ擔  
 保スルコトヲ得」ト修正ヲ致シタイ

箕作麟祥君 私ハ今ノ奥田君ノ修正說ニ贊成シテ置キマス此原案通  
 リデハ法律家裁判官杯ハ何ウカ知リマセヌガ並ノ人ニハ分ルマイ  
 ト思ヒマス夫レデ今ノ奥田君ノ修正說ナラバ能ク分ラウト思ヒマ  
 スカラ贊成シテ置キマス

本野一郎君 「前條ノ」ト云フト即チ百二十七條ト百二十八條ト這  
 入ル御積リテアリマスカ

奥田義人君 然ウデナイ「一般ノ規定ニ從ヒ」トシテ「無條件ノ權  
 利義務」ト云フコトヲ取ツテ仕舞ウノテアリマス

横田國臣君 「前條」ト云フト百二十八條デアリマスカ

奥田義人君 然ウデス

本野一郎君 一寸奥田君ニ聽キマスガ「前條ノ權利義務」ト云フト  
 是ハ人權デアルト云フコトハ起草委員カラ述ベラレマシタガ然ウ  
 スルト人權ノ賣買ニ付テハ一般ノ規定ニ從フト云フコトニナルト

今ノ不動産ノ賣買ノ場合ニ登記杯ノコトハ此中ニ遺入ラヌヤウニ  
ナラウト思ヒマスガ夫レデモ宜イノデスカ當然ノ結果ニナラウト  
思ヒマスガ

尾崎三良君 色々論議ガ生ジタヤウデスガ一寸質問ヲ致シタイ私ハ  
段々ノ御説デ見ルト此百二十九條ト云フモノハ百二十八條丈ケテ  
受ケタト云フヤウナ御説ノヤウニアリマシタガ私ハ然ウハ解シテ居  
ラヌ百二十七條モ百二十八條モ皆受ケテ居ルト斯ウ思ツテ居ツタ  
ノデス夫レデ此原案ノ通りテ宜シイト思ツテ居ツタノデスガ然ウ  
スルトナンドデスカ起草委員ニ御尋ネシマスガ百二十九條ノ規定  
ト云フモノハ百二十七條ニハ丸デ關係ハナイノデアリマスカ  
梅謙次郎君 百二十七條ニ關係ガナイノデハナイ百二十七條通りノ  
規定ノ場合ニ於テハ百二十八條ノヤウナ權利ガ出來テ夫レテ保護  
スルニ付テ百二十九條ノ規定ガ必要ニナル、其關係ハ斯様ナ別ナ

箇條ガ要ルノデスケレドモ直接ニ言フト百二十八條ト關係ヲ持ツ  
ト言ハナケレバナラヌ

尾崎三良君 何ウシテモ是ハ二ツトモ關係シナケレバ工合ガ悪ルイ  
ト思ヒマス夫レデ私ノ解シテ居ツタノハ停止條件附デ物ヲ賣ル、  
所ガマダ其停止ノ條件ガ出テ來ナイニ依テ其效力ハ生ジナイ併シ  
出テ來タ時ニハ其效力ヲ生スル其條件ノ附イタ儘即チ其條件ノ附  
イタ權利ヲ讓渡スコトカ擔保スルトカ云フコトデアラウト吾々ハ  
思フテ居ル

奥田義人君 然ウデナイ  
尾崎三良君 然ウ云フノハ何ウナルノデゴザイマセウカ一寸起草委  
員ニ伺ヒマス

箕作麟祥君 先程カラ段々此條ノ修正説ガ出マシテ私ハ奥田君ノ説  
ガ宜イト思ヒマシタガ併シ即席デアリマスカラ幾分力不完全デア

リマセウガ詰リ此百二十九條ト云フモノハ私ハ百二十七條ヲ議ス  
 ルトキカラ質問シテ起草委員ノ御考ヘモ分ツタヤウデアリマスガ  
 餘程六ヶ敷イ見解ノ仕方デ甚ダ何ウモ解スルコトニ苦シム、デ私  
 ハ殆ンド推測デアリマスガ滿場ノ諸見ガ之デ充分明瞭デアル成  
 程起草委員ノ謂ハレル通りデ能ク分ルト云フ御感覺ノ御方ハ恐ラ  
 クアルマイト思ヒマス、ノミナラズ起草委員ノ御三方ト雖モ斯ウ  
 云フ議論ガ出ルト幾ラカ分カラヌ所ガアルト云フコトニ思ハレテ  
 居ラレルデアラウト思ヒマスガ如何ニシテモ條件附權利トカ義務  
 トカ無條件トカ何トカ云フヤウナコトハ甚タ分ラヌ夫レデ何ウゾ  
 卽席ノ修正案ハ止メテ私ノ考ヘテハ起草委員ノ御趣意ノ通りテ宜  
 シウゴザイマスガ如何ニモ文字ガ分カラヌカラ原案ノ儘ニナルト  
 云フコトデハ甚ダ困マル夫レデ何ウゾ今日ハ此條丈ケハ先ヅ姑ク  
 止メマシテ會議ハ先キノ條カラ進ムコトニシテ此條ハ起草委員ガ

斯ク迄各員ニ分ラヌ條ヲ起草シテ置イタト云フコトデアリマスカ  
 ラ尙ホ何ウカ虚心平氣ニ見テ自分達許リデナク之ナラバ誰デモ分  
 ル之ガ分ラヌケレバ盲目デアルト云フヤウナ修正案ヲ御提出ニナ  
 ランコトヲ希望致シマス

穂積陳重君 成程文章杯ハ餘程拙クハゴザイマセウガ笑作君ノ言ハ  
 レタ程ニ分カラヌカ何ウカ其處ハ各自ノ判斷ニ任セナケレバナラ  
 ヌト思ヒマスガ本條ハ餘程名文ト思フテ吾々ガ故ラニ固執スル譯  
 デハゴザイマセヌガ既成法典ノ方ヲ御覽ニナリマスルト云フト矢  
 張り同ジヤウナコトニ書イテゴザイマスルノデ別シテ私が主義ヲ  
 改メタノデナクシテ論ジテ往キマスルト既成法典ノ方ガ反ツテ分  
 ラヌ第四百十條ニ「停止又ハ解除ノ條件カ成就セザル間ハ當事者  
 ノ各自ハ條件ヲ帶ビタル權利ヲ其儘ニ第三者ニ授與スルコトヲ得  
 」之ガ私共ハ丸デ分ラヌト云フノデス既成法典四百九條ニ於テハ



條件ガ成就シタ時カラ始メテ法律行爲ガ效力ヲ生スル四百九條ノ  
場合ノ法律行爲ノ效力ヲ生ジテ居ラヌ場合ニ條件ヲ帶ビテ居ル權  
利ト云フコトガ何ウシテ言ヘルカ之ガ分ラヌ之カ分ルト云フ人コ  
ソ私ハ分ラヌト思ヒマス、ナイモノヲ第三者ニ遺ルト云フコトニ  
ナル夫故ニ何ウシテモ百二十八條ト云フモノデ其權利ト云フモノ  
ヲ拵エテ往カナケレバナラヌト思ヒマス

議長（西園寺侯） 何ウデスカ夫レハ至極御尤モデ私ハ贊成デアリ  
マスガ随分分ラヌト云フヤウナ御説デアリマスガ私ハ分ツテ居リ  
マスガ一ツ多數ニ關イテ見ヤウジヤアリマセヌカ

本野一郎君 分ルカ分ラヌカト云フコトヲデスカ

議長（西園寺侯） 然ウデス

穂積陳重君 自分ノ考ヘハ必ズ天下ノ正論トモ思ヒマセヌガ併シ皆  
ンナデ分ラヌト云フコトデアレバ分ルヤウナ案ヲ何ウゾ出シテ貰

ヒタイ唯分ラヌト云フヤウナ決議ハ甚ダ感服スルコトガ出來マセ  
ヌ

尾崎三良君 私ハ此法文ハ分ツテ居リマスガ起草委員ノ御説ガ分ラ  
ヌ此法文ハ既成法典ノ第四百十條ヲ斯ノ如キ概括ナ文章ニ替ヘタ  
ト思フノデアリマス、デ成程今御説ノ通り是ハ百二十八條許リデ  
百二十七條ノ方ニハ係ラヌト斯ウ言ハレルト起草委員ノ御説ガ分  
ラヌ此法文カラ言ヘバ百二十七條百二十八條ノコトモ籠ツテ居ル  
又籠ツテ居ツテ私ハ相當ノコトデアラウト思ヒマス停止條件附デ  
此物ヲ賣ルトカ買フトカ取引チスルトカ其事柄、マダ停止條件ガ  
發生シナイ前ニ不完全ノ儘デ之ヲ處分スルト云フコトハ是ハ随分  
アリ得ベキコトト察シテ差支ヘナカラウ其事ヲ百二十九條デ規定  
シタモノト私ハ思フテ居ル（「然ウデナイ」ト呼ブ者アリ）然ウ  
デナイトハ言ヘナイ條件附デアルカラ即チ條件附ノ權利デアルフ

レ繼令起草委員ガ何ト言ハレテモ之デ宜シイ私ハ起草委員ノヤウ  
ナ無理ナ解釋ハセヌ方カ宜シイト云フ斯ウ云フ考ヘナノデアリマ  
ス

元田肇君 一寸御尋ネテ致シマス分ラヌト云フヤウナコトハ主義ガ  
違ウト云フヤウナコトデ分ラヌト云フノデゴザイマセウガ私共ニ  
ハ能ク分ツテ居リマス此百二十九條ノ「條件附權利義務」ト云フノ  
チ「條件附法律行爲ヨリ生スル權利義務」トシテハ蛇足デハゴザ  
イマセウガ之ヲ御加ヘニナツタナラハ議論ハアルマイト思ヒマス  
穂積陳重君 夫レハ先程本野君カラ出タ案デアリマスガ然ウスルト  
百二十七條ノ結果ニ依テ條件成就ノ時カラ出タ所ノ本統ノ權利義  
務ト云フコトニナル夫レデ故ラニ然ウ云フコトヲ云ハヌデモ分ル  
ト思ヒマス

土方寧君 私ハ本野君ニ贊成シタノヲ取消シマス

穂積陳重君 主義ハ分ツテ居リマス序ニ尾崎君ニ對シテ一言申上ゲ  
マスガスウ云フ考ヘデアリマス關係ガナイト云フノハろじつく上  
カラ關係ガナイノデアアル此百二十八條ノ利益ヲ害セラレヌ又權利  
ハ何カナラバ事實上上カラ云フト即チ百二十七條デ得ベキ所ノ權  
利義務ニナル夫レテ受クベキ權利義務ヲ尾崎君ハ直接ニ言ハレル  
ノデ吾々ハ百二十八條ヲ經ナケレバ何ウシテモ分ラヌト云フノデ  
アル其處ガ少シ違ウノデアアル夫レテ勿論之ハ大變ナ名文トハ思ツ  
テ居リマセヌ或ハ分ラヌコトモアルカモ知レヌガ併シ大体ノ修正  
ノ方針丈ケ御極メ下サレバ私共モ尙ホ能ク退イテ考ヘテモ見マセ  
ウガ併シ之丈ケガ皆打チ掛ツテ拵エテモ出來ナケレハ随分六ケ數  
イ話ト思フ

星亨君 一寸伺ヒマスガ是ハ「條件附」ト云フテモ條件ハナイノデ  
ナイガ百二十八條ニハ條件ガナイト云フコトニナルノデゴザイマ

セウ

穂積陳重君 然ウデス

星亨君 例へハ條件附ノ權利義務ヲ脇へ賣ツタナラ賣ツタト云フコトニナル其實ツタモノニ付テノ權利ト云フコトニナツテ條件ハナイモノニナル然ウスルト此處ノ「條件附」ト云フコトが大變ニ都合ガ悪ルクナリハシマセヌカ

穂積陳重君 先程土方君カラモ然ウ云フ御議論ガ出マシタガ理由ハ誠ニ其通りデアリマス併シ百二十八條ヲ獨立シテ見ルト本統ノ權利義務ハ未ダ生ジテ居リマセヌカ其權利ヲ條件附權利義務ト通常ノ法律語ニ依テ付ケタノデアリマス

土方寧君 尾崎君ノ疑ヒハ前ノ二倍ヲ兩方共ニ着ケテ百二十七條ノ一項ノ解釋ヲ既成法典ノヤウニスレバ尤モデアアル

議長（西園寺侯） あなたハ起草委員ニ代ツテ御辯明ニナルノデア

リマスカ

土方寧君 一寸續キデアリマスカラ申シテ置キマスガ百二十七條ノ一項ノ意味ハ實ハ能ク分ラヌト思ヒマス、ケレドモ起草委員ノ御説明デハ法律行爲ハ成立ツテ居ツテモマダ權利義務ハ生ジナイト云フコトデアアル此方ガ疑ハシイ解釋ノ問題ニナルト、然ルニ此百二十九條ガアレバ夫レガ前條ト相待ツテ百二十七條ノ一項ノ意味モ明カニナル夫レテ尾崎君ノ御疑ヒモ御尤モデアリマスケレドモ私ハ他日ハ何ウナラウトモ今日ノ所デハ起草委員ノ御説ノ通りニ條件附權利義務ハ權利ハ生シテ居ナイト見テ往カナケレバナラヌ夫レデ百二十九條ヲ書キ替ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ夫レニ付テ私ハ先刻本野委員カラ修正案ガ出マシタカラ賛成ヲシマシタケレドモ其賛成ヲ引イテ更ニ奥田君ノ修正案ヲ賛成致シマス夫レデ此「無條件」云云ト云フコトニ付テモウ一邊起草委員ニ伺ヒ

マスガ條件ハ始メノ法律行爲ノ方ニクツ付テ居ル權利義務ニクツ付イタモノデハナイト云フコトデアリマスカ

穂積 陳重君 之モ矢張り前條カラ出ル積リデ此處デ條件附權利義務ガ現ハレテ來タカラ其裏カラ無條件ノ權利義務ト云フコトヲ唄フタノデアリマス夫レカラ奥田君ノ修正案ニモ贊成ガアリマシタガ夫レハ私等ノ少シ氣遣ウノハ一種ノ權利一種ノ義務ト云フモノニ關スル規定ニ從ツテ處分相續スルト云ヒマセヌデ一般ノ規定ニ從ヒ處分、相續スルト云フト餘リ度過ギハシナイカト云フ氣遣ヒモアリマス夫レデ原案ハ勿論不完全デアリマセウカラ原案ニ較ブレバ或ハ宜イカモ知レヌ

高木 豐三君 追々議論ガ八釜敷ナリマシタガ詰マリ文章ガ宜イトカ悪ルイトカ云フノモ意味ガ分リ悪リイト云フノガ元ト思ヒマス私ハ原案ノ儘デモ宜イト思フ、ケレドモ意味ノ分リ悪リイト云フ

コトニ付テハ御同意デアリマス依テ文字ハ可笑シイガ私ハ之ヲ「條件未成就中ノ權利義務ハ」トシタイ若シ夫レガ御氣ニ入ラヌケレバ前條ノ「條件未定ノ間」ト云フ文字ヲ其儘持テ來テ「條件未定ノ間ノ權利義務ハ」云云ト云フコトニスル此「條件未定」ト云フコトモ餘リ好マス字デアリマスガ夫レハ諸君ノ御考ヘデ「未定中」ト直ホシテモ宜イ夫レデ大抵似タヤウナ修正案ノ御方ハ此方ヘ御贊成ヲ願ヒタイ

尾崎 三良君 段々色々ナ御修正ガ出マシタガ何ウモ私ハ原案デ宜カラウト思ヒマス、ト云フモノハ先刻岸本君カラ段々質問ガ出マシテ其質問ハ私共ハ分リ切ツタヤウナ質問ト思ツテ居リマスガ今ノヤウナ説ガ出ルト矢張り之ヲ停止條件ノミト見テ居ルノデアアル吾々ハ矢張り一種ノ權利ト見テ居ル條件ノ附テ居ル權利、之ヲ解除條件ノ方ニ付ケテ見レハ能ク分ル家ヲ賣ツタ併ナガラ某ガ亞米

利加カラ飯ツテ來タナラバ取消スト云フ約束チスルコトハ解除條  
 件ニナル然ウ云フ場合ニ岸本君ハ夫レガ賣ラレルトカ賣ラレヌト  
 カ云フ御話デアリマスガ即チ條件附ノ權利テ買ツテ夫レチ第三者  
 ニ賣ルトカ轉々シテ買フ人モ不確定ノ條件附デ買ツテ何時解除ラ  
 ルルヤモ知レヌモノデアルト云フコトヲ知リツツ夫レチ買フノデ  
 アル矢張り然ウ云フ條件ノ附イタ權利義務ニ違ヒナイ然ウ云フ權  
 利義務タルモノチ無條件ノ權利義務タルト同ジヤウナ手續キデ讓  
 渡チスルト云フコトヲ此處ニ唄ツタノデアツテ何モ百二十八條許  
 リニ關係シテ百二十七條ノコトハ之切リデ何モナイト云フコトニ  
 ナルト今ノ岸本さんノヤウナ質問ガ出テ來ルカラ其意チチハ此處  
 ニナントカ規定シナケレハナラヌコトニナツテ來ヤウト思ヒマス  
 夫レデ其理窟ハ未ダ條件ガ到來シヌナイ前ニ權利ト言ヘルトカ言  
 ヘヌトカ云フヤウナ六ヶ敷イコトハ止メテ仕舞ツテ何ントカ然ウ

云フ條件ノくツ付テ居ルモノチ處分スルニハ何モ付テ居ラヌモノ  
 チ處分スルト同ジヤウニスルコトガ出來ルゾト見レバ何モ差支ヘ  
 ハナイ今ノ高木君ノ御説ニ據ルト「條件ノ未定中ノ權利義務」云  
 云ト云フコトデアリマスガ矢張り是ハ條件附ノ權利義務ト同シコ  
 トデアラウト思ヒマス無理ニ「未定中ノ權利義務」ト云フヤウナ  
 コトヲ言ハヌデモ宜カラウト思フ私ハ「未定中ノ權利義務」ト云  
 フヨリモ矢張り「條件附權利義務」ト云フ方ガ宜カラウト思ヒマ  
 ス

南部 堯男君 原案ヲ贊成デス

穂積 陳重君 箕作さん一ツ名案ヲ願ヒタイ

尾崎 三良君 私ハ原案デ宜シイ

本野 一郎君 要スルニ此條件附ノ行爲カラ生ズル一種ノ權利義務

ト云フノハ條件附デハナイケレドモ之チ條件附權利義務ト稱スル

ノダト云フノデ

星 亨君 夫レデ宜シイ

土方 寧君 此條ハ此儘デ置クト疑ヒテ起ス

末松 謙澄君 何ウモ穂積君ノ説明ノ通りニハ讀メナイノデアアル

穂積 陳重君 説明ガ悪ルクモ書イタ心持ハ然ウ云フ譯デアアル

本野 一郎君 起草者ハ皆同意ト云フ譯テハナイノダラウ

梅 謙次郎君 夫レハ同意サ

穂積 八束君 箕作さんノ延期說ニ賛成シマス

議長(西園寺侯) 決テ採リマス此條ヲモウ一應再考ヲ願フト云フ

コトニ

三浦 安君 私ハ決テ採ルニ及バズシテ起草委員ガ調べタラ宜カラ

ウト思ヒマス

穂積 陳重君 私ハ延期ト云フコトハ何ウ云フ理由カ理由ガ分ラヌ

箕作 麟祥君 能ク分ツテ居ル

穂積 陳重君 修正案ト云フモノハ勿論皆考ヘテ居ラレルコトデア

ラウト思フノデアリマス然ウシテ此大勢ガ寄ツテ然ウシテ此處デ

充分修正案ヲ考ヘルト云フコトモ出來ル勿論私共ハ退イテヤレト

云フコトデアレバ幾ラデモナリマス、ヤリマスケレドモ今ノ箕作

君ノ述ベラレタヤウナ丸デ分ラヌ無茶苦茶ナモノヲ書イタト云フ

ヤウナ理窟デ延期サレテハ甚ダ迷惑デアリマス

奥田 義人君 成程箕作君カラ提出ニナツタ理由ハ穩カデナカツタ

カモ知レヌ更ニ私ハ一說ヲ提出致シマス元ト此百二十九條ハ起草

委員ガ説明ニナリマシタ如クニ之ヲ解釋シテ居ツタ人ハ恐クハ此

委員中ニ一人モナカラウト思ヒマス、付テハ到底此二三日間ニ立

派ナ修正案ヲ考ヘ出シテ來ルト云フコトハ今日實際出來ナカツタ

ノデアリマス、デ今日起草委員ノ説明ヲ聽キマシテ果シテ百二十

九條ハ斯カル意味ノ箇條デアルト云フコトヲ皆ガ知ツタノデアリ  
マス、ソコゾ其旨意ニ對シテ何モ反對スルノデナイ唯文字上ニ於  
テ此儘ニ置イテハ解シ悪ルイカラ唯文字丈ケ考ヘテ來ルト云フ御  
旨意デアラウカト自分ハ信ズルノデアリマスカラ百二十九條ニ對  
シテ起草委員ガ説明ニナリマシタ其旨意ヲ變ズルニ非ズシテ文字  
ヲモウ少シ考ヘルト云フコトニ致シタイ、デ之ヲ延期致シテ置キ  
マシテ旨意丈ケハ起草委員ノ説明ニナツタ通りテ議決ニナツテ置  
イテ差支ヘアルマイト思ヒマス何ウカ其意ニ贊成アラソコトヲ希  
望致シマス

穂積 陳重君 私共モ勿論不完全ナ點ハ幾ラモアルノデアリマスカ  
ラ退イテ再ビ考ヘ三度考ヘルコトハ少シモ厭ヒマセヌ又吾々ノ主  
義ト云フモノガ變ハルト云フコトモ始終アルコトデアアル、依テ斯  
ウ云フ主義デヤツテ來イ又ハ斯ウ云フ風ナ文章デヤツテコイト云

フコトデアレバ吾々ハ幾ラデモヤルノデアリマス唯私ノ迷惑ト云  
フコトヲ云フノハ前ノ如キ議論ガ出テ其爲メニ衝返ヘサレルト云  
フノハ起草ノ爲メニ困マルト思フノデアリマス

本野 一郎君 奥田君カラ説カ出タノデアリマスガ併シ私杯ハ今穂  
積委員ノ御説明ヲ聽イテ之デハ然ウハ讀メマイト云フ考ヘテ起シ  
マシタノデス私ハ始メ之ヲ讀ミマシタ時ハ是ハ要ルマイト云フ考  
ヘテ以テ此議場ニ臨ンダ位デ此條件附權利義務ト云フコトハ無條  
件附ニ相對シテ居ツテ同ジ種類ノ權利義務ヲ指シテ居ルモノト確  
信シテ此議場ニ臨ンダ所ガ豈ニ圖ランヤ前ノ條件附權利ト云フモ  
ノハ此無條件附權利義務トハ丸デ種類ノ違ツタ意味ヲ以テ居ルト  
云フコトデアリマス夫レデ其主義ニハ差支ヘアリマセヌ主義ニ  
ハ贊成デアリマスガ之デハ何ウモ文字ガ然ウハ讀メマイト思ヒマ  
スルカラ字句ヲモウ少シ變ヘルコトハ出來ヌカト云フコトヲ起草

委員ニ御願ヒ申スノデアリマスカラ何ウカ起草委員モ御再考チナサルヤウニ願ヒマス

箕作 麟祥君 私ハ先程此條ヲ延期シテ再考チ起草委員ニ願フト云フコトヲ申シマシタガ其申シ方ガ穩カデナイ大層無茶苦茶デ分ラヌト云フヤウナコトヲ申シタト云フコトデアリマスガ若シ然ウ申シタト云フコトデアレバ私ガ甚ダ辯ノ拙イ所カラ出タノデアリマセウガ只今奥田君カラ巧ニ述ベラレタ穩當ノ説ト同様デアリマスカラ然ウ云フコトニ御見解ヲ願ヒタイノデアリマス

尾崎 三良君 私ハ原案デ宜カラウト思ヒマス縱令起草委員デ往カヌトシテモ

議長（西園寺侯） 此事ハ隨分先例モアツタト思ヒマスカラ贊成ガアリマスカラ先キニ採リマス若シ決チ採ツテ多數デアレバ幾ラ議論チシテモ無駄デアリマスカラ先ヅ採ツテ見マス只今ノ奥田君ノ

説ニ贊成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

議長（西園寺侯） 多數デゴザイマス

穂積陳重君 夫レデハ序デニモウ一ツ御願ヒ申シタイト思ヒマスルガ主義ハ舊トノ通りテ宜シイノデゴザイマセウカ唯文字ヲ直スト云フコトデアリマセウカ主義ヲ直スト云フコトニナリマセウカ夫レニ依テ吾々ハ考ヘマス

議長（西園寺侯） 夫レハ何ニ及ビマスマイト思ヒマスノハ奥田君ハ度々明ニ言ハレタト思ヒマス其主義ノ通りナラハ文章カ分ラヌト云フノデアツタト思ヒマス夫レデハ次ニ移リマス第三百三十條

（書記朗讀）

第三百三十條 條件ノ成就ニ因リ不利益ヲ受クベキ當事者カ故意ニ其條件ノ成就ヲ妨ケタルトキハ其條件ハ成就シタルモノト看做



ス

(参照) 財四一四、佛一一七八、蘭一二九六、伊一一六九、  
瑞債務法一七六、モンテネグロ五六六、九四一、西一一一九  
、白草一一七二、獨一草一三六、獨草一三二、普國法一部四  
章一〇四乃至一〇七、一一九、索一一一

穂積陳重君 本條ハ既成法典(財産編第四百十四條ト同一ノ規定デ  
アリマスル少シク其文字ヲ改メマシタ位ノコトニ止マツテ居リマ  
ス、デ其改メマシタ部分ハ誠ニ些細ナコト要ラヌ事丈ケテ除イ  
タノデゴザイマシテ既成法典ハ第四百十四條ノ規定ノ中デ或ハ偶  
成條件トカ或ハ隨意條件トカ混同條件トカ云フコトヲ殊更ラニ唄  
ウコトヲ止メマシタ丈ケデアリマス且本案ニ於テ既成法典ノ箇條  
ヲ採用致シマシタ理由ト云フモノハ若シ其不利益ヲ受クベキ當事  
者ト云フモノガ其條件ノ成就ト云フモノヲ妨ゲマシタ時ニ於テハ

法律ノ働キデ條件ガ成就シタモノト同ジモノト看做ス其趣意ハ既  
成法典ノ起草者ノ説ニ據ルト斯ノ如キ不當ナコトヲシタガ爲メニ  
其罰トシテ斯ノ如ク效果ヲ生セシメルト云フヤウナ説キ明シテゴ  
ザイマス併ナガラ此罰ト云フ意味丈ケデハナイノデアツテ私ノ考  
ヘマスル所ニ據レバ條件未定ノ間ト云フモノハ即チ條件ガ未定デ  
夫レガ成就スル成就セヌト云フ其望ミハ全ク均イモノデ相央シテ  
居リマス夫レガ成就スルコトモアリ又成就シナイコトモアル然ル  
ニ一方ノ均イ望ミヲ丸デ絶ツテ仕舞ウタ此場合ニ於テどちらガ至  
當デアルト見ルカト言ヘバ法律行爲ヲ爲ス當事者ニアツテハ双方  
トモ勿論其條件ノ成就ト云フコトヲ希望致シテ居ツタ必ズ期シテ  
ハ居ラナカツタケレドモ其方ヲ望ンデ居ツタカラコソ故ラニ行爲  
ヲ爲シタ譯デアリマス斯ノ如ク今雙方相均イ行爲ト云フモノガ一  
方ノ望ミニ依テ絶ツテ仕舞ツタ時ニハ其始メカラ當事者ガ見込

デ居ツタ所ノ結果ヲ生ゼシメルカ至當ト云フ考ヘデ此主義ヲ採ツ  
 タノデアリマス罰ノ意味モ幾ラカ含ンデ居リマスガ當ニ既成法典  
 ノ如ク罰ヲ主トシテ本條ヲ規定シタ罰則ジヤト云フヤウニ見テヤ  
 ツタノデハアリマセヌ夫レカラ「當事者カ故意ニ」ト云フコトガ  
 入レテアリマスガ是ハ全ク自ラ斯ノ如キ結果ヲ生ゼシメヤウ條件  
 ガ成就シテハこちラニ損ガアルト思ツテ其成就ヲ妨ゲタノデゴザ  
 イマシテ諸國ニ於テモ或ハ「不正ニ」トカ「信義ニ違ヒ」トカ「  
 不信義ニ」トカ云フ辭ノ遁入ツテ居ル所モアリマス又佛蘭西法典  
 ニモ、、、ト書イテアリマス何ウシテモ何カ字ガナケ  
 レハ不都合デアラウト思ヒマス西班牙杯ニハ「故意」ト云フ字ガ  
 書イテアリマス矢張り此處ニモ「故意」ト云フ字ヲ入レテ置クト  
 其意味ヲ現ハスコトガ出來ルト思ヒマシテ故ラニ加ヘテ置イタノ  
 デアリマス

末松 謙澄君 相替ラス質問ヲ致シテ置キタイノデアリマスルガ「  
 條件ノ成就ニ因リ不利益ヲ受クヘキ當事者<sup>者</sup>」トアツテ「不利益ヲ  
 受クヘキ」ト云フト先ツ一定シタコトニナツテ居ル此「不利益ヲ  
 受クヘキ」ト云フコトガ何ウデアラウカ或場合ニ於テハ甚タ困難  
 デアリハシナイカト思ヒマスガ物ヲ買ツタリ賣ツタリスルニ一方  
 ハ金ヲ取ル方ガ利益デアルカ不利益デアルカ一方ハ物品ヲ取ル方  
 ガ利益カ不利益カト云フコトモアツテごちラガ宜イカ分ラヌヤウ  
 ナモノガアラウ何ウモ其利害ト云フモノガ相半シテごツちガ損ヲ  
 スルカ徳ヲスルカドウモ分ラヌコトモアラウ外カラ見テハ利益ト  
 見ラレテモ當人ノ間デハ或ハ不利益カモ知レヌ然ウスルト此處ヲ  
 「不利益ヲ受クベキ」ト云フコトニシタナラバ事實ニ於テ甚ダ困  
 マルコトガ起リハシナイカ夫レデ是ハ裁判官ガ不利益ヲ受クベキ  
 モノデアルト断定チスルト云フガ如キ意味ヲ以テ書イタノデアラ

ウガ夫レニシテモモツト何カ外ニ宜イ字ハナイデアラウカト云フ  
コトヲ甚ダ疑フ

穂積 陳重君 是ハ諸國ノ法典デハ「債務者ガ」ト書イテアリマス  
ガ此處デハ廣ク書イタノデアリマス「債務者」ト書イテ置クト債  
務者丈ケガ夫レヲ妨ゲタ時許リト云フノデ狭クナリマス固ヨリ債  
權者ガ成就ヲ妨ゲテ自分ノ利益ニナルト云フコトハ減多ニナイケ  
レドモ矢張りアリ得ルノデアリマス夫故ニ此不利益ヲ受ケルモノ  
デアレバ縱令其法律行爲カラ見レバ一般ニハ債權者ニ繫ツテ居ツ  
テモ其者ガ或理由ニ依テ成就ヲ妨ゲラレマシタナラバ矢張り本案  
ガ當ルヤウニ之ヲ書イタノデアリマス夫故ニ多クノ場合ニハ必ス  
債務者ト云フコトニナルダラウト思ヒマス

尾崎 三良君 原案賛成

本野 一郎君 原案賛成

長谷川 喬君 異議ナシ

議長（西園寺侯） 別段御發議ガナクバ本條可決ト認メテ次ニ移リ  
マス

（書記朗讀）

第一百三十一條 條件ガ法律行爲ヲ爲ス時既ニ成就セル場合ニ於テ  
其條件ガ停止條件ナルトキハ其法律行爲ハ無條件トシ解除條件  
ナルトキハ無効トス

條件ノ不成就カ法律行爲ヲ爲ス時既ニ確定セル場合ニ於テ其條  
件カ停止條件ナルトキハ其法律行爲ハ無効トシ解除條件ナルト  
キハ無條件トス

前二項ノ場合ニ於テ當事者ガ條件ノ成就又ハ不成就ヲ知ラサル  
間ハ第二百二十八條及ヒ第二百二十九條ノ規定ヲ適用ス

（參照）獨一草一三七、普國法一部四章一〇四乃至一四三、

穂積 陳重君 本條ハ條件附トシテ定メマシタ事實ヲ知ツテ居リナ  
ガラ若クバ當事者ガ知ラズシテ法律行爲ヲ爲シタ時ヨリ既ニ前ニ  
アツタ場合ヲ規定スルノデゴザイマス條件ト云フモノハ固ヨリ性  
質上將來且不确定ノモノデナ<sup>ケ</sup>ラネハナルマイト思ヒマスルカ併ナ  
ガラ其將來ト云フ意味ガ自分ノ心持ニ於テ將來ナノデアル自分等  
ノ知ツテ居ル所デハ將來ト云フコトニ何ウシテモ何處ノ規定デモ  
歸シテ仕舞ウヤウデゴザイマス加之ナラズ過去ノコトヲ條件ト致  
シマシタナラバ夫レハ法律行爲ト云フモノガ成立タヌ斯ウ云フコ  
トヲ致シマスルト云フト性質上非常ナ不便ナコトヲ生ズルト思ヒ  
マス例ヘハ東京ニ居リマスル衆議院議員候補者ト云フモノガ選舉  
ノ期日ノ後ニ於テ當選シタナラバ此家ヲ戻サウトカ云フヤウナ風  
ノ場合ガ幾ラモアルデアラウスノ如キ行爲ト云フモノヲ矢張り認

メテ少シモ害ノナイモノデアル唯併ナガラ本人カラ見ルト云フト  
其知レルト云フコトガ將來デアリマスルカラシテ此條件ト云フモ  
ノガ主觀的ニ見レバ必ズ不确定ノモノデアル不确定ノモノデア  
ナラバ自分ノ知ツテ居ル所カラ言ヘバ將來デアリマスカラ其條件  
ト云フモノガ必ズシモ將來デナケレバ往カヌト云フコトヲ法律デ  
極メテハ却テ取引上不便デアラウト思ヒマス又過去ノ事柄ヲ條件  
トスルコトハ出來ヌト云ツテ禁ジマスル理由ト云フモノハ少シモ  
ナイコトデゴザイマス既ニ過去ノ事件デモ條件トスルコトガ出來  
ルト云フコトヲ極メマシタ以上ハ此規定ガアリマセヌ時ニハ百二  
十七條ノ働キデアツテ法律行爲ヲ爲シマスルト前カラ其法律行爲  
ノ效力ガ生ズルト云フヤウナ結果ニナリマス固ヨリ過去ノ事件カ  
知レタ時カラト云フコトヲ故ラニ直接間接ニ現ハ<sup>シ</sup>マシタ時ハ  
本條ノ規定ガ嵌マル唯私ガ當選シテ居ツタナラバト云フヤウナ風

ノ場合ニ於テ何時カラ法律行爲ハ效力ヲ生スルカト云フコトヲ此處ニ規定シタノデ停止條件トシテ斯ノ如キ條件ヲシタ時ニハ即チ其時ヨリ既ニ前ニ其事柄ガアツタノデアリマスカラ條件附デナイ無條件デアリマス解除條件トシテ之ヲ爲シタ時ニハ其法律行爲ヨリ前ニ其事柄ヲ止メヤウト云フ事實ガ生シテ居ルノデアリマスカラ其法律行爲ハ成立タヌ第二項ハ丁度其裏ガ書イテアルノデアリマス斯ノ如キ場合ニ於テ遠隔ノ地ニ在リマスルト云フト其確力ニ知レマスル前ト云フモノハ當事者ガドウシテ居ツテ宜イカ其權利ハ保存ヲ爲スコトガ出來ルカ何ウカ相續讓渡杯チスルコトガ出來ルカ何ウカト云フ問題ガ生ジマスルカラ確力ニ知レマスル前ト云フモノモ矢張り條件未定ノ間ト同ジ規定ヲ適用スルガ宜カラウスウ云フコトヲ此處デ極メタノデアリマス

尾崎 三良君 異議ナシ

末松謙澄君 少シ伺ヒマス今ノ御説明ニ依テ分ツタヤウデアリマスガ本條ノ第三項ノ場合ハ「前二項ノ場合ニ於テ當事者ガ條件ノ成就又ハ不成就ヲ知ラサル間ハ第二百二十八條及ヒ第二百二十九條ノ規定ヲ適用ス」斯ウアリマスルノハ其契約ト云フモノガ役ニ立ツカ役ニ立タナイカト云フコトニ、、、、、及ボサナイヤウニ御説キ明シノヤウデアリマシタガ或ハ私ガ聽キ誤リカモ知レマセヌガ然ウデゴザイマセウカ

穂積陳重君 實例ヲ舉ケテ説キ明シタスレバ只今ノ議員ノ選舉ノコトデモ宜シウゴザイマスル遠方ノ地方ノ候補者デアツテ其當選ト云フモノヲ確力ニ知ルト云フコトハ餘程時日ガ掛カル其場合ニ若シ當選シタナラバ此家ヲ借リル斯ウ云フコトヲ約シテ居リマシタ時分ニ其貸主デアリマシテモ借主デアリマシテモ雙方共ニ其家ノ貸借ト云フモノヲ妨グルヤウナ行爲ヲスルコトガ出來ヌト云フヤ

ウナ風ノ場合ニ於テ百二十八條ガ當ルノデアリマス夫レカラ又夫レニ付テ保存、處分、相續等ヲ爲スコトガ出來ル場合デアレバ其知レテ居ラナイ間ハ矢張り無條件ノ權利義務ニ關スル規定ニ從ツテ之ヲ相續、保存スルコトモ出來ル其間ノ取扱ヒ丈ケヲ定メタノデアリマス

末松謙澄君 只今ノ御説明デアレバ其間ノ取扱ヒ丈ケヲ定メタト云フコトデアルガ少シ疑ヒチ生ジマス例ヘハ只今ノ選舉ノ例ノコトデ云フト愈々函ヲ開イテ見ナケレバ誰ト云フコトハ分ラヌ夫故ニ事實ニ於テ極マツテ居ツテモ、私ト穂積君ト愈々誰ガ當選シタラバト云フヤウナ契約ヲ結ブ夫レガ知レテ來タ時當選シタラバ其儘契約ガ生キルトカ矢張り有效ノ契約デアルト云フコトニナルノト唯其間丈ケノコトヲ妨ゲルコトガ出來ヌト云フコトデ自ラ其事柄ガ二段ニナリハシナイカト云フ疑ヒガ生ズルヤウデアリマスガ其

處ハ何ウナリマスルカ其間ハ當選者ハ極ツテ居ル既ニ知レテ居ル中ニ約束チシタ矢張り前ノ方ノ一項ニ依テ即チ解除條件ナルトキハ無効トシ又停止條件ナルトキハ無條件トスルト云フコトハ矢張り其場合ニ於テモ之ヲ適用スルノデアル但其事ノ知レテ來ル迄ノ間ハ夫レヲ妨ゲスルコトハ出來ヌト云フコト丈ケニ止マルカ何ウカ其區別ガアラウト思ヒマスガ

穂積陳重君 其通りデアリマス

末松謙澄君 どちらデスカ

穂積陳重君 後トノ方デアリマス

末松謙澄君 然ウスルト後トノ方デアレバ是ハ知レテ居ツテモ當事者ガ知ラナイコトデアルカラ例ヘバ賭ケナラハ賭ケチスルトカ——賭ケト云ツテハ悪ルイカモ知レヌガ然ウ云フ風ナコトヲ契約スルコトハ出來ヌト云フヤウナコトニナルノデアリマス

穂積陳重君 斯ウ云フ譯ニナル若シ當選ノ報知ガこちらニ來タナラ  
 バト云ツタ時ナラバ是ハ並ノ條件デアアル過去ノ事件ガ知レタラバ  
 ト云ヘバ其知レル時チ期スルノデアリマスカラ矢張り純然タル條  
 件ニナル即チ將來ノ事柄ニナル、ソシテヤウナ場合デアリマス雙  
 方共出來ル斯ウ云フコトガ分ツタラ斯ウスルトカ當選シタラト  
 云ツタ時分ニハ當選ト言ヘバ過去ニナリマスカラ本條ニ當ル  
 末松謙澄君 然ウスルト私トあなたト七月一日ニ選舉ガアツテ君ガ  
 當選ヲシタナラバ一杯おごらうト云フ約束ガ出來タ時分ニ其約束  
 ハ

穂積陳重君 役ニ立ツ

末松謙澄君 既ニ濟ンデ仕舞ツタラ、、、

穂積陳重君 君ガ當選シタナラバ一杯おごるト云フノハ停止條件デ  
 アルト、、、

末松謙澄君 當選シナケレバ、、、

穂積陳重君 解除條件デナイ然ウ云フ言ヒ方ナラバ停止條件デ無條  
 件ノ本統ノ法律行爲デナイ

末松謙澄君 解除條件ノ方ニナリハシナイカ

穂積陳重君 解除條件デナイ停止條件ダ

横田國臣君 第三項デアリマスルガ之ガ必要デアル所ハ何ウ云フ所

ガ必要ナコトニナルデセウカ少シ御説ヒチシタイノデアリマスガ  
 「前二項ノ場合ニ於テ當事者ガ條件ノ成就又ハ不成就ヲ知ラザル  
 間ハ第二百二十八條及ヒ第二百二十九條ノ規定ヲ適用ス」トアルガ當  
 然知ラナイ間ハ其通リヤツテ居ラウガ何カ是ハ意味ガアルノデア  
 リマスカ

穂積陳重君 是ハ何ウシテモ斯ウ云フコトガアリマセヌト云フト條  
 件ト云フモノガ既ニ過去ニアルノデアリマスカラ其當事者ノ間ニ





八釜敷カツタガ吾々ガ謂フ條件附權利デアル夫レハ前ノ行爲ハ無効デアツテモ間ニ在ツタ行爲ハ悉ク有効デアルカラ約束シタ金ハ取レル

横田國臣君 夫レハ何ウデゴザイマセウカ無効デアル元來ハ其賣ルト云フノハ直ニ賣ツタ方ニナツテ此條件附ノ權利義務ヲ賣ツタト云フコトニハナラヌ前ニモアツタ通り無効ノモノハ有効ニ賣ルコトハナラヌト云フ原則ニナリマセヌカ

梅謙次郎君 條件附權利ヲ賣ルノデアル夫レダカラ第三百三十一條ノ三項ガ必要ニナツテ來ル

横田國臣君 條件附權利ハナクナリハシナイカ

梅謙次郎君 ナクナリハシナイ

横田國臣君 元トカラナイモノダカラ、、、、、

尾崎三良君 然ウ云フ疑問ガアルニ依テ必要デアル

末松謙澄君 モウ一ツ伺ヒマスガ前ノ二項ハ少ナクモ一方ノ奴ガ知

ツテ居ル場合デナケレバ起ラヌノデアラウガ

梅謙次郎君 然ウデナイ

末松謙澄君 三項ニ於テハごちらモ知ラヌ場合ニ起ル

梅謙次郎君 「知ラサル間ハ」デアアル「知ラザルトキハ」トハ少シ

違ウ

末松謙澄君 夫レカラ何ハ何ウナラウカ其間ニシテ居ツタ何カ事柄ガアル其事ニ付テ元ニ遡ツテ無効ニナツタ時例ヘバ酒ヲ飲ンデ仕舞ツタ奴ハ返サヌデモ宜イヤウニナルノカ

穂積陳重君 酒ヲ飲ムト云フヤウナコトデナク矢張り先キノ例ノ議員候補者先生ニ家ヲ貸スト云フヤウナ例デ御答ヘテ致シタイ知ラナイデ居ル間ニ例ヘハ當選シタラ借ラウト云フテ居ルニ夫レガ知レナイ間ニ外ノ人ニ貸シテ仕舞ツタ然ウ云フヤウナ時ニハ百二十

八條ガ當ルノデアルカラ、

尾崎三良君 異議ナシ

土方 寧君 本條ノ條件ト云フノハ本統ヲ言ヘバ條件デナイノデ條件ト思ツテシタト云フノデ條件ト云フコトハ以後用キルト云フ趣意テアリマスカ

穂積陳重君 法律行爲ヲ爲シマスル時ニハ條件トシテ其條件ト、

土方 寧君 「法律行爲ヲ爲ス時既ニ條件カ成就セル」ト云フヤウニハ讀メハシマセヌカ

梅謙次郎君 然ウハ讀メナイ然ウスルト次ノ「不成就」ト云フモノガ、

末松謙澄君 原案デ宜シイ

議長（西園寺侯） 別段御發議ガナクバ此條ハ之デ確定ト致シマシ

テ今晚ハ之デ散會致シマス

午後九時五分散會

第七回法典調查會議事速記錄

明治二十七年四月二十七日午后四時三十五分開會

出席員

- |    |     |    |   |
|----|-----|----|---|
| 侯爵 | 西園寺 | 公望 | 君 |
| 笑作 | 麟祥  | 君  |   |
| 本野 | 一郎  | 君  |   |
| 土方 | 寧   | 君  |   |
| 村田 | 保   | 君  |   |
| 岸本 | 辰雄  | 君  |   |
| 田部 | 芳   | 君  |   |
| 高木 | 豐三  | 君  |   |
| 穗積 | 八東  | 君  |   |
| 清浦 | 奎吾  | 君  |   |

都筑	警六君
井上	正一君
奥田	義人君
三崎	龜之助君
横田	國臣君
菊池	武夫君
元田	肇君
長谷川	喬君
南部	堯男君
磯部	四郎君
尾崎	三良君
三浦	安君
中村	元嘉君

議長（西園寺侯） 夫レデハ前會ニ於テ起草委員ニ再考ヲ委托シタ  
 所ノ第二百二十九條ノ改正案カラ議スルコトニ致シマス

（書記朗讀）

第二百二十九條改正案

（甲案）

條件未定ノ間ニ於ケル當時者ノ權利義務ハ一般ノ規定ニ從ヒ之  
 ナ處分、相續、保存又ハ擔保スルコトヲ得

（乙案）

條件附法律行爲ノ當事者ハ一般ノ規定ニ從ヒ其權利ヲ處分、相

續、保存又ハ擔保スルコトヲ得

穂積陳重君 前會ニ於テ第二百二十九條ノ主義ハ原案ノ如クデ置テ其文字ヲ改正シテ出スヤウニト云フ御委托ガアリマシタ夫レデ私共兩様ニ立案致シマシタノデゴザイマス尙ホ此甲乙兩案共或ハマダ不完全ヲ免レヌカモ知レマセヌガ幸ニ御評議ノ上其一ツヲ御採用ニナツテ尙ホ之ニ適當ノ修正ヲ加ヘラレンコトヲ願ヒマス

尾崎三良君 私ハ前會ニ於キマシテモ此百二十九條ハ原案デ宜シイト申シタノデアリマスガ諸君ノ御説デ又再ビ修正案ヲ出スコトニナリマシタ詰リ此修正案ヲ見マシテモ變ハツタ事ハナイ少シ言イ廻ハシテ替ヘタ位ノ話デアリマスカラ本員ハ矢張り前ノ原案デ宜カラウト思ヒマス併ナガラ此案ハ既ニ前會ニ大多數デ修正スルト云フコトニナリマシタカラ原案ノ方ニ贊成者ガナケレバ止ムヲ得ズ乙案ヲ贊成スルコトニ致シマス尤モマダ此條ニ付テ充分研究ヲ

シマセヌカラ若シ此上宜イ修正案ガ出レバ贊成スルカモ知レマセヌ一應私ノ意見ヲ申述ベテ置キマス

土方 寧君 是ハ甲案乙案共ニ議案ニナツテ居リマスカ

議長（西園寺侯） 今乙案ニハ贊成ガアリマシタ

田部 芳君 甲案ヲ贊成シマス

土方 寧君 私ハ乙案ヲ贊成シマス

箕作麟祥君 今度ハ大分分リ能クナツタヤウデアリマスルガ私ハ大体ハ甲案ヲ贊成シマスルガ何ウモ此乙案デスガ意味ガ分リ兼マ스가試ミニ甲案乙案ヲ折衷シタヤウナ修正案ヲ出シマス「條件未定ノ間ニ於ケル」ト云フ事ガ甲案ニアリマスルガ此事ハ至極分リ易イト思ヒマスガ乙案ニハナイ夫レデ是ハ甲案ノ方ガ宜カラウト思ヒマス夫レデ私ノ修正案ハ甲案ノ中カラ「義務」ト云フコトト「相續」ト云フコトヲ抜イテ仕舞ウ詰リ「條件未定ノ間ニ於ケル當

事者ノ權利ハ一般ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分、保存又ハ擔保スルコトヲ得」トシタイ然ウスルト丁度「權利」許リニナリマスカラ乙案ト同ジヤウナ意味ニナル前條ノ百二十八條カラ出タ權利ト云フモノヲ保存、處分又ハ擔保スルコトヲ得ト云フコトニナリマス然ウシテ乙案第二項ノ如ク「當事者ガ條件未定ノ間ニ於テ死亡シタル時ハ其權利義務ハ相續人ニ移轉ス」ト云フコトニスル此方ハ第一項第二項ヲ籠メテ居ル「相續」丈ケハ別ニシテ是ハ二項ニ分ケル斯ウ云フ修正説デアリマス詰リ甲乙兩案ヲ折衷シタヤウナ修正案ヲ出シマス

穂積陳重君 一寸箕作君ニ御參考ノ爲メニ申上ゲマスガ此乙案ノ方ヲ始メ立案シタ時ニ丁度箕作君ノ只今御述べニナツタヤウナ考ヘガ吾々ノ中ニモ浮ビマシテ乙案第一項ニハ條件未定ト云フコトハ明カニ分ツテ居リマス夫故ニ「條件附法律行爲ノ當事者ハ條件未

定ノ間ニ於テ一般ノ規定ニ從ヒ」トモ書イテ見マシタガ少シ文章ガ長タラシクナル然ウ書カヌデモ分ルト云フノデ省キマシタ御參考ノ爲メニ申上ゲテ置キマス

箕作麟祥君 私ノハ「條件附法律行爲ノ當事者」ト云フ方ハ止メテ「條件未定ノ間ニ於ケル當事者ノ權利」丈ケヲ規定シテ「相續」ト云フノハ止メテ置ク二項ハ即チ乙案ノヤウニシタラ宜カラウト思ヒマス即席料理デアリマスカラ何ウカ知リマセヌガ先ヅ此案ヲ提出シマス何ウデス餘程不都合デゴザイマセウカ

穂積陳重君 一向不都合ハアリマセヌ  
磯部四郎君 全体「條件未定ノ」ト云フコトガ甲案ニ出テ居リマスガ私ハ條件ト云フモノガ始メカラ定マツテ未定ナ權利義務ジヤラウト思ヒマスガ何ウデゴザイマセウカ

穂積陳重君 御答ヘテ致シマス固ヨリ條件ト云フコトノ意味ノ取り

方デアルノデゴザイマス條件ト云フコトハ法律行爲ニ加ヘタ其一ツノ約款斯ウ云フコトヲ條件トシタ、デ其行爲ノ一部分デアル斯ウ見マスル時ニハ固ヨリ條件ト云フモノハ定マツテ居ルト言ヘマセウ其御見解デアルノデアリマス此處ハ條件成就トカ條件不成就トカ申シマスル場合ニ於テハ條件ノ成就シタル事柄ノト云フコトニ解シテ居リマス外ニ條件ノ成就トカ條件ノ不成就トカ云フ辭ガアリマスルカラ矢矢張り今ノヤウニ條件ノ成就シタル事柄ト云フヤウニ解セナケレバ工合ガ悪ルイト思ヒマス

高木豊三君 私ハ甲案ヲ贊成スル者デアリマスガ大分乙案ニモ贊成ガアリマスガ第一此前ニ質問ノ出マシタ通り條件未定ト云フコトハ穩カデナイノデ前會ニ其事ヲ申サウト思ヒマシタケレドモ我此條ハ起草委員ニ再考ヲ願フコトニナリマシタカラ其儘ニシテ置キマシタガ夫レガ爲メニ前會ニ「條件未成就中ノ」云々ト云フ修正

案ヲ出シマシタガ夫レガ行ハレヌケレバ「未定ノ間」云々ト云フコトガ宜カラウト思ヒマシタケレドモ行ハレマセヌデアリマシタガ今日考ヘルト「未定ノ間」ト云フノハ穩カデアリマセヌカラ私ハ之ヲ「條件成就前ノ當事者ノ權利義務ハ」ト云フコトノ修正案ヲ出シマス、乙案ハナゼ贊成ガ出來ヌカト云フト「條件附法律行爲ノ當事者ハ」トアツテ條件未定ノ間ニ於ケル權利義務デアルト云フコトハ少シモアリマセヌ若シ乙案デ宜シイ之デ分ルト云フコトデアレバ前ノ本統ノ原案ノ儘デ宜カラウト考ヘル夫故ニ苟モ修正ヲ加ヘル以上ハ無論是ハ甲案ニ御贊成アル方ガ當然ト考ヘル夫レデ私ノ修正案ハ「條件成就前ノ當事者ノ權利義務ハ」云々ト云フコトニシタイト云フ案デアリマス

岸本辰雄君 只今ノ高木君ノ案ニ贊成チシマス

議長（西園寺侯） 甲案ニ御贊成デアリマスカ

岸本辰雄君 甲案ニ修正ヲ加ヘタ高木君ノ案ニ賛成ヲスルノデアリ  
マス

中村元嘉君 私ハ此改正案ノコトニ付テハ一向委シク承知シマセヌ  
カラ此條丈ケニ付テハ何ウゾ員外ニ御願ヒ申シタイ

磯部四郎君 今「條件成就前」ト云フ修正案ガ出マシタガ夫レガ若  
シ御採用ニナリマスルト此甲案ノ修正案ヨリ今一層可笑シナ修正  
ニナラウト思ヒマス何ウ云フ譯デアリマスルカト云フト條件ト云  
フ奴ハ詰リ成就シテモ成就セヌデモゴツちカ一方ニ定マル矢張り  
權利ノ未定ノ事柄デアリマスカラ唯「成就前ノ當事者」ト云フト  
成就ヲ待ツテ居ルヤウナ當事者許リヲ指スヤウニナツテ其相手方  
ハ加ハラヌヤウニ思ヒマス夫レダカラ一番宜イノハ原案ガ宜シイ  
ノデア案モ乙案モ不賛成デアリマス其不賛成ノ點ニ付テ一々申サ  
ヌデモ宜シウゴザイマスガ暫ラク出マセヌデアリマシタカラ一寸

申シテ置キマス

本野一郎君 私ハ箕作君ノ案ニ賛成シテ置キマス起草委員諸君ハ如  
何デス

穂積陳重君 決シテ異存ハアリマセヌ

磯部四郎君 私ハモウ一應私ノ甲案ニモ乙案ニモ服サレヌト云フコ  
トノ理由ヲ申シタイノハ詰リ條件附權利義務ト云フコトガアツテ  
始メテ此「成就前」トカ「成就後」トカ或ハ「未定ノ間」トカナ  
リマスルト是ハ未定ノ間デアレバコソ此特別ノ法文ヲ要スルノデ  
詰リ條件附權利義務ト云フコトハ取りモ直サズ未定ノ間ニ於ケル  
權利義務ト云フコトデアリマスカラ若シ此未定ノ間デアリマセヌ  
ナラバ——定マツタ後チデアレバ條件附權利義務ハナイ詰リ  
條件附ノ權利義務ト云フ文字ガアレバ夫レガ即チ法律行爲デアリ  
マスルカラ其所ニ持テ往ツテ「未定ノ間ニ於ケル」トカナントカ



云フヤウナコトヲ附ケルノハ最モ不用ノ事ニナラウト思ヒマス夫  
レデ詰リ條件附權利義務ト云フ事柄ハ未定ノ間ニ於ケル權利義務  
ト云フコトデ若シ「條件附權利義務」ト云フコトガ分ラヌト云フ  
コトデアレバ「未定ノ間ニ於ケル權利義務」ト云フコトヲ何時デ  
モ書イテ往カナケレバナラヌト思ヒマス未定ガ定マツテ仕舞ヘバ  
單純ナル權利義務ニナツテ仕舞ヒマスカラ「未定ノ間ニ於ケル權  
利義務」ト云フ文字ハ私ハ必要ナカラウト思ヒマス實ハ百二十九  
條ノ原案ガ宜カラウト云フ考ヘデアリマス詰リ「未定ノ間ニ於ケ  
ル」トカナントカ書クノハ蛇足ニ屬スルダラウト考ヘマス斯ウ云  
フ「條件附權利義務」ト云フ文字ガアレバ夫レデ直チニ未定ノ間  
ノ權利義務ト云フコトハ分リ切ツテ居ル話デアリマスカラ斯ウ云  
フ講釋付キメータヤウナ法文ハ可笑カラウト思ヒマス

笑作麟祥君 一寸磯部君ニ申シマスガ磯部君ハ此前御缺席デアツタ

ヤウデアリマスガ只今ノ御説ハ舊原案ガ宜イト云フヤウナ御説デ  
アツタヤウニ思ヒマスガ舊原案ノ「條件附權利義務」ト云フコト  
ガ宜イト云フコトデアリマスカ

磯部四郎君 然ウデス

笑作麟祥君 私共モ初メあなたノヤウナ説ヲ持テ居リマシタ併シナ  
ガラ起草委員ノ説明ヲ聽クト了見違ヒノヤウデアリマシタあなた  
ハ起草委員ノ起草ノ趣意ヲ御了解ニナラヌノデアリマセヌカ少  
シ疑ヒテ懐イテ居リマスガ

磯部四郎君 私ハ起草委員ノ起草セラレタノハ詰リ「條件附權利義  
務」ト言ヘバよろあーこんみツセイノコトダラウト思ヒマス

本野一郎君 然ウジヤナイ

磯部四郎君 然ウテナイトスルト一應御講釋ヲ承ハラヌケレバ分ラ

又

穂積陳重君 同ジコトデアル

本野一郎君 何ウデスカ箕作君ノ修正案デハ

土方 寧君 私ハ乙案ヲ賛成スルト申シマシタガ今ノ箕作さんノ修正

案ノ趣意ガ宜シイヤウデアリマスカラ之ニ賛成シマス夫レデ相續  
ノ方ハ自分ガスルノデナイカラ二項トシテ書キ入レタ方ガ長クナ  
ツテモ体裁ガ宜イト思ヒマシテ乙案ヲ賛成シタノデアリマス權利  
ト言ヘバ百二十八條ノ權利ト云フコトニナラウト思ヒマス夫レデ  
「條件未定ノ間ニ於ケル權利義務」ト云ハヌデモ疑ヒハ起ラヌ二  
項ニアルカラ宜イト思ツタケレドモ尙ホ明カニスル爲メニハ甲案  
ノヤウニ「未定ノ間ニ於ケル」云々ト云フ方ガ大變分リ易イト思  
ヒマスカラ箕作君ノ案ニ賛成シテ置キマス

尾崎三良君 本員ハ一体此前ニモ百二十九條ノ原案ヲ賛成シタノデ  
アリマスガ起草委員ヨリ妙ナ解釋ガ出テ夫故ニ之デハ往カヌト云

フコトニナツタヤウデスガ私ハ幾ラ起草者ノ御説ヲ聽イテモ其説  
ガ無理ナ解釋カト思ヒマス是ハ矢張り文字ノ如クチャント解釋ヲ  
シテ前ノヤウニシタ方ガ宜カラウト思ヒマス夫故ニ今幸ニ磯部君  
カラ舊トノ原案ガ宜シイト云フ説ガ出マシタカラ夫レニ賛成シテ  
置キマス夫レデ前ノ

議長（西園寺侯）一寸御待チ下サイマセヌカ前ノ原案ト云フノハ  
死ンデ居ルノデアリマスカラ此處デ一二ノ御説ノ爲メニ活セル譯  
ニハ往キマセヌガ

尾崎三良君 何ウ云フモノカ知ラヌ

議長（西園寺侯）若シ此原案ヲ修正説ト見ルト云フコトヲ諸君ガ  
御承諾アレバ差支ヘアリマセヌ夫レデ只之ヲ活シテ置クト議論ガ  
出ハシナイカト思ヒマスカラ一寸申上ゲテ置キマス

横田國臣君 今之ガ原案デスカ

議長（西園寺侯） 然ウデアリマス議決ニ依テ出來タノデアリマス  
カラ原案デアリマス

高木豊三君 箕作さんノ修正案ヲモウ一度御朗讀ヲ願ヒマス

箕作麟祥君 私ノハ甲案ト乙案ヲ折衷シタノデアリマス即チ「條件  
未定ノ間ニ於ケル」ト云フコトガ上ニかぶさツテ居ルノハ甲案ノ  
方ガ宜シイト云フ趣意デアリマス夫レカラ權利丈ケヲ引分ケタノ  
ハ乙案ノ方ガ宜カラウト思ヒマス夫レテ相續ノコトヲ引分ケテア  
リマスルノハ乙案ノ方ガ宜カラウト思ヒマス是ハ土方君ノ言ハレ  
ル通り相續ト云フノハ後トヲ繼グ人ガスルモノデアリマス處分、  
保存、擔保ハ當事者自身ガスルノデアリマスカラ之ヲ二ツニ引分  
ケタノハ乙案ガ宜シイト思ヒマス夫レテ始メハ甲案ノ「條件未定  
ノ間ニ於ケル當事者ノ權利」トシテ「義務」ヲ削リマス其理由ハ  
前ノ百二十八條カラ出テ來ルノデアリマスカラ「義務」ノ方ハナ

イ方ガ宜シイ「權利ハ一般ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分、保存又ハ擔保  
スルコトヲ得」トシマス然ウシテ二項ハ乙案ノ通りデ宜カラウト  
思ヒマス

穂積陳重君 私共ハ箕作君ノ御説ノヤウニナツテモ少シモ反對ヲシ  
マセヌ直ニ此處デ賛成ヲシテ仕舞ウト原案ガ消エテ仕舞ヒマスカ  
ラ黙ツテ居リマス

高木豊三君 「相續」ト「義務」ト云フノヲ除ク御説ガアリマスガ  
此「相續」ト云フノハ詰リ當事者ガ相續スルト云フコトデアリマ  
スレバ土方君ノ言ハレタ議論ハ尤モデアリマスガ是ハ當事者ノ權  
利義務ヲ相續スルノデアリマスカラ少シモ差支ヘナイ即チ當事者  
ノ相續人ガ相續ヲスルノデアリマスカラシテ文章ノ上ニ於テモ差  
支ヘナイ又「義務」丈ケヲ除クト權利丈ケガ承繼人ニ移轉シテ義  
務ハ移轉シナイト云フコトニナリマスガ是ハ申サズトモ分カツテ

居ルノデアリマスガ之ガアツタ所ガ少シモ差支ナイト思ヒマス「  
擔保」杯ト云フ字ガアツテ見ルト矢張り「權利義務」ト並ベテ「  
相續」ト云フ字ニモ差支ハナシ置テアレバ此修正案ニナルヤウニ  
願ヒマスガ併シ私ハ此上ノ方丈ケテ修正スルト云フ案ヲ出シテ置  
キマシタガ太シテ違ヒナイノデアリマス併シ笑作さんハ「未定ノ  
間」ト云フノチ「成就前」ト云フコトニ直ホスノハ不同意デスカ  
笑作麟祥君 別段不同意デアリマセヌ  
高木豊三君 夫レデハ私ハ甲案ニ賛成デアリマス  
議長（西園寺侯） 議論モ大分盡キタヤウデアリマスルガ一寸此處  
デ御相談ヲシテ置キタイコトガアリマス是迄ハ修正説ガ出テモ修  
正説ノ決ヲ採ツテ其修正説ガ成立タヌ時ニハ原案ガ其儘活キルカ  
ラ極ク都合ガ宜カツタガ併シ今日ハ舊トノ原案ハ消エテ仕舞ツテ  
居リマス夫レデ原案ノヤウナ修正説ガ二ツ出テモウ一ツ修正説ガ

出テ三ツトモ成立ツテ居リマスガ之ヲ順ニ決ヲ採ツテ若シ三ツトモ  
モ成立タヌ時ニハ甚ダ不都合デアルノデ萬一然ウ云フコトガアツ  
タ時ニハ尙ホ起草委員ニモウ一邊御再考ヲ願フト云フコトニナリ  
マスカ或ハ原案ヲ活カソウト云フコトニナリマスカ御相談ヲシテ  
置カヌト往ケヌト思ヒマス

高木豊三君 原案ガ活キルダラウ

横田國臣君 一体甲乙二案ヲ出シテ置クノハ起案者ノ間違ヒデア  
ル  
尾崎三良君 此修正案ガ成立ヌケレバ原案ガ活キル

議長（西園寺侯） 夫レデ修正案ガ三ツトモ成立タヌ時ニハ即チ原  
案ガ復活スルモノカ舊トノ活版ニシテアルモノニ戻ルト云フコト  
ニシテ置クカ、、、、、

本野一郎君 夫レダカラ起草委員ニ御相談ヲシテ置キタイ今笑作委  
員カラ出タ修正案ヲ起草委員カラノ案トシテ御出シ下サルト一番

其方が宜カラウト思ヒマス夫レデ御協議ノ上然ウ云フ事ニ致シタ  
イ

穂積陳重君 結果ガ違ウダラウ

本野一郎君 結果ハ違ウ箕作君ノ修正案トシテ決テ採ルト或ハ少數  
ニナルカモ知レヌ然ウスルトゴツちモ片付カヌト云フヤウナコト  
ニナル成ル丈ケ一ツニシテ出スガ宜カラウト思ヒマス

穂積陳重君 私共ノ甲乙兩案ヲ並ベテ出シマシタ趣旨ハ此前文字ヲ  
考ヘテコイト云フ御注文ヲ受ケマシタ夫故ニ成ル可ク御参考ノ爲  
メニ兩方元トノ主義ヲ言ヒ現ハスヤウナモノヲ書イテ出ス方が宜  
カラウト思ヒマシテ先刻演説ヲシタ通り此甲乙兩案ヲ差出シマス  
ルカラ衆議ノ上其一ツヲ以テ原案トセラレタイ尙ホ之ニ適當ノ修  
正ヲ加ヘラレレバ有難イト云フコトヲ申シタ譯デアリマス夫レデ  
原案ト云フモノヲ極メテ貰フ積リデ持出シタノデアリマス

横田國臣君 孰レチ原案トスルカ決テ採ラナケレバナラヌ

尾崎三良君 此處ノ議場ハ能ク知リマセヌケレドモ矢張り原案ガア  
ツテ更ニ修正案ヲ起草委員ニ托シタモノト私共ハ考ヘテ居リマス  
ルガ其方が整理上宜シクハアリマスマイカ併シ諸君ガ夫レデハ往  
ケヌト仰ツシヤレバ別段ノコトデアリマスル

議長（西園寺侯） 整理上ハ其方が都合ガ宜シイ

尾崎三良君 何ウカ諸君ニ酷イ御異論ガナケレバ然ウシテ貰ヒタイ  
（此時「異議ナシ々々」ト呼ブ者多シ）

議長（西園寺侯） 夫レデハ決テ採リマス

穂積八束君 私ハ今參リマシテ分リマセヌカラ除ケテ貰ヒタイ

議長（西園寺侯） 然ウ云フ御注文ガ中村さんカラモ出テ居リマス  
カラ決ノ際ハ御退席ヲ願ヒマス夫レデハ甲案ト乙案トヲ採ツテ夫  
レカラ箕作さんノ説ヲ採リマセウ甲案ニ賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマ

ス

起立者 正半數

議長（西園寺侯） 半數

本野一郎君 異議ノ申立ヲ致シマス

高木豊三君 半數ト極マレバ議長ニ托シマス

議長（西園寺侯） 異議ノ申立ヲスルノハ宜シイガ唯異議デハ承諾

ガ出来マセヌ數ガ間違ツタト云フノデアリマスカ

村田 保君 數ガ分リマセヌ

議長（西園寺侯） 是ハ議長ガ決シマセウ私ハ即チ此甲案ニ御同意

ヲ致シマス夫レデハ百三十二條ニ移リマス

（書記朗讀）

第三百三十二條 不法ノ條件ヲ附シタル法律行爲ハ無効トス不法ノ行爲ヲ爲ササルヲ以テ條件トスルモノ亦同シ

（参照）財四一三、法例一五、佛一一七二、蘭一二九〇、伊

一一六〇、瑞債務法一七七、モンテネグロ五六七、西一一

一六、白草一一六四、普國法一部四章一二〇、一二六、一

二七、一三〇、索一〇九、一一三、八七七乃至八八〇、紐

草一九八乃至二〇一、六八三、カリフォルニア七〇九、七

一一、一四四一

穂積陳重君 本條ハ既成法典財産編第四百十三條ノ一部分ニ修正ヲ

加ヘタノデアリマス尤モ其主義ニ於テ修正ヲ加ヘタノデアリマ

セヌデ唯文字ヲ稍々短ク致シマシタ丈ケニ止マツテ居リマス、デ

不法ノ條件ト云フモノヲ附シタ法律行爲ガ無効ト云フコトハ或ハ

言フヲ須タヌト云フ考ヘガアルカモ知レマセヌガ併ナガラ條件ハ

元ト附帶事項デ法律行爲ノ附帶事項デゴザイマスルカラシテ其附

帶事項ガ不法ナルガ爲メニ其本体ナルモノ迄ガ害セラレルヤ否ヤ

ト云フ疑ヒハ必ズアルデアラウト思ヒマスカラ矢張り此箇條ハ存  
シテ置イタノデアリマス現ニ取得編三百五十三條杯ノ場合ニ於テ  
遺言書中ニ不法條件杯ヲ附シマシタ場合ハ不法條件ノ爲メニ其遺  
言ト云フモノハ決シテ效力ヲ失ハヌト云フヤウナ規定モアリマス  
ルカラシテ獨逸民法草案杯ニハ之ヲ省イテアリマスルケレドモ此  
處ニハ尙ホ保存致シタノデアリマス、デ條件ハ固ヨリ附帶事項デ  
ゴザイマスケレドモ併ナガラ法律行爲ノ存在ト云フモノガ夫レニ  
依テ原因スルモノデアリマスルカラ其原因ニ不法ナコトガアレバ  
其本体ニモ固ヨリ影響ヲ及ボシテ法律行爲ガ無効ニナルト云フ主  
義ヲ採ツタノデアリマス夫レカラ此末文ニ附加ヘマシタ「不法ノ  
行爲ヲ爲ササルヲ以テ條件トスルモノ亦同ジ」之ニ付テハ大分議  
論ガアル事デアリマシテ不法ノ行爲ヲシナケレバ斯ノ如キ事ヲシ  
テヤル即チ不法ノ行爲ト云フモノヲ避ケルト云フコトニ利益ガア

ルヤウナ場合ガ幾ラモアルカラシテ却テ宜クハナイカ賭博ヲシナ  
ケレバ斯ノ如キ仕送りヲシテヤル或ハ法律ヲ何年間犯サズシテ居  
ツタナラバ斯ノ如キ利益ヲ與ヘテヤルト云フヤウナ風ナコトハ至  
極宜イコトデアアル斯ウ云フ風ナ議論モアリマス夫レデ不法行爲ヲ  
シナイト云フコトハ決シテ不法デナイ夫故ニ斯ノ如キ條件ハ不法  
ノ條件デナイト云フ議論ガ随分アルコトデゴザイマス夫故ニ此處  
ニ明ニ之ヲ規定スルノ必要ヲ見タノデアリマス何故ニ吾々ガ此不  
法行爲ヲシナイト云フコトヲ目的トスル條件ト云フモノハ矢張り  
不法デアルト申シマスルカト云フト當然ノ義務ヲ盡スニ報酬ヲ付  
ケル別ニ何モナクテモスベキコトニ報酬ヲ付ケルト云フコトハ即  
チ所謂善良ノ風俗ニモ反スルモノデモアルシ斯ノ如キ事ノ爲メニ  
不法行爲ヲ止メサセルト云フコトヲ公然認メルト云フノハ不都合  
ナコトデアラウ別シテ不法行爲ヲ爲サント云フ事ニ付テ不法

行爲ヲ爲サナケレバ利益ヲ享ケルト云フ場合モアリマス又不法行爲ヲ爲サナケレバ不利益ヲ享ケルト云フ場合モアル不法行爲ヲ爲サナケレバ不利益ヲ享ケルト云フ場合ハ固ヨリ不法條件タル事ハ疑ヒハナイ不法行爲ヲ爲サナケレバ利益ヲ享ケルト云フ場合ニ於テモ利益ノ爲メニ義務ヲ盡ス利益ノ爲メニ不法行爲ヲ爲サヌト云フヤウナ取引ヲ許スト云フ事ハ矢張り公益上不都合ナコトト思ヒマスカラシテ斯ノ如ク殊更ニ此處ニ此疑ヒヲ解ク法文ヲ書イタノデアリマス、デ諸國ノ法ニハ「不法若クハ善良ノ風俗ニ反スル條件ヲ附スル」ト通常ハアリマスケレドモ本案ニ於テハ既ニ第九十七條ニ於テハ善良ノ風俗ニ反スル事柄自身ハ不法トナツテ居リマスルカラ故ラニ之ヲ再ビ掲ケズシテ不法ト云フ中ニ夫レヲ含メテ居ルノデアリマス

田部 芳君 私ハ此百三十二條ト云フモノヲ削除スルト云フノ案ヲ

提出シマス其理由ハ極ク簡單デゴザイマシテ元來ノ事柄ハ規定ヲ俟タズシテ分ル位ノコトデアリマスルシ其上ニ既ニ議定ニナリマシタ所ノ第九十七條ニ「公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ目的トスル意思表示ハ無効トス」ト云フ一ツノ規定ガアリマシテ法律ニ違ウトカ不法ノ行爲デアツタナラバ無論公ノ秩序ニ反スルト云フ中ニ道入ル又不法ノ行爲ヲシナイト云フヤウナコトヲ條件トシタヤウナコトハ即チ此善良ノ風俗ニ反スルト云フ中ニ無論道入ルト思ヒマスカラ此處ニ斯ノ如キ規定ヲ置クノ必要ハナイ是ハ言フヲ俟タヌト思ヒマスカラ夫故ニ之ヲ削除シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

議長（西園寺侯） 此條ハ是非置クノガ必要デアリマスカ

穂積陳重君 條件ト云フモノガ不法デモ本体ノ行爲ガ成立ツ場合杯モアリマス即チ遺言杯デ條件丈ケガ脱落シテ仕舞ウコトガアリマ



ス

議長（西園寺侯） 若シ不法條件ノ行爲ナラバ無論成立タヌデスカ  
穂積陳重君 夫レハ本体ガ成立タヌ

議長（西園寺侯） 本体ガ既ニ不法デ成立タヌ條件ガ不法ダト云フ  
ト成立ツト云フ虞レガアルト云フノデスカ

穂積陳重君 左様デアリマス現ニ成立ツ場合モアル

本野一郎君 殊ニ第二ノ如キハ條件ガ無効ニナルカ行爲其者ガ無効  
ニナルカト云フ問題デアル

高木豊三君 一寸質問シタイ只今御説明ニナリマシタ第二ノ點デア  
リマス「不法ノ行爲ヲ爲ササルヲ以テ條件トスルモノ亦同シ」ト  
アリマスルガ是ハ何ウ云フモノデアリマセウ例ヘテ申セバ私ノ親  
屬ナラ親屬ニ少シ小供ノ中カラ癖ノ悪ルイ奴ガ居ル其小供ヲ獎勵  
スルガ爲メニ若シ將來スノ如キ行爲ヲ爲サズニ成長スレバ之丈ケ

ノ贈與ヲシヤウスウ云フコトヲ約シタ其約束ハ效ガナイト云フコ  
トニナルノデゴザイマセウカ之ガ風俗ヲ害スルモノデアリマセウ  
カ私ハ却テ善良ノ風俗ヲ寧口獎勵スル行爲ト云フテ宜カラウト思  
ヒマス併シ不正ノ事ヲ當然人ガ爲サヌノハ當リ前デアアル夫レデ褒  
美ヲ貰フ筈ハナイ斯ウ云フコトデアリマスレバ中々然ウハ往カヌ  
不法ノ行爲ヲモ續々行ウ者ガアル殊ニ又百三十三條ノ不能ノ事ニ  
付テモ「不能ノ解除條件ヲ附シタル法律行爲ハ無條件トス」斯ウ  
云フコトニナツテ居ル之等ノ權衡ヲ取ツテ悪ルイ事ヲシナカツタ  
ナラバ贈與ヲシヤウ即チ善行ヲ獎勵スル方ノ種々ノ事ハ有效トシ  
テ置テ私ハ少シモ差支ヘガナカラウ即チ無條件ノモノト見テヤツ  
テ宜カラウカト思ヒマスガ夫レデハ何ウシテモ害ガアリマス譯デ  
アリマスカ

穂積陳重君 此事ニ付テノ議論ハ其事實ヲ見マスル方ト夫レカラ其

法律行爲ノ性質ヲ見マスル方トデ人々考ヘテ違ヘルコトデアラウト思ヒマス其事柄自身ヲ見マシテ例ヘバ親戚ノ者ニ兎角不法行爲ヲ爲スベキ傾キノアル者ガアル夫レヲ留メル爲メニ利益ヲ以テ之ヲ留メル其事實ハ成程其事柄丈ケニ由テ見ルト甚ダ宜シイ方ノコトデアリマセウカラシテ其方丈ケカラ見マスルト云フト人ガ論ヲ立ツテ斯ノ如キ條件ト云フモノハ不法行爲デナイト云フノデ高木君モ矢張り其方カラ御考ヘニナツタノデアリマセウヌガ併シ本案ノ採ツタノハ其法律行爲ノ精神其法律行爲ガ矢張り不法法律行爲ニナル、デ不法行爲ヲ爲サヌト云フモノニ報酬ヲ付ケル夫レニ價ヲ付ケテ買フト云フヤウナ風ノ事柄ヲサセルノガ悪ルイト云フ方カラこちらハ立案致シテアルノデアリマス固ヨリ人々ニ依テ是ハ大變見方ガ違ウノデ強テ此點カラ申スト私ノ申迄モアリマセヌガ本案ノ立テ方ハ然ウ云フ法律行爲ト云フモノハ甚ダ宜クナイ法律

行爲ジヤト云フ所カラ出シタノデアリマス

田部 芳君 尙ホ一言加ヘテ置キマスルガ起案者ハ先程モ申シマシタル通り此條件ト云フモノハ或法律行爲ノ附帶事項デアルト云フコトヲ根本ニ説カレタヤウデアリマス夫故ニ尙更ラ本條ノ如キモ必要ト見ラレタノデゴザイマセウガ私ハ之ニ反シテ條件ト云フモノハ法律行爲ノ本体ノ一ツノモノデアツテ決シテ附帶事項デナイト云フ説ヲ採ツテ居ルノデアリマス夫レガ極メテ明白ノ説ト思ヒマス此條件ヲ附シテコソ始メテ法律行爲ヲ爲スト云フ意思ガ出テ來ル唯例外ノ場合ニ於テ例ヘバ遺言トカ言フヤウナ事ニ付テハモウ一邊法律行爲ヲ仕直スト云フヤウナモノデ死ンデ仕舞ツテ生ジタ夫レデ特別ノ法律ノ規定ニ依テ實ハ妙ナ話ニナルケレドモ却テ死ンダ人ヲ保護スルヨリ止ムヲ得ス縱令不法ナ條件デモ夫レハナイモノニ見ルト云フヤウナ事ニ見ルノデアツテ決シテ全体ニ條件

ト云フモノハ離サレルベキモノデナイト思ヒマス夫故ニ條件ハ本  
体デアル夫故ニ縱令其議論ハごちらニシテモ却テ此處デ斯ウ云フ  
規定ヲ置クト一方ノ條件ハ附帶事項デアルト云フ問題ヲ極メルヤ  
ウナ結果ニナツテ又夫レガ強テ必要デアレバ仕方ガナイガ私ノ見  
ル所デハサウ強テ必要トハ思ヒマセヌ夫故ニ一方デハ學說ニ任ス  
ベキ問題ヲ此箇條ニ於テ極メルノハ望ミマセヌカラ夫故ニ兎モ角  
モ本條ハ削除アラン事ヲ望ムノデアリマス

箕作麟祥君 私モ一寸質問致シタイガ「不法ノ條件ヲ附シタル法律  
行爲」ト書イテアリマスルガ是ハ解除モ停止モ一緒ニ書イテアリ  
マスガ解除條例ノ時ニハ何ウナリマスカ家ナラ家ヲ賣買スルト云  
フ時ニ斯ウ云フコトガアツタナラバト云フ其條件ガ不法ナモノデ  
アルト云フヤウナ場合ハ何ウナリマスカ停止ノ方ハ宜イヤウデア  
リマスガ解除ノ場合デモ賣買ノ法律行爲ヲ無効トスルト云フコト

ニナリマスカ何ウ云フ意味ニナリマスカ

穂積陳重君 矢張解除條件モ含ム積リデアリマス

箕作麟祥君 例チ一ツ願ヒマス

穂積陳重君 例ヘバ私ガ家チ甲ナル者ニ貸シテ置ク讓渡シタ併ナガ  
ラ其人ガ罪チ犯シタナラバ私ニ返セト云フコト、裏カラ見タ時ニ  
ハ矢張り其當然ノ義務チ行フコトニ報酬チスルト云フヤウニモナ  
ル一ツニハ罪チ犯サヌ間ヤツテ置クゾヨ夫レカラ御承知ノ通り解  
除條件ハ裏カラ見レバ停止條件ニナルノデアリマスルカラ其人ガ  
罪チ犯スト云フ事ガアルト云フト私ガ其家チ賣ウヤウニナル夫故  
ニ今持テ居ル所有者ガ罪チ犯ス事ガ私ニ利益シ又私ノ子孫ニ利益  
チスル非常ニ不都合デアル或人ハ他人ノ罪チ犯スニ依テ利益チ享  
ケルヤウニナリマスカラ解除條件ハ勿論含ム積リデアリマス

横田國臣君 私ハ御尋ネテシタイノハ今不法ノ條件ヲ附シタ例ヘバ

私ガ外ノ者ト約束チスル是ハ何ウモ今度ノ議會デ斯ウ云フ説チ言  
フタラ或ハ殺サレルデアラウ然ウシタナラバ後トハ斯ウ云フ風ニ  
シテ吳レトカ或ハ自分ノ兒チ誠メテ之カラ御前ハ悪ルイコトチシ  
ナケレバ已レガ斯ウ云フコトチシテヤルト云フヤウナコトモ矢張  
リ不法條件ト云フ中ニ籠ルヤウデアアル夫レデ私ハ前ノ意思表示ノ  
所ノ目的ト云フモノチ然ウ云フヤウナコトニ解シタ方ガ至當デハ  
ナイカト思ヒマスガ併ナガラ此不法ト云フ事ニハ何ウ云フモノガ  
籠ラヌトカ又ハ夫レハ籠ツテモ構ハヌト云フ御考ヘデアリマスカ  
穂積陳重君 二ツ例チ出サレマシタガ若シ壯士ト云フ者ガ私チ殺ス  
トカ或ハ悪ルイコトチシタトカ云フヤウナ第三者ノ不法行爲チ目  
的トスルノデアアルノデスナ第三者ニ不法行爲ト云フモノガアツタ  
ト云フ事柄ハ必ズシモ不法條件ニハナラヌト思ヒマス併ナガラ斯  
ノ如キ場合ニ於テ第三者ノ不法行爲ガ條件トナル即チ第三者ガ不

法行爲チ爲スニ依テ或人ガ利益チ受ケルト云フヤウナ法律行爲チ  
シタナラバ其條件ト云フモノモ不法ニナル例ヘテ申シマズレバ甲  
ナル者ガ乙チ殺シタナラバ私ハ丙ニ地面チ遣ラウ朴泳孝ト云フ者  
チ朝鮮ノ或人ガ殺シタナラバ私ハ丙某ニ地面チ遣ラウ又斯ウ云フ  
場合ニハ第三者ノ不法行爲ハ矢張不法行爲ニナル如何トナレバ朴  
泳孝ト云フ人ガ殺サレル爲メニ丙某ガ利益チ受ケルト云フノデア  
ルカラ矢張不法條件ニナル又自分ノ兒ノ場合ハ先刻高木君ニ向テ  
述ベタル通り矢張遣入ル積リデアリマス

横田國臣君 其處ハ怪シイデスネ今條件附ノ宣告ト云フコトガアリ  
マスルガ夫レドモハ被告人ニ對シテ御前ガ此罪チ犯サヌナラバ此  
犯罪ハ許シテヤルト云フヤウナ裁判所デサヘモヤルト云フヤウナ  
コトニナツテ居ル又其兒ニ誠メテ御前ハ賭博チ打タヌデ三年チ過  
ギルナラバ私ハ三年間斯ウ云フコトチシテヤルト云フヤウナ斯ウ